[illegible]

曲亭馬琴著
和漢撮合
初編
毎篇八号合本
歌川國安繪画

へ13
3056
1

馬琴著

鐵鎚摧車　蒼海九郎公成が勇力は黎蒼海の任侠
薩埵山巓の敗績　千眼千手の捕兵の箭頭を辛く逃れて
信濃なる長瀬の家に躲居し
齋宮次官親良は似たる哉韓人張良が復讐

漢楚賽擬選軍談初編第一 上帙

江戸ばくらう町二丁目　にしむらや与八新ゑん

國安画

橋下遺履　鬼一法眼老翁の識量は黄石公が明察
河添榊の約束は六韜三畧傳授の秘決をえらむも受く
陸奥なる平泉
の柵に時をまつ　源第九郎義経の兵法は似たる哉漢の張子房が學問

特 へ 13
3056
1

特へ13 3056 1-5

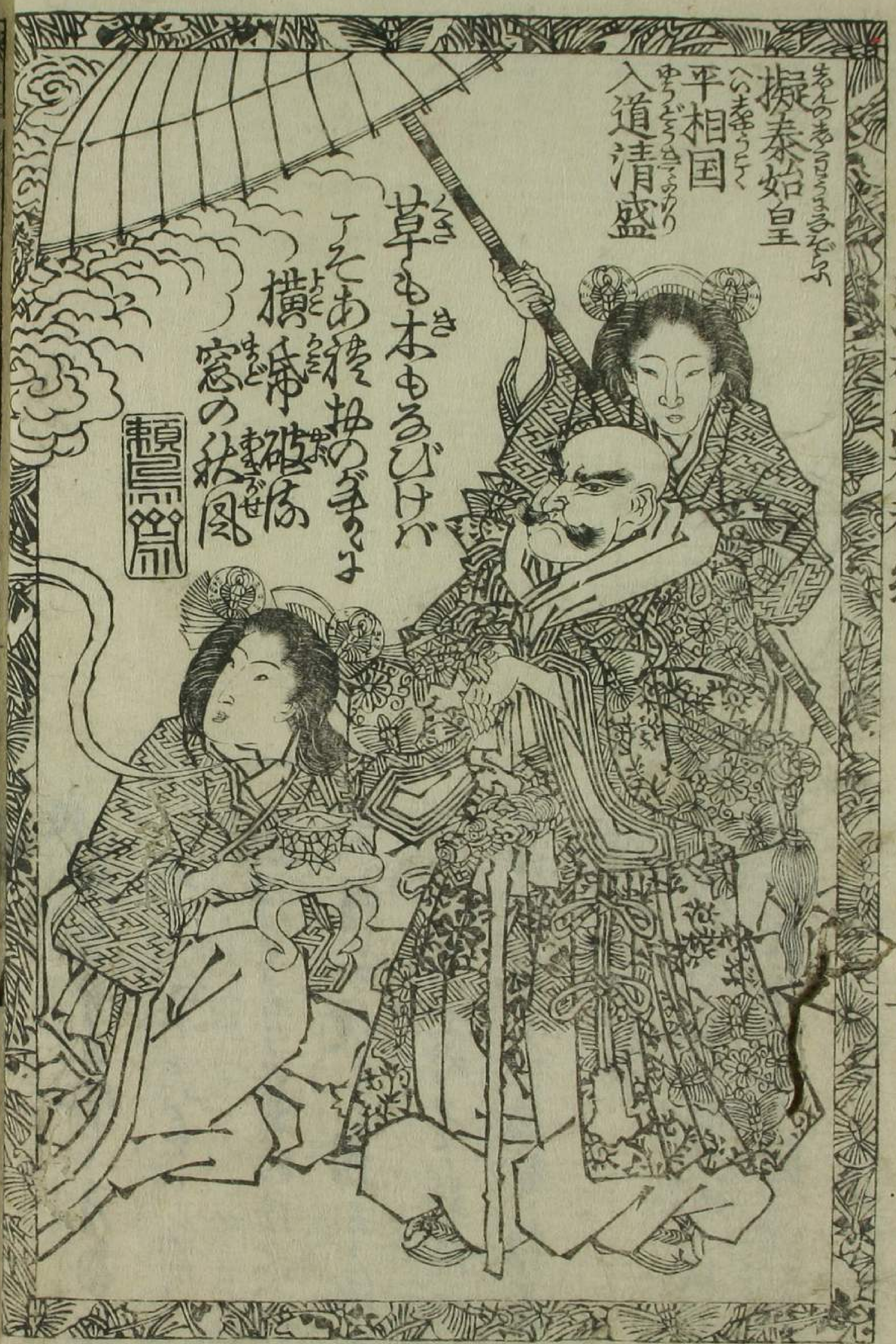
昭和九年七月一七日 購求

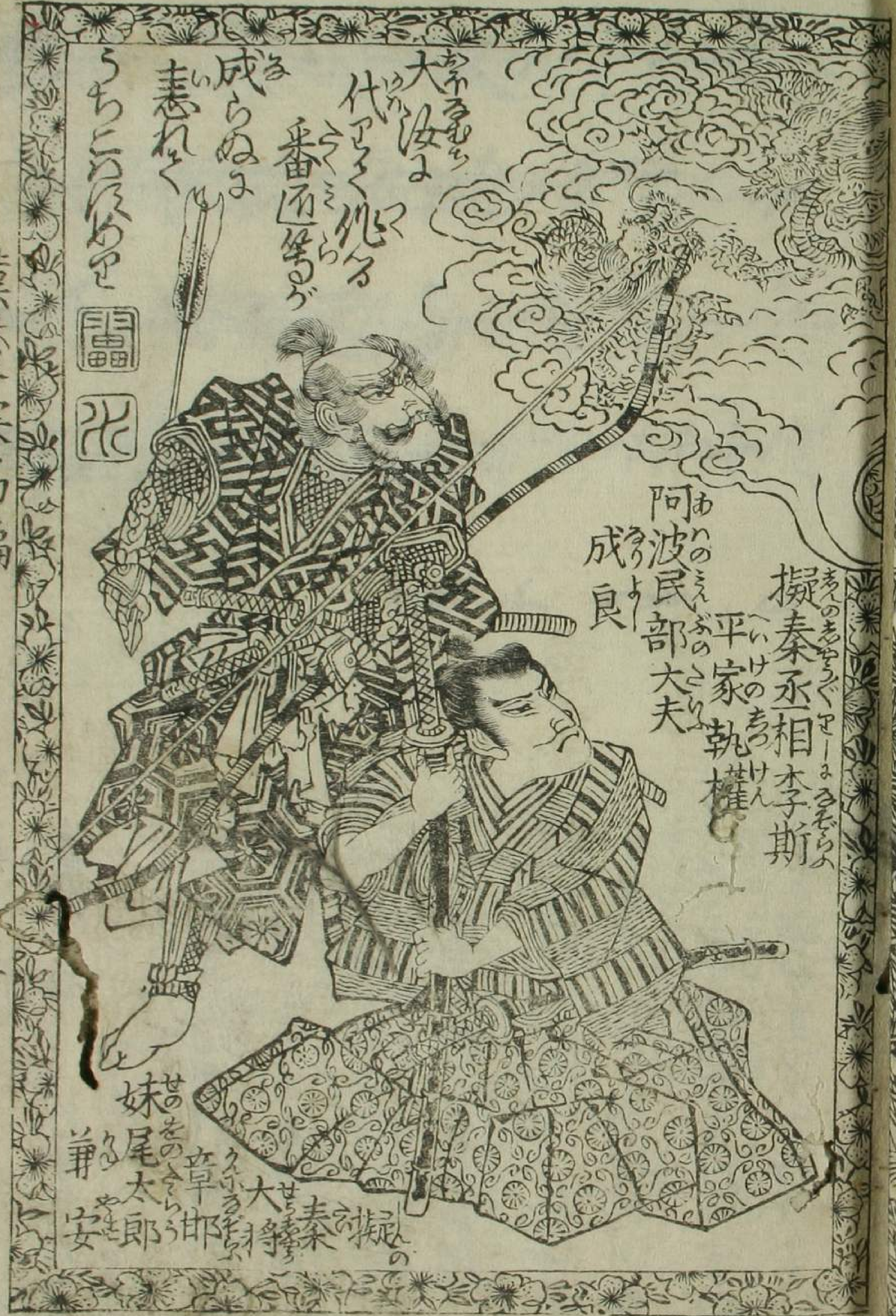
漢楚賽擬選軍談初編序

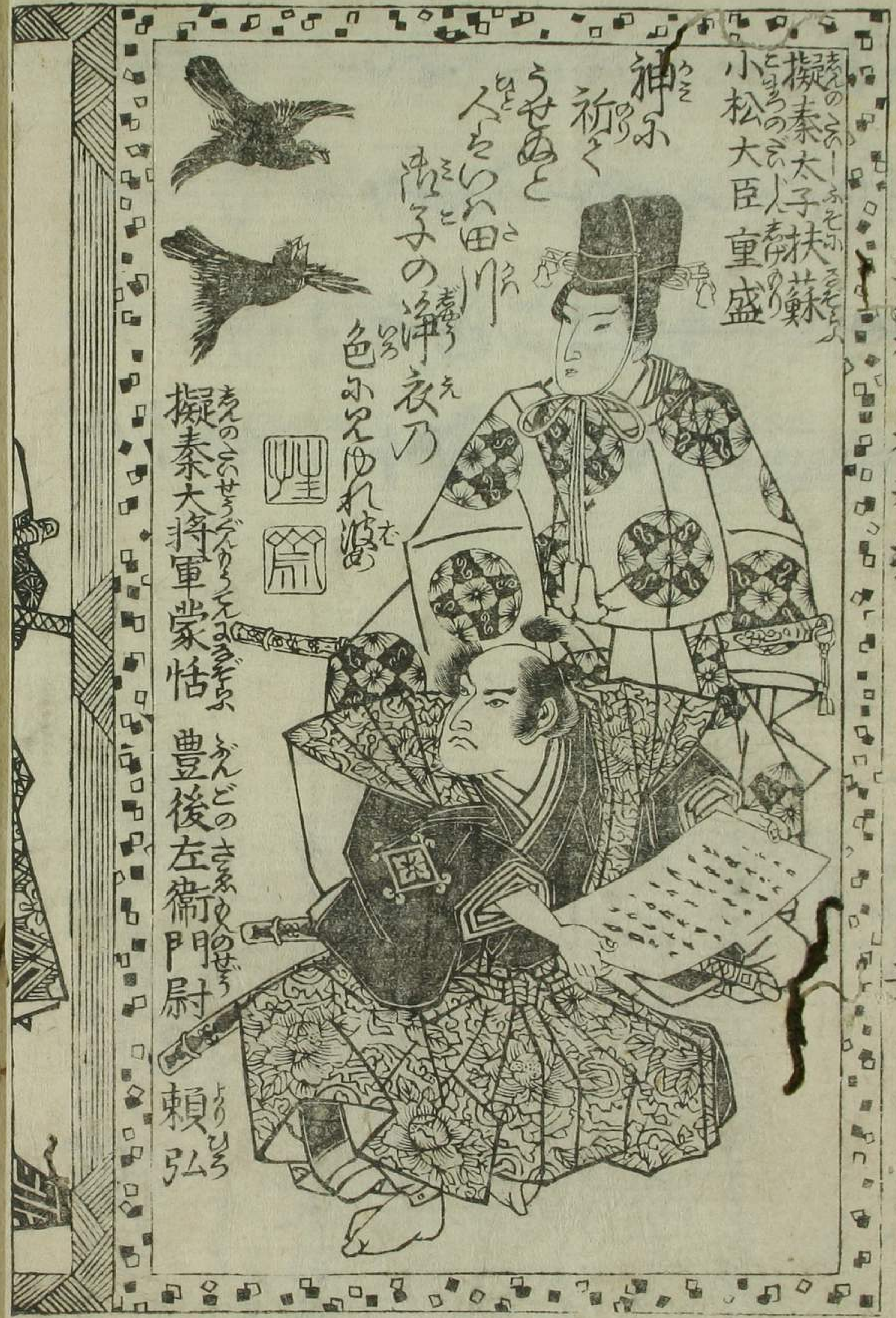
毎篇八号合本四冊
上下二帙毎帙二冊

智者ハ自適して流行の先達たり庸才ハ自適せず人の遊ぶ所に遊びて常に流行を追ふものゝ果敢なき冊子物語も時好に愜へば行れ愜ざれば行れず書林永壽堂おもふよしや有けん傾城水滸に伯仲すべき新著もがなと予に請へりされば唐山の稗史ハ西遊水滸の二書の外に又翻案すべきものなしよりて漢楚の闘戦を頼朝義仲両雄の確執に綴易へて此物の本を作れり抑清盛の秦始皇に似たる頼政の陳渉に似たる頼朝の漢高祖に似たる政子の呂后に似たる時政義時の諸呂に似たる牧子の呂須に似たる義経の韓信に似たるよしハ前輩聊評論あるを讀書者の話柄にもあり只是のみにあらず義仲の項羽に似たる覚明の范増に似たる巴の季布に似たる兼光の鍾離昧に似たる伊東祐親入道の田横に似たる廣元善信が蕭何曹参と相似たる成敗異同ありといへども亦その趣なきにもあらず嘗頼朝の臣時政の壻に樊噲の如きものなく功成名遂て身退きたる張子房の如きものなく智辯敵を欺くに足る酈食其陸賈の如きものなく諸呂を誅して漢室を全くせし陳平周勃の如きはなほその無ものを些許似つかはしきを撮合して一人を二人の事とし譬ば下邳の圯橋の張良ハ牛若ならねバ不可なるが如し蓋漢楚の興亡ハ史記漢書の正史あり是を演義にも亦綴るあり其を又譯せし通俗の漢楚軍談さへあるを婦幼ハなほも不多く欲せず讀むといへども解し易からぬ異邦の軍記なればなり夫江南の橘も江北に栽られて枳となるものハ便是風土の妙なるかな漢楚演義を一書も予が架上に措ときハ変じて本邦の軍記となるまゝ又是風土によるのみならず實ハ時好に推當たる作者の手津間とぞいふべしかし

文政十二己丑年春正月吉日新版　曲亭馬琴識


擬秦始皇
平相国
入道清盛
草も木もなびけバ
アそあ穂拇のかずゝよ
横槊破
窓の秋風
頼斎


大海よ
代アるく氾る
番匠箸るが
成らぬよ
慧れく
うちとおかめで
閑北
擬秦丞相李斯
平家執権
阿波民部大夫
成良
擬秦の大将
章邯
妹尾太郎
兼安

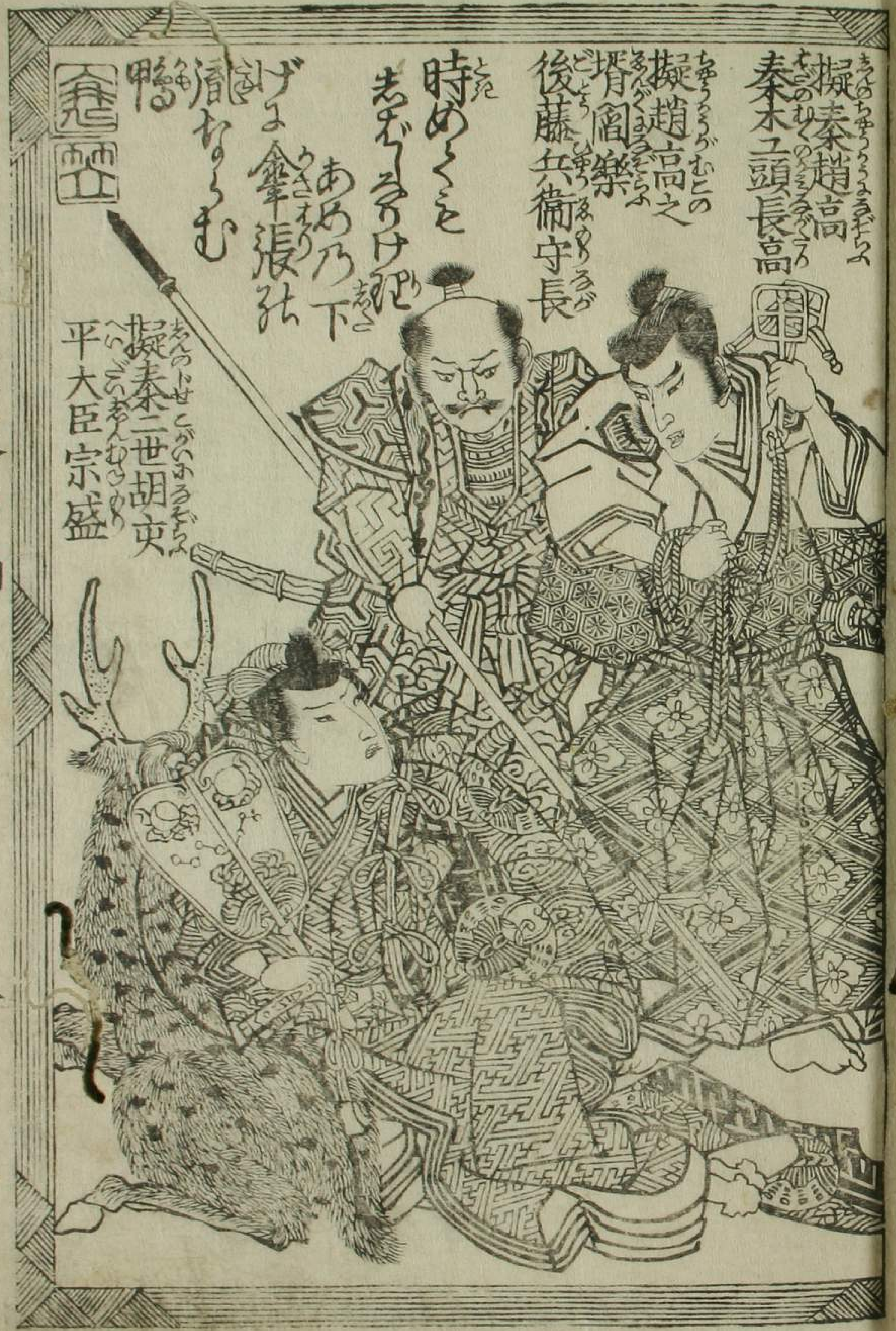


擬秦太子扶蘇
小松大臣重盛

神に祈く
うせぬと
人たい田川
済子の浄衣乃
色にみゆれ溜

烓斎

擬秦大将軍蒙恬
豊後左衛門尉頼弘



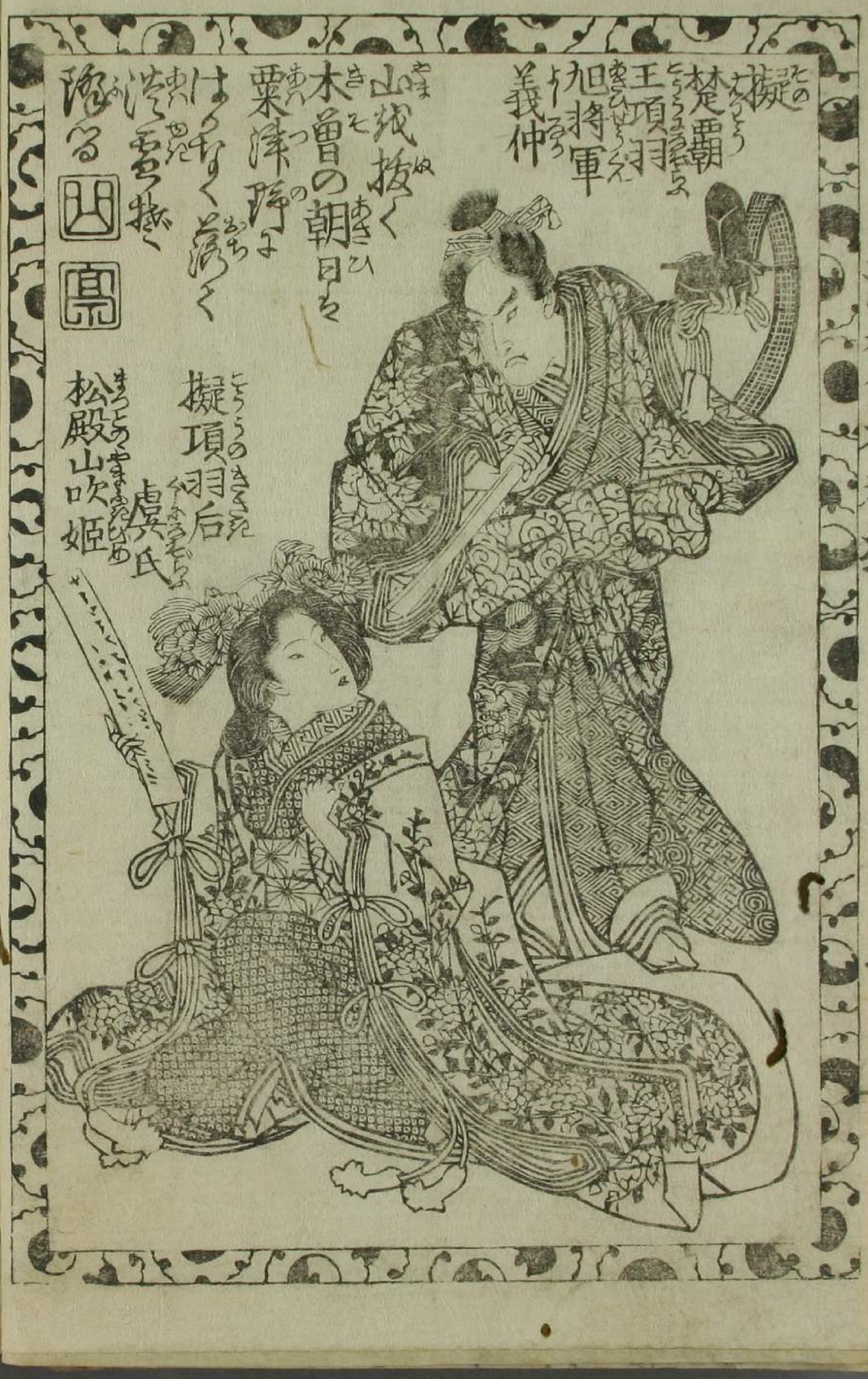
擬秦趙高
秦木工頭長高

擬趙高之聟閻楽
後藤兵衛守長

時めくを
志むしるけ秋
あめ乃下
げに傘張ら
渚なるらむ
鴨

春雪

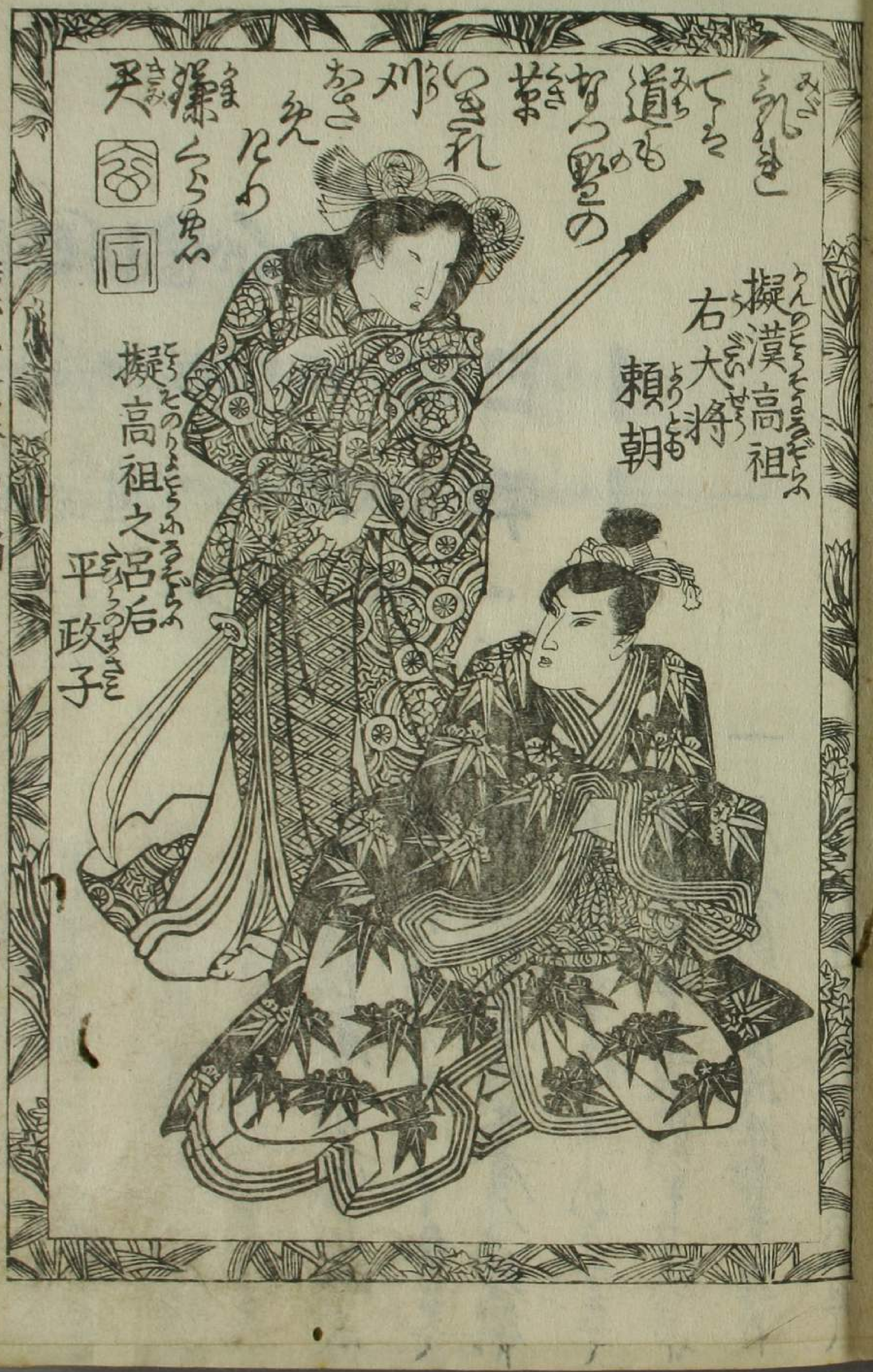
擬秦二世胡亥
平大臣宗盛



擬楚覇王項羽
旭将軍義仲

山抜く
木曽の朝日も
粟津野に
はかなく落ちる
浮雲抜く
隠る
山亭

擬項羽后虞氏
松殿山吹姫



乱れき
てぞ道も
なつ野の
萱の
露かれ
刈る
あさ
ゑ
なれ
操くらぶ
天
同

擬漢高祖
右大将
頼朝

擬高祖之呂后
平政子

いづれのおんときにかありけん [illegible]

[illegible]

軍兵 [illegible] 十万余騎 [illegible]

古戦場 [illegible]

[illegible]

〽左の上へ

[illegible] 漢楚 [illegible]

[illegible]

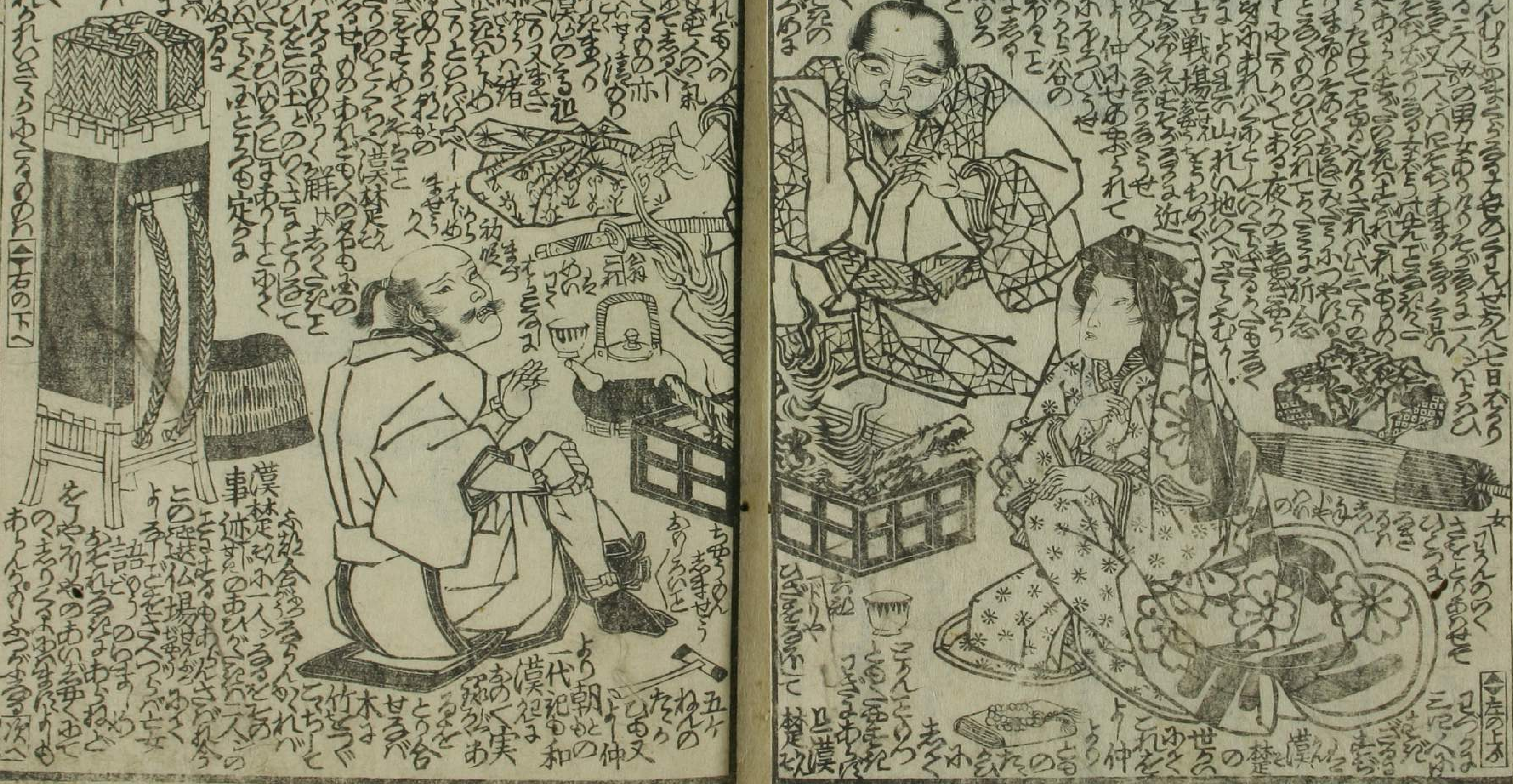
漢楚 [illegible] 項羽 [illegible] 韓信 [illegible]

[illegible]

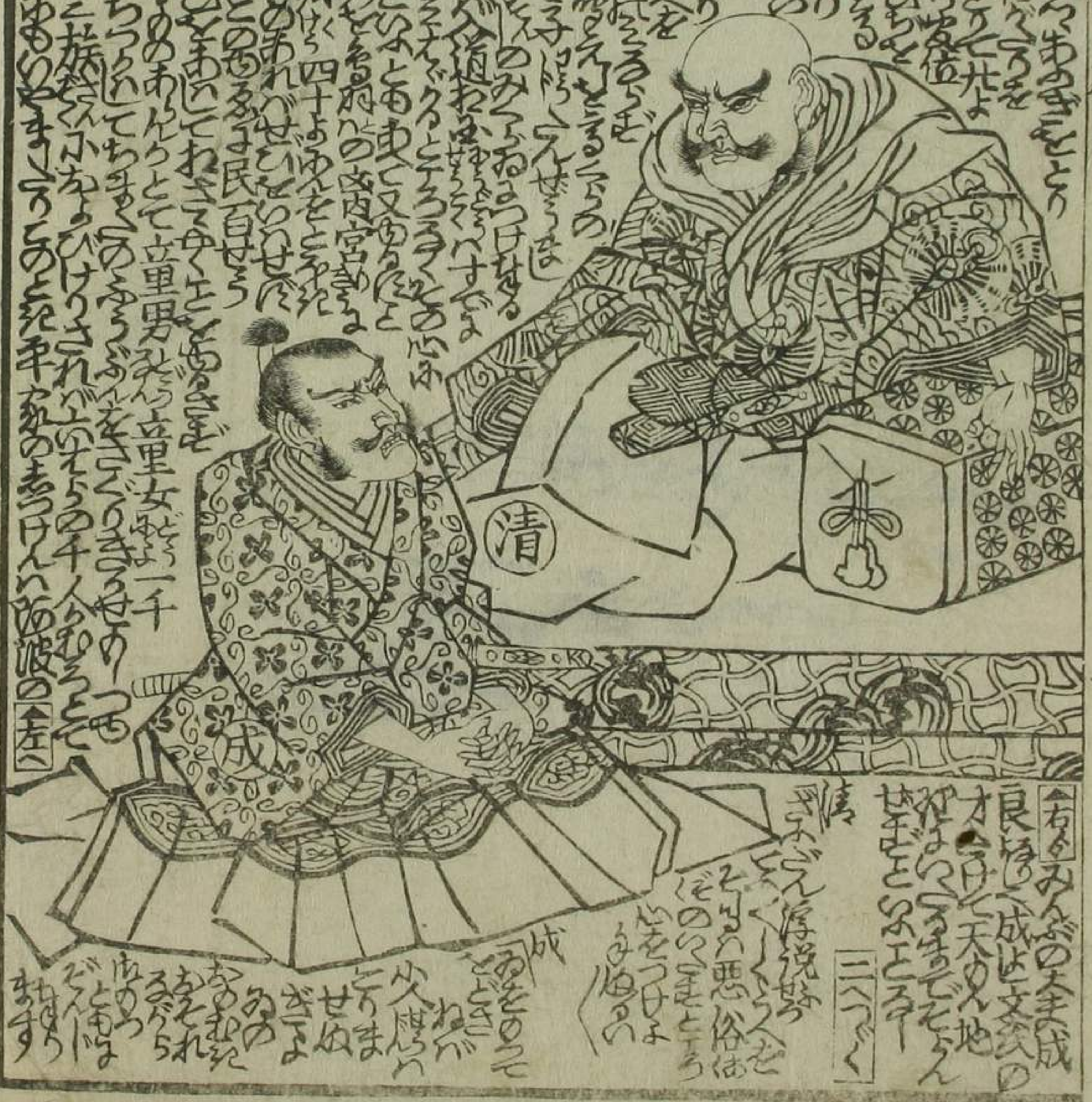
〽右の下へ

漢楚 [illegible] 事跡 [illegible]

[illegible]



こゝもかるとゞめあるひそこゝびつあるかぎをとゞとりあげてしぎらちなき事を書しるして其あらまし事を書りける［これより前の事］平家世をとりて尤よねむ子孫に官禄をあたへ天子もその位を手にとりて官位ぬる躰禄に入道のみをそばへよびて御位をえらう入道相国は清盛のなる運によりて威福をほしいまゝにして清盛の入道平家の嫡々なりさもなくばひら正盛が孫忠盛の子にて世にあらはれし保元平治のみだれに軍功ありしにより人臣の位をきはめ三十六ヶ国を領し清盛の息女はことごとく天子の后となりて子を生み院の中宮となり其子天子となる三才なるを天子にたてまつり安徳天皇と申せしはこれなり天子の外戚となりて政をほしいまゝにし後白河の法皇をおしこめ大臣公卿四十余人をとりしぞけ町人百姓にいたるまで平家の者にあらざれば人にあらずと日々に洛中洛外をふれまはらせ三三族まで千人あまりの童男童女をもちひて平家のあしきことを云ものあればこれをとらへて人みなこれをおそれて平家のあらけんは[illegible]の［左へ］



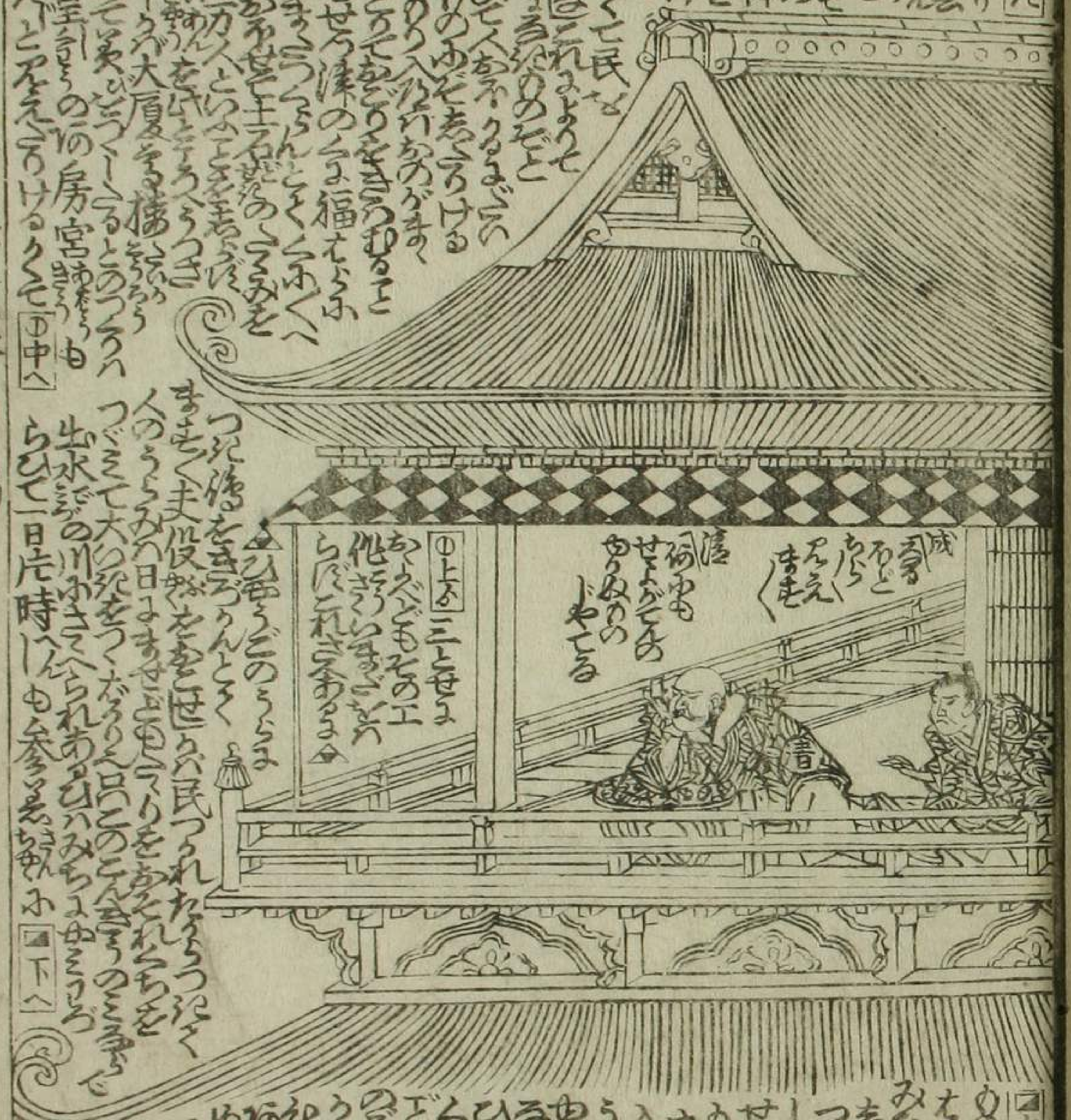
［右より］みんぶの大まの成良はいと成は文武の才ありて天の地かふばりこそそでそうんせずとはわえこう［二へつゞく］

清「ぎんぶにん浮説なきくしくらぐぞそらは悪俗はぞのをまとするいをつけよ傷みれ

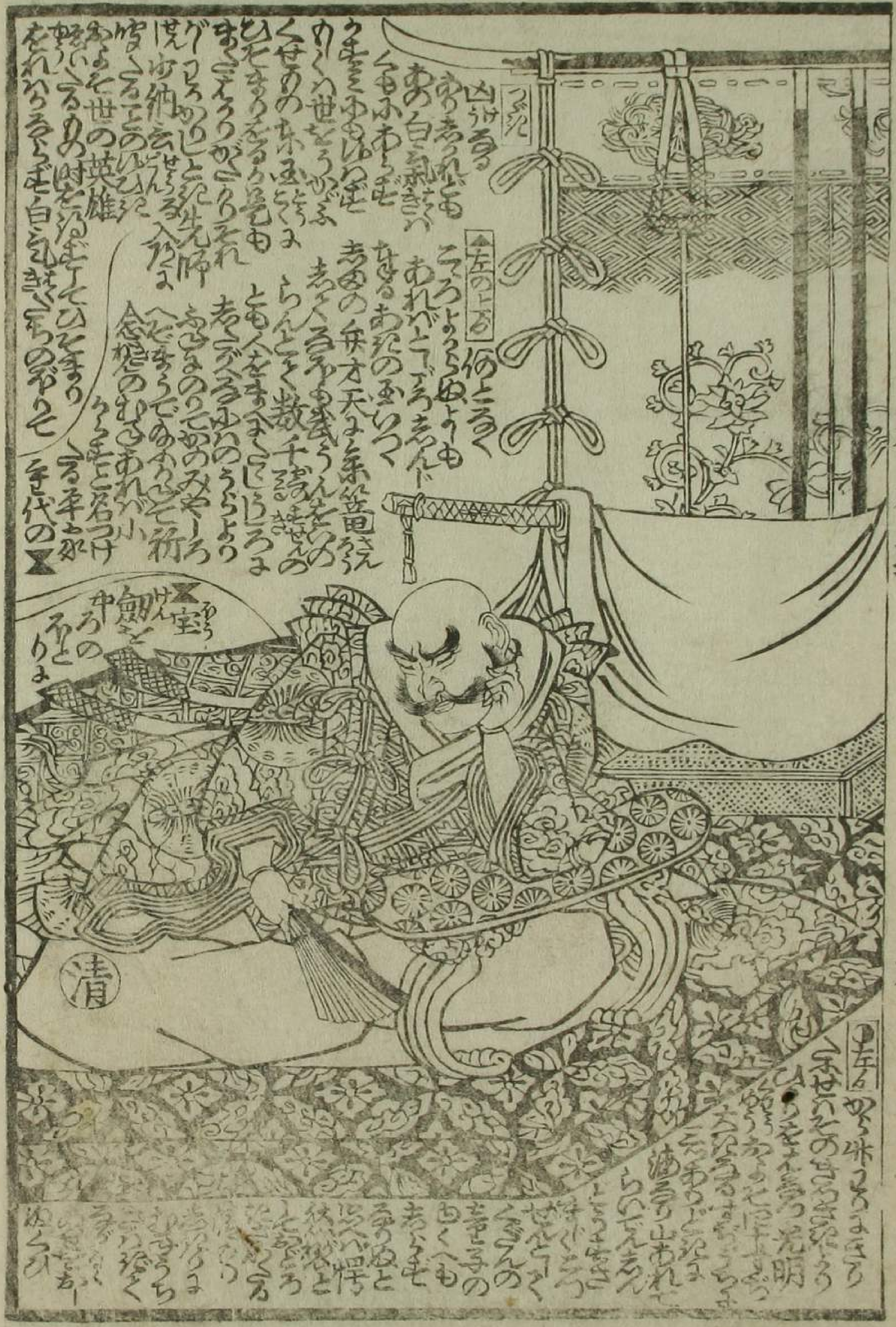
成「あなどのこゝどきねばゞ父に悪ありまいせぬぎよ身のなをむなれおそれるゞらぬかにとものぞんばまからまゐる

［めんくの一つゞき］あられ沈のあそこりし云がの納言入れ信西紘んを師といとゞつかへてそのぞくのめんのよる事と韓非子のその書にむねとそれよるよつのそろのちひらいてよく民をあはれむ志道をれによりて清盛の武道のなをとめでよろこびて人をあつくまさぞのいちの合ろのゆゑを書いてける○されば清盛の入道が政をまゝるる世にありてあつらちをきかぬると大くのいそがせる清のみよ福をよふ別をいへあまくらんとくふくへ丈役ををにかて王とちのこゝみを是とりて力へととほりきつさ平安京なんを民とほのうつき下や民をそ大廈をつ揚それのぬをつるねて寒びをつくるとのつらの秦の始皇帝の阿房宮をもされかへたびとぞえりけるなくて［下中へ］

つゞき徳をきらつりんとく東まく丈役が造を任せ民つれれちつ改くくのうらみ日まましとのとりを名ざれちを［下へ］つゞきて大らかをつくならこのとんきうのこゝろで出水ての川ふさへられあるひはみちよならぬら出ひて一日片時しんも参らぬちんふ［下へ］


［中上より］三とせまちくへどもその工作きうらまごとうらばこれさうあるまく
成「何とそちらへきまく
清「何ゆへもせよそのかりのどやてる
清

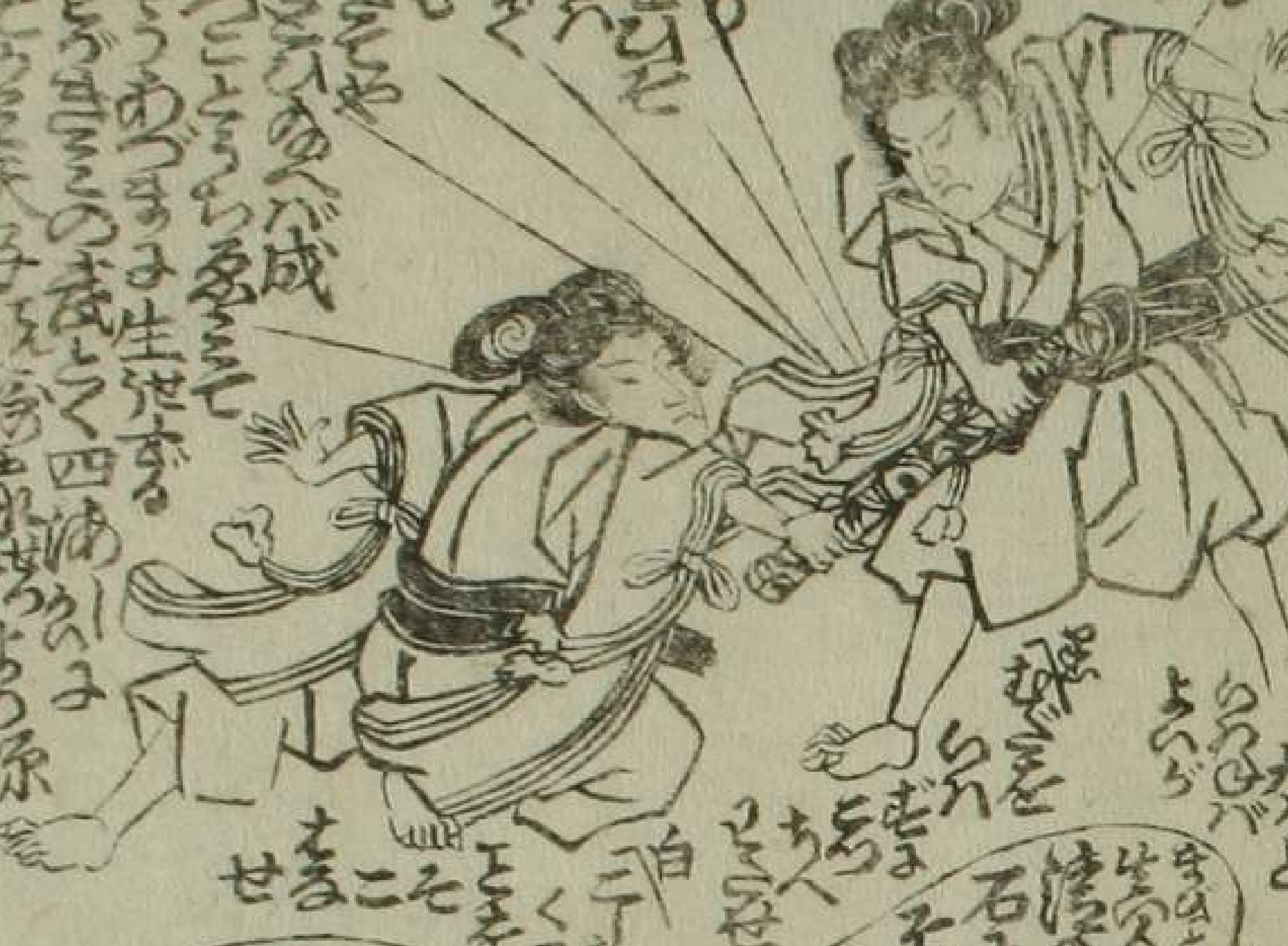
［中より］まわりあつてものあれば物をもそらべとえんわりとの物入とみちよりむげて古くへあれざるものかれぞあつまる事をとらへるを誅しもしてみるをとくぞ謀うせふるそれ代讒みめのの虐政悪たる箱をきるとよめり入ちおある日たらとあるようちのうりてらやましとも氏きあるのをそうつちまされて世があるひがしのくろみむくあくものつらくなきそのぞくらんくとしてちのかる白氣きくさささうみかえいふかぶうくかなる事をいたけんむ秦の波の成良様をめーよにせてあくぐとうちろがあてうもちおどうかてやすやうくもよ五つのあるありて古きるあり［次へ］



つゞき
出けゐ家のあられども、あの白氣(しらき)をきハ人毛ふかくも、うまくふかく[illegible]、めぐり世をうかぶ、くせのあの来るとて、ひそかのかたる見も、まゝぞろうかぐらぞれ、グろひりしと死生先師、[illegible]御納言せ入れ、信くるてとの[illegible]、かくを世の英雄、報いぐる此時を沈ぎてひそまり、なれからそれも白氣きくへの如くぞ

左の上ゟ
何とこく、こゝろよからぬよりも、われびとてぞろあんど、なぞるあ我の丞のつく、我の兵才天子条笛(さえ)[illegible]、あへ人ゐ[illegible]うんを[illegible]の、らんとく数千[illegible]せんの、ともへを[illegible]まくしろゝる子、あゝでくるゆれのうらより、[illegible]のてかのみやしろ、へぞあうでの[illegible]て祈、念[illegible]のむさ[illegible]れバ小、うち[illegible]と名つけ、ゐる平家の、二千代の

左ゟ
からの味うあのまへり、かせハその[illegible]、[illegible]光明、[illegible]、[illegible]、[illegible]ずかねて、渡りり山あれて、らいでんきん、とうさまさ、[illegible]、[illegible]、[illegible]のきらの、白くへも、あくらぞ、[illegible]と、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]

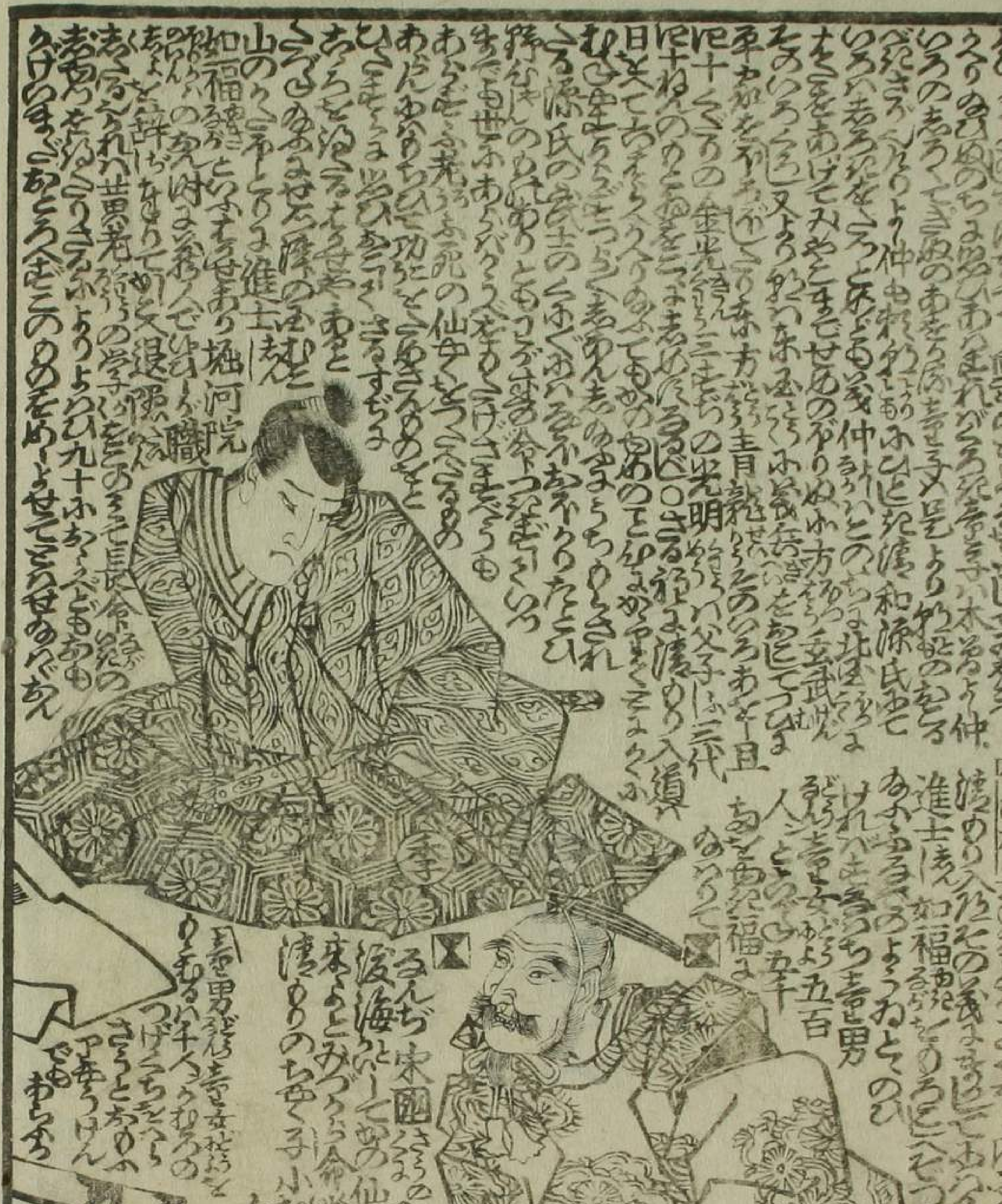


白 ゆうしくさ あえでハ ここ王土 どもちがふ 丸うと われがバ よんべ
ぎまけむを 白れ ぎま ちへ そこせ
白 ニヤ くる ことを そこ まこ せ

よくぞの天を葬りとりへり、ありくのあつてすみ世の悪いもらの出生、あくる祥らさき、ふやあらんと、ふは清のり、まゝをひそめでそれ、いかぐあづぐむ、べ死てぞぞや、あるとぞれのあいバ成、よりゆつことうち申うて、ゑいもうあつまみ生涯する、ともうとうかきこの歳とて四海あふの子、かあれどもを天子に[illegible]せよりり源平の武士ハ公家も下モカ民[illegible]まいくる、まで[illegible]本も[illegible]の左の[illegible]、[illegible]その久しとともゐ[illegible]、ヤスかも清のりか[illegible]むるいひうけてきこくで、白氣きくのきて[illegible]れども〔左の中へ〕

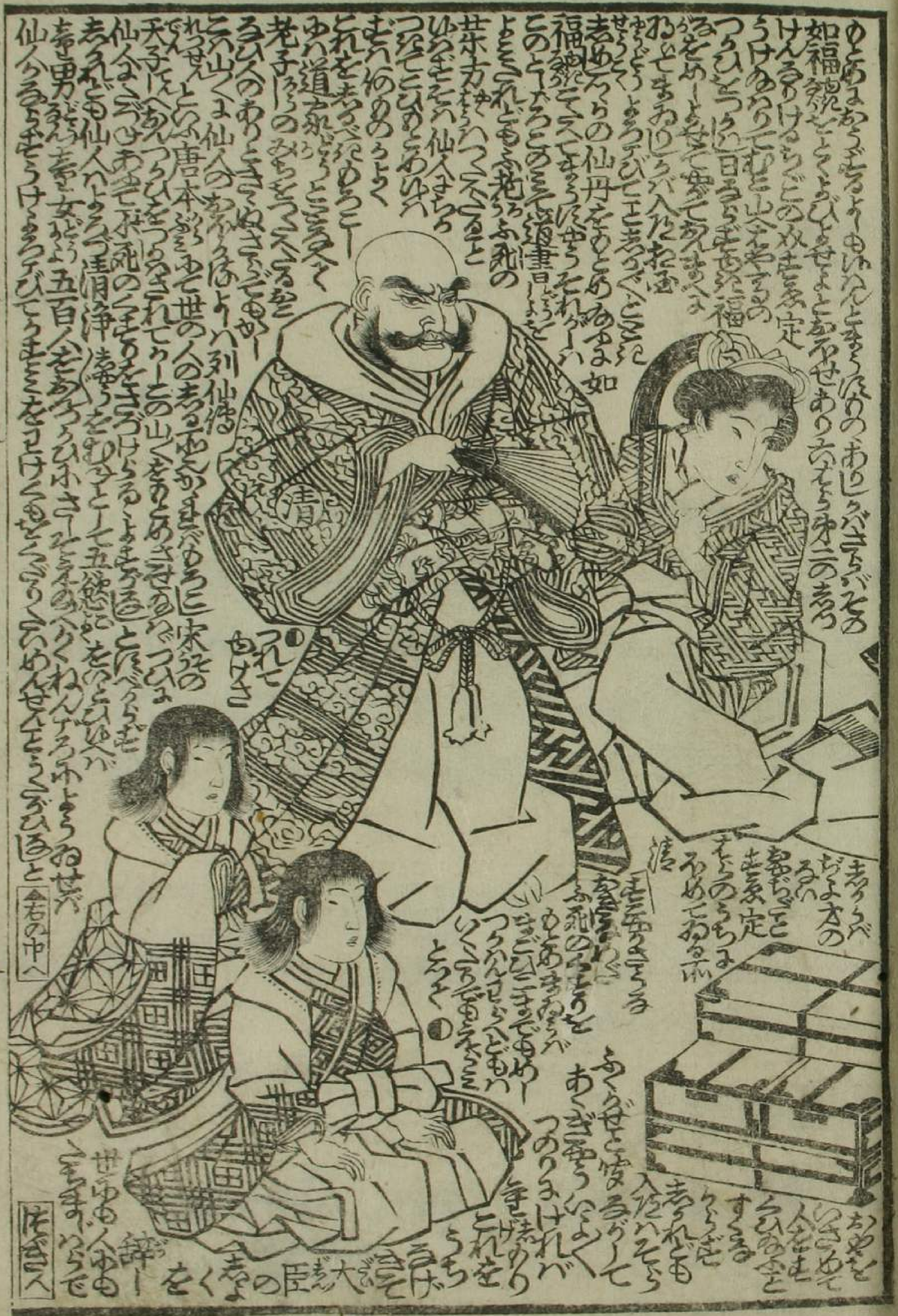
ふつく、うつめてくさ、うん子一、ぶ[illegible]ぞそ、さぞらるゝと[illegible]より明經博士[illegible]の、生[illegible]ひろあわせん文を[illegible]入たね[illegible]、清のりの一代の栄[illegible]を[illegible]、石ふるし[illegible]碑の[illegible]と名つけらる又七日[illegible]これを、[illegible]、まで[illegible]日[illegible]の夜[illegible]拜殿、[illegible]、北の[illegible]下[illegible]の宝劒[illegible]の碑[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]〔右へ〕

[illegible]、よ[illegible]、[illegible]、村[illegible]、七[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]、つるハ[illegible]、けんとする[illegible]、と[illegible]、[illegible]〔つゞく〕



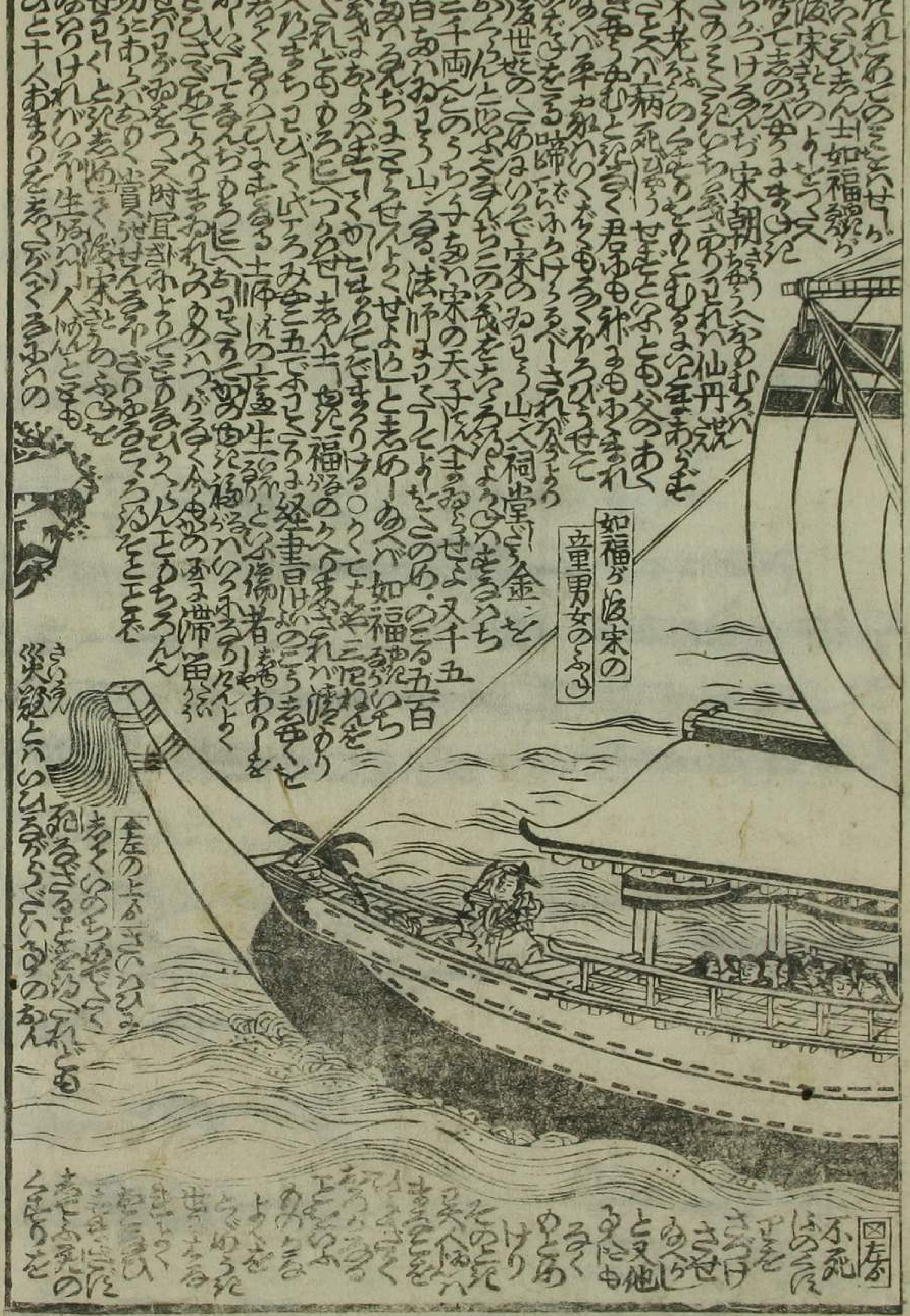
むかしむかし[illegible]天下向けの[illegible]さして[illegible]
[illegible]子は木[illegible]より仲
[illegible]清和源氏にて
[illegible]仲[illegible]安武[illegible]
[illegible]つくま
[illegible]平[illegible]青龍[illegible]且
[illegible]十[illegible]金光[illegible]光明[illegible]父子[illegible]三代
[illegible]清[illegible]入道
日[illegible]源氏の[illegible]
[illegible]世[illegible]
[illegible]仙丹[illegible]
[illegible]山の[illegible]進士清[illegible]堀河院[illegible]職
如福[illegible]退隠[illegible]
[illegible]黄老[illegible]長命[illegible]九十[illegible]

上の左へ
進士清
清[illegible]如福[illegible]五百[illegible]
[illegible]人[illegible]如福[illegible]
宋国
徐福
仙丹
清[illegible]
福
季



[illegible]如福[illegible]
[illegible]福[illegible]仙丹[illegible]
[illegible]仙人[illegible]
老子[illegible]道[illegible]
[illegible]仙人[illegible]唐本[illegible]
天子[illegible]仙人[illegible]五百人[illegible]
[illegible]仙[illegible]

清
清
家定
右の中へ
左ぎへ
辞
世の中
[illegible]大臣の[illegible]



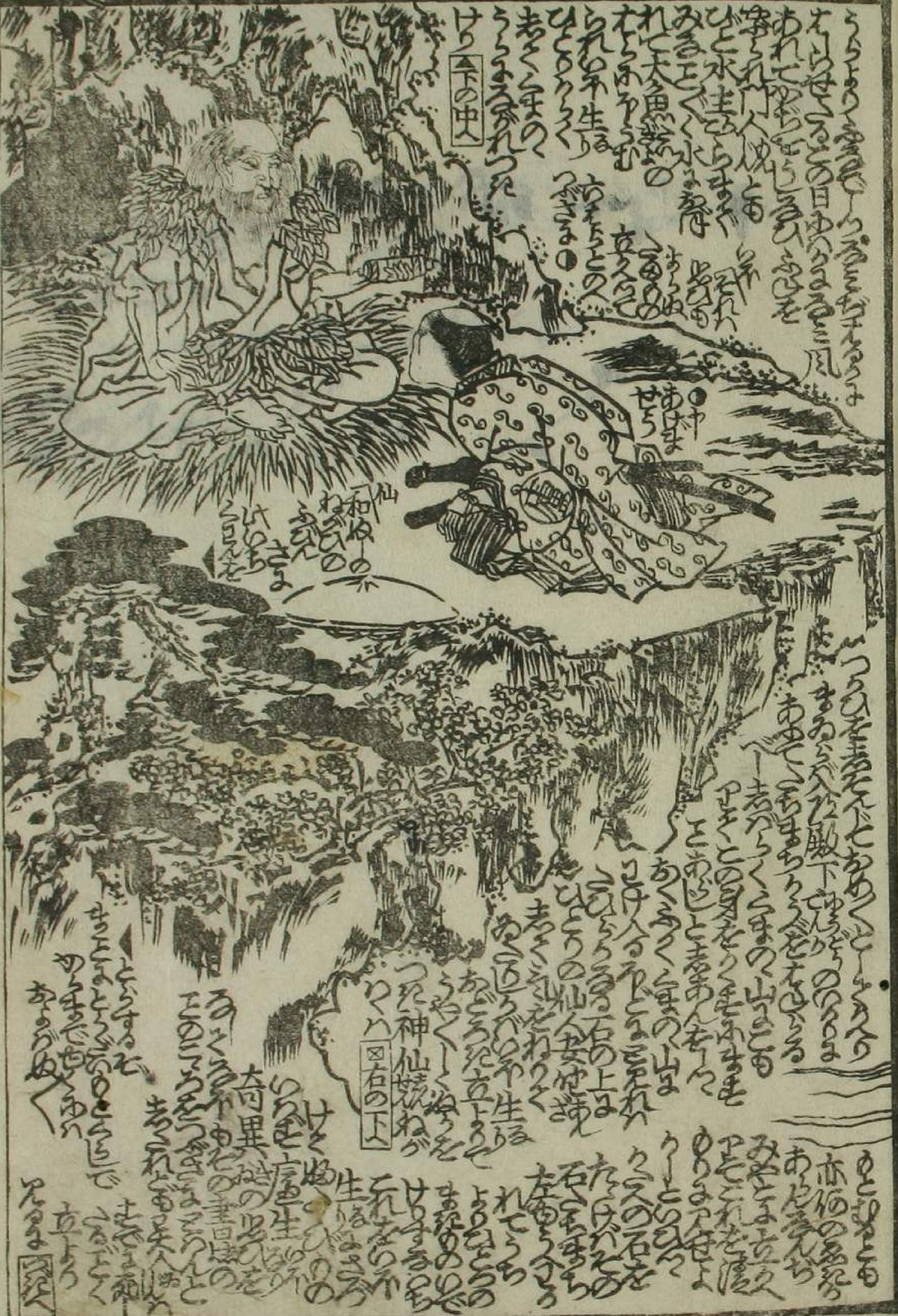
たれかこのぎにこたへせしが、おくびさん士如福すゝみ出、汲宋とのよりそうて、[illegible]、ちかづけるとき宋朝さまへ申あぐるやう、このことわりは[illegible]仙丹説といふは不老ふしのくすりをもとむるまでの事なれど、これ天の病死なきやうにせうとは[illegible]父のあくぎやうの[illegible]君のみことのりも[illegible]後世せんの[illegible]宋の君の[illegible]山へ祠堂を[illegible]金をたくさんにこしらへ、三千両へとのうち[illegible]宋の天子[illegible]法師[illegible]又千五百あまり[illegible]五百[illegible]如福[illegible]これ[illegible]童男女[illegible]経書[illegible]儒者[illegible]滞留[illegible]汲宋[illegible]時宜[illegible]賞[illegible]人[illegible]十人あまり[illegible]

如福が汲宋の童男女のふね

仝左の上へ さいかいを[illegible]

きいうん 渓翁といひし[illegible]

図左の 不死[illegible]



[illegible]この日[illegible]凡[illegible]門人[illegible]水[illegible]大魚[illegible]生[illegible]

仝下の中人

[illegible]

仙 和[illegible]

つるひをまちて[illegible]殿下[illegible]山[illegible]この身を[illegible]山[illegible]石の上[illegible]仙人[illegible]生[illegible]

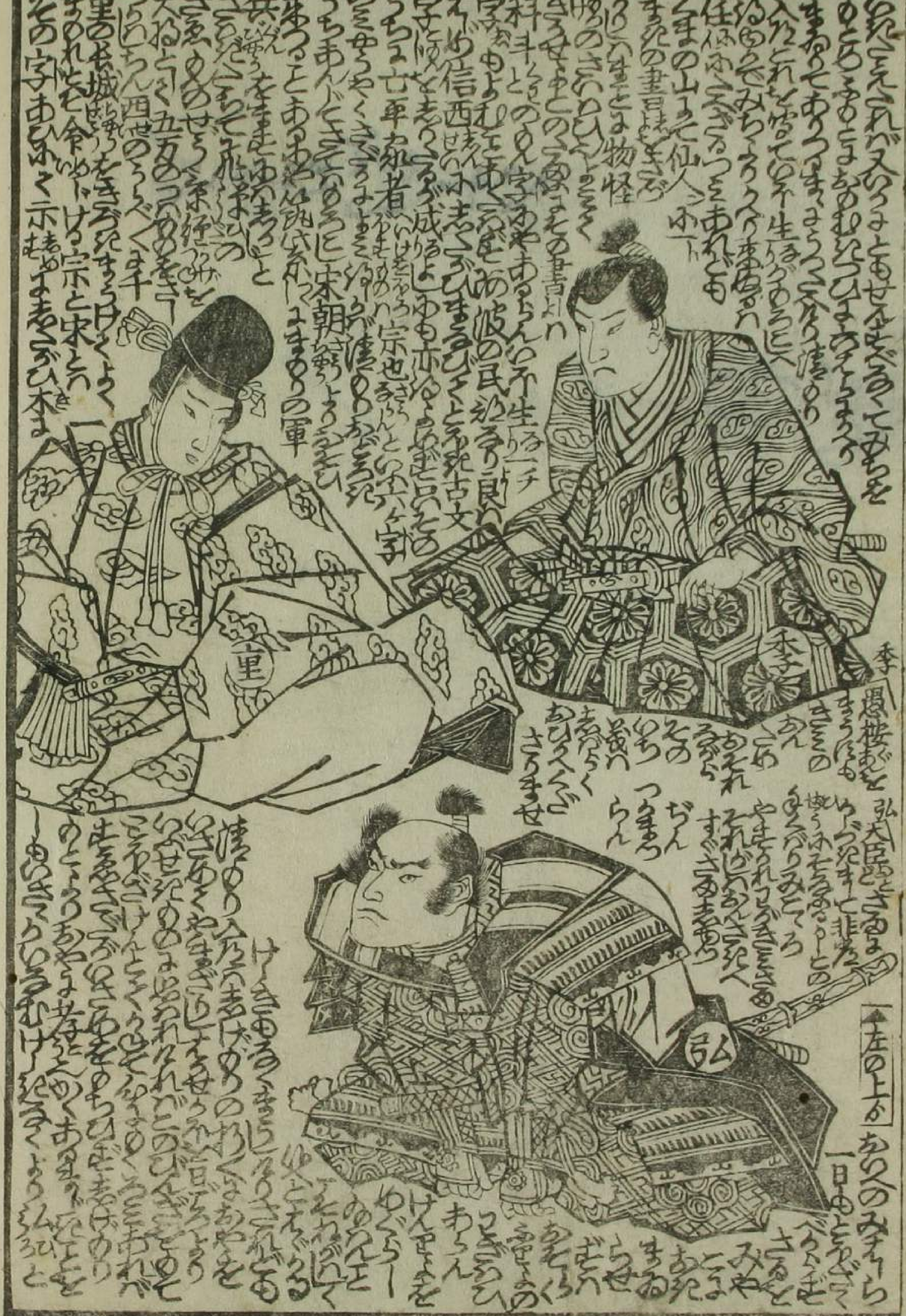
図右の下人

[illegible]神仙[illegible]

赤松の[illegible]石を[illegible]

奇異[illegible]生[illegible]

[illegible]



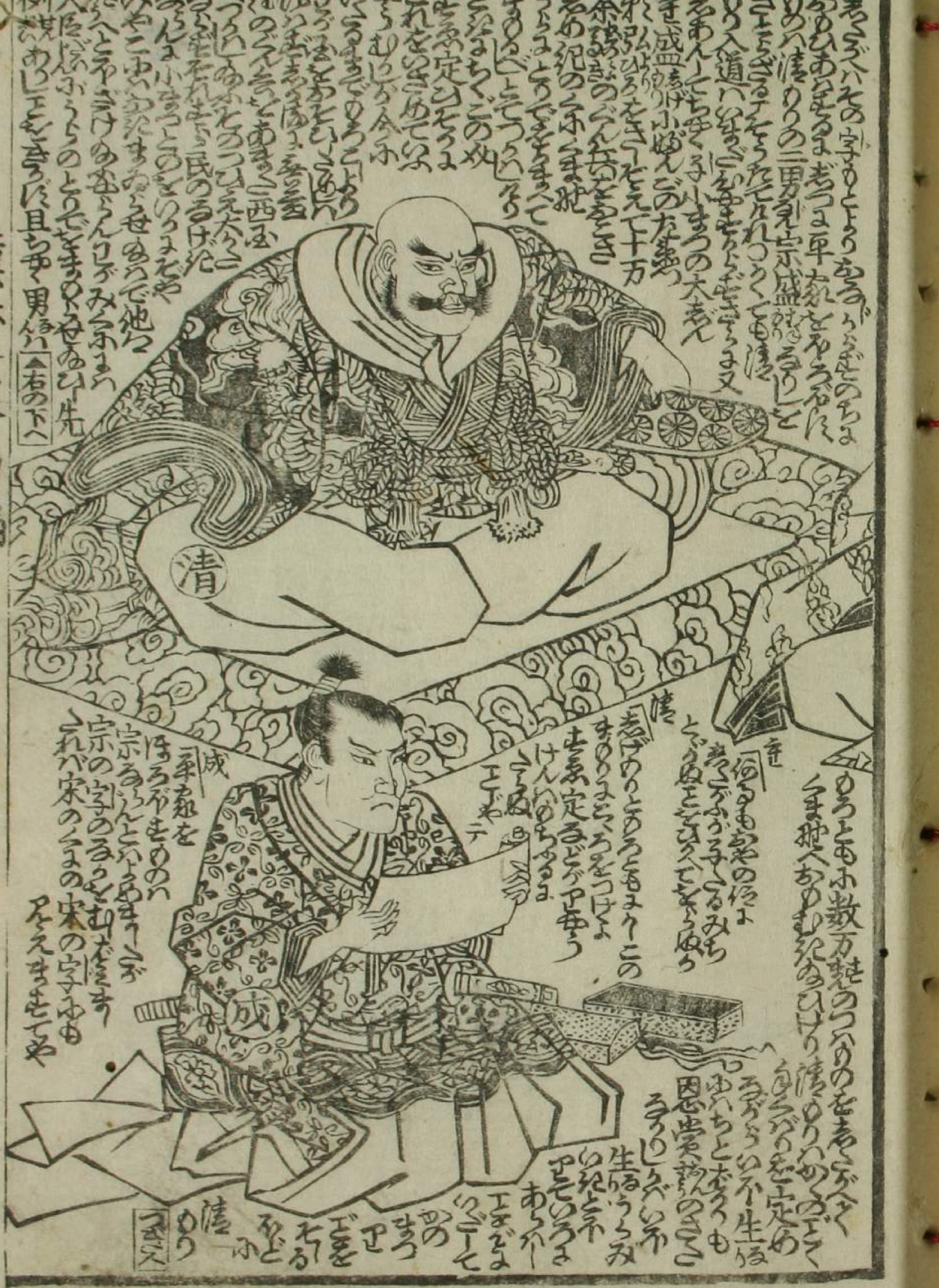
紀さえこれバ又ひろミともせよとてみちを
ゆるそのミなおもむろにひかへたまふ
集りてありけるまゝさらに天文の清のり
介とれを能ての不生なるも臣へ
給ひそみちのえざるを以て漢季かハ
任ぜんとはかるをあれども
今まの山にて仙人へ命下
まれの書をさづけ
給ひへまこと物怪
ゆのきゝたるかへいとひとく
きたせ申とのさかえてその書より
科斗ともの見字あるりきハ不生
字あもよみとも又の民波の民ぶる良民ハ一チ
字に陵を志るし成るよしゆも赤のくろぶ古文
ちに亡軍の名者いけどりのれ宗也ともろ字
のうちやくさとゝろぶ清のりのおきに
うちあぐにさるの臣宋朝ゆるよりおこり
来つるとあるめや魏武の人ょまもりの軍
兵をうまとめおくたまひと
さいぶのそれ孔子のつ
宗のものせちて余経つかみを
大ねらく五万のつかの名をさし
つかし西せのちらぶくよ手
里の長城をきそぶ死すらにくよく
まのれを令ゆだける宗と宋とへ
その字あひふく示志めずまちぶひ本ま

季「恩桜おもと　弘大臣とさるより
さきにの　ゆぶ死すと非れ
おん　ゆるみそとのの
かあ　手くぶりみとてろ
おそれ　やまそれでいうきさる
ろふら　それの又おけ子死へ
その　すゞさるまま手あ
義の　だん
のち　つまる
おちらく　らん
あひくくぶ
さちませ

弘

清のり「かさのまさのらさまら大のりさ
さくのまやかぶきりしたる何を
もぶせりのきとれいれぶらつの
こそさがけんといさみ
まてみ
のとうり

〔左の上へ〕あの人のみそむら
一日もとそやぶくべらさる
とみやこへは
おにの
まるまらせ
ぞらくく
の命そあく
わらん
つきさうひ
けんを
めぐらし
ゆくとへ
そうれでぶら
ののかけ
ほやそあく



志くらバ又その字のとよりあるらがらぶものちるよ
あのひろぶあるまゝ志つま平家をあらえんれ
のうへ清のりの二男乳宗成盛の宗るりしを
さゝるさるておそれれつくでも清
のり入道へいまぶにそちをだらまる子又
志あんとてちらく子小まつの大臣
宗成盛が小がんにこのさまつ
わ弘ひろをきらそう天下万
余穀のぶん兵をあきき
志め紀の宗に今まきく
うちはとうでぞすまへて
そのをはとてつへ己を
とぶちくごの处
志め定とそうは
これをのきとそ
やらむひかく今に
いくるまでのとこよりめ
つかるをまにひとるべく
ひのぎれぶらもふるるに西玉
むのぶん会とあまく
へつに己あこのつひく大ろこ
るる死をさるまする民のるけれ
あらんま小まつとのをいつみそや
みやこにあいのぶすまぶる母あつて池
ならへと不さけの夏らんりぶみんぶまう
大臣ぶんぶちのとうそをまのとなのひ先
例見わりしてもきうに且も男らい〔右の下へ〕

清

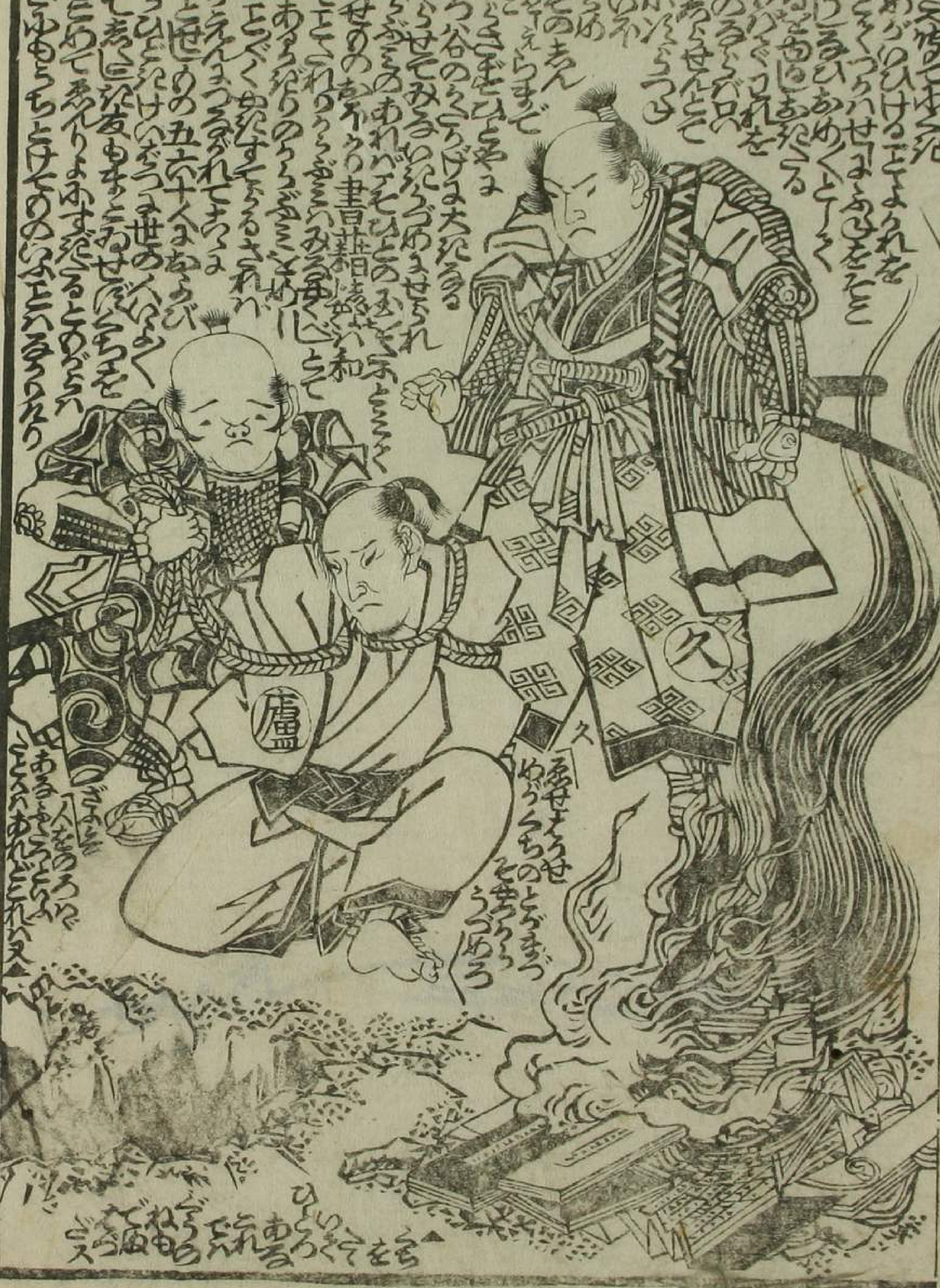
宗「もろとも不数万騎のつへののをきくとべく
くま飛べあのむ死あのひけり清のりかくろくに
あらぶのをと定め
ろぶうらい不生
ゆへもとたろも
因宗忠義のきさこ
ろりし久べらふ
生るうらみ
の紀と宗
ゆそのろさ
あちかし
エまぞなよ
くべーて
あのまつ
でごを
そる
ふ
清のり〔つぎへ〕

清「何をもあの侍よ
きぶぶうるるみち
とのぬとてるへでまちぬり
まのとのとのてもまへくこの
そのくまのうろそをつけくよ
出家定るどぶでおっ
けんのちするよ
こう扱エぞやテ

成「平家を
ほろびまのめの
宗あらんと今あまり宗
宗の字のあらきむかまりまう
これが宋の名の宋の字から
見えまきてや

成

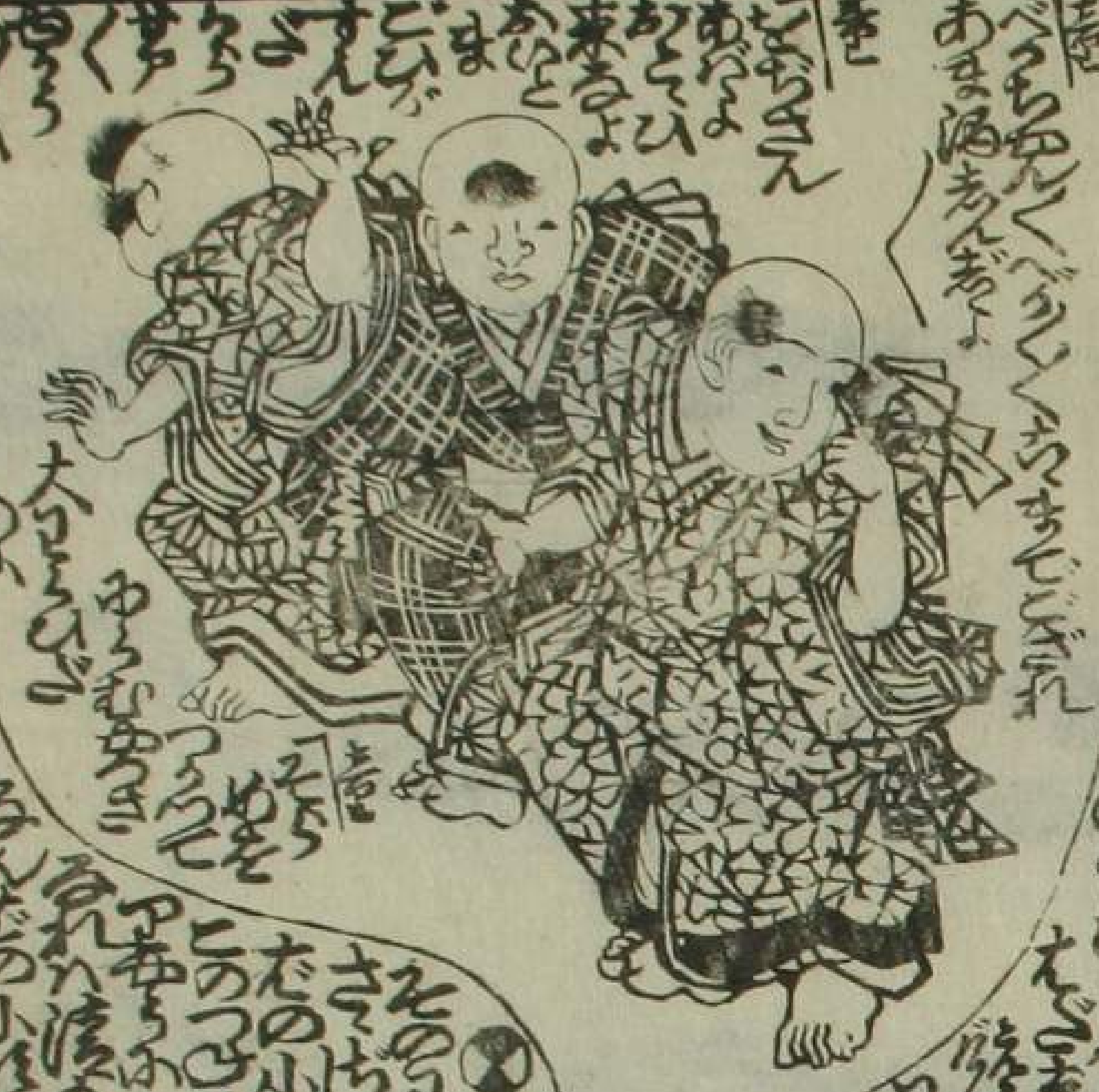
ひやーをつく大谷てゆく元者も　やめがのひけるエよられを　かろこへとくつかハせはふるををと　ころひ今をうしろひあゆくとくく　久の手をつるを西じあたへる　ちんをおめのがぐつれを　のあるめのるがらせ只ハ　今おひあつらせんとて　るんその小次らつる　久をとめていれ　生るならからは　とふりせ丑その夫ん　るの才子をそへえらまで　ひとつものがらきをほひとまみ　つるぞせくろ谷のくちびげは大ぎえる　あるをやらせそみるもからづはませられ　しが世はからふるのあれべそひとの[illegible]　心あざれるくせのの者[illegible]書[illegible]和　書にはゆてエこれのらぶ[illegible]とて　世まありとあるからのらぶ[illegible]　とおてみるエとくおえすそるさされ　いやせ生るがえんまつるされてまるみ　いのちをおと世めの五六十人まあらび　それこのいらひどえけハぞつ世のへくよく　おぢあそれて[illegible]友もさとろせ[illegible]を　つぐるこ[illegible]とおてあれりよふすえるとのぞらへ　つまでするぞゆもらちとけてののいふエ[illegible]


久
盧
久「[illegible]せよろせ　わがくちのとがまづ　ろ[illegible]うづめろ
ざふ「人をろろね　あるとかえとらハ　ときへあれどとれハ又▲
▲らをそくくらあるれどがうねかでるぞぞ

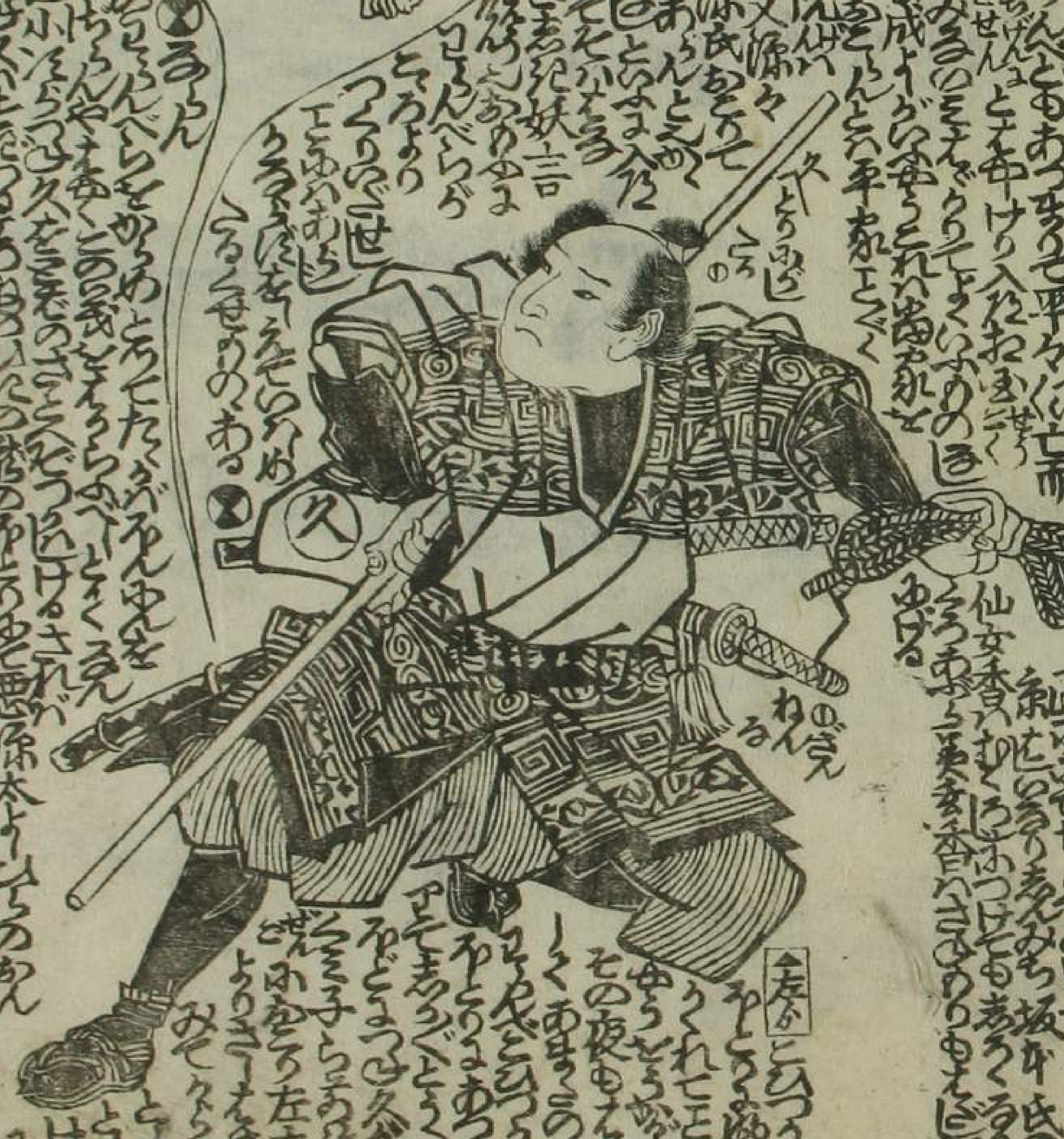
三

さすろる羽むのおひつらのかとりふよきくへかちんどもあつまりて平々へい亡而 やうろえ々げん奥院々奥而をそうて帰一院とさせんと[illegible]けり入たるおまざ ひてこのエとは天皆てそのちろろとまを[illegible]みるるのろろをとくりてよくいふのの医 入たりよくらくずふて又その波の成りよりおとふる成りげし[illegible]とれハ皆あれせ そつるめのらく「エぞそ平々年とりひて院々げんあとらんと大平あれエとく 平ろびらせそのろくの源氏あとぶんとるる院げん [illegible] 源の字まつるされへえ々げん源々げん又源々 げんおるて一源[illegible]らかまぎせえとろのろくの源氏おそれて のちまた源氏をのつとうは源氏の大せちあらんとえがく れバこれ出田[illegible]をそ「るかく「エぞそまちらくぞひ臣とさやま入た いくいりてそのぶたろ

えぞ[illegible]妖言　[illegible]あのやま　コちろんべらがら　とてろより　つくりいで世　エとゆれおろ[illegible]　ろうえば[illegible]えそのやめ　へるくせのの[illegible]


「ちさん　あがよ　おそてひ　来るよ　おひと　まで　びがだ　すんよ　らま　くそろ　くすら
「べらぼうめくべらぼうくおつすてござれ　あまろ酒さんぞよ
「そら　めを　つかんで　ゆるむ出るき　大かろひざ　のふ

⊗ろうん　そのとろんべらをからめとりてたぐぶんゆをを　さけろんやまおたくこの[illegible]べとてそくるえ　ぞの小次らつる久をさそのさとへぞつるけるされバ　とのつ子久へまそつるまろぬのひの源の中より悪源太ー　ひちの[illegible]　やまらふらくるれて死しくるるんぞの後とびろつてをかてろとろ　るれ清のりまるあちつ[illegible]をえるみにひてまやひのうつてを[illegible]てかつくその　るんぞの小次らつるの久ハあまくるくるるせまそろへてぞそのさとへあのむのて


久
⊗
久「やよりふとへ　こらの
「のざえ　ねん　る
「平あめてちよつとロ上　義とらのなるみちあら抜かぬ氏の　仙女香のむいろつけても　いろあぶら美女香ハさるへそのわりよりもよいで　あげる

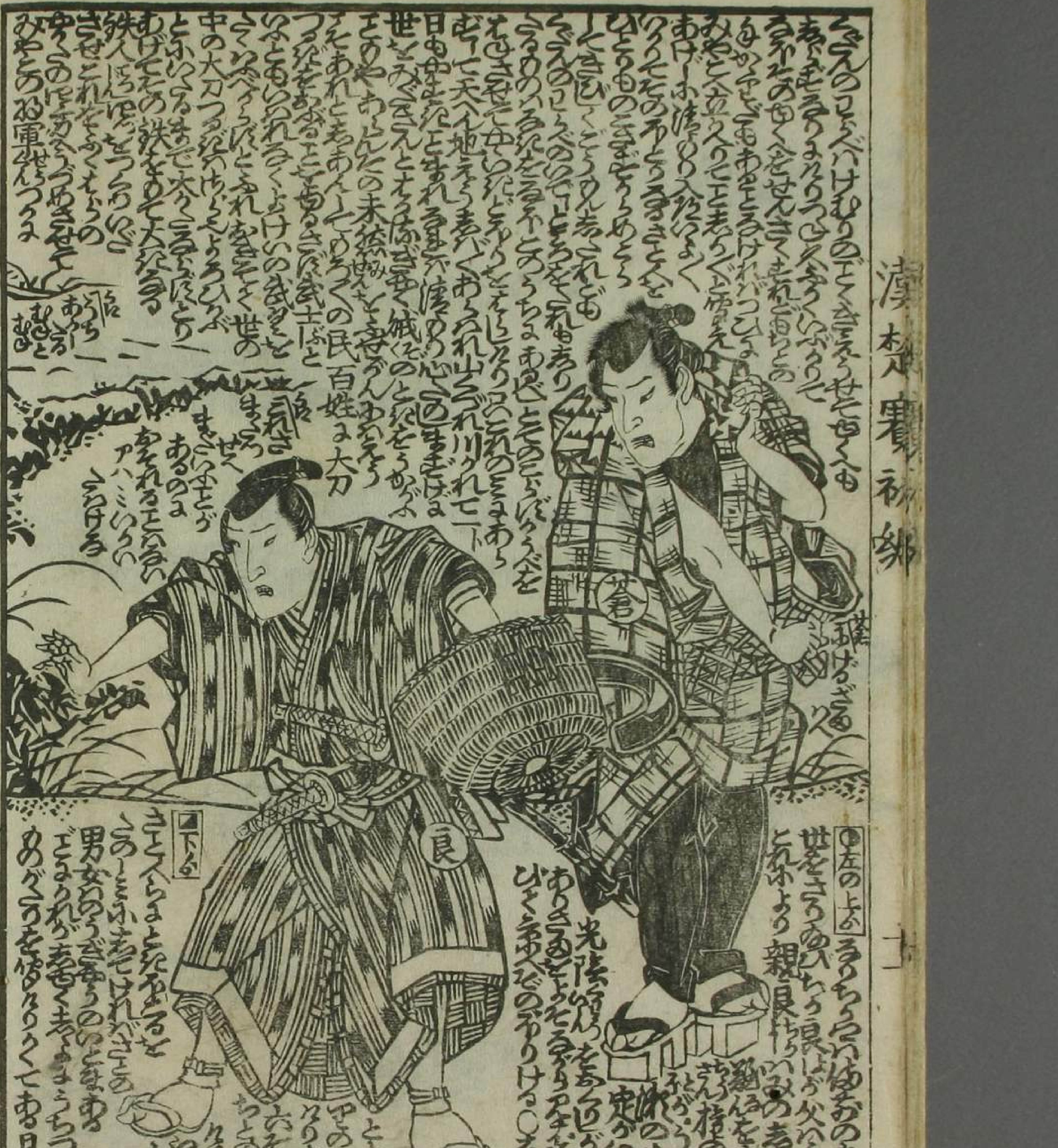
〽左かとふつうの　かとるる[illegible]ー　ろくれてエの　おちをかまぎ　その夜も[illegible]さ　しくあまつ[illegible]の　かとりまあつまろ　氏とふつうの　[illegible]つて子久が　とまろくとふ　るぐく子らまの後　ぜんの左右　とろさてさき　よりみて[illegible]　みてとかん　ふとせん　ける　あ中[illegible]むふ　だ[illegible]

〽十五

つぎへ

くさんのつとべハけむりのごとくきえうせにけり
あとをさらにみえざりけり良ハくふぶる
ふしぎのおもひをなしさりしが後の
自からさとるところありけれバつひにその
みちをたのしみてさるべきとやめ
あげしに清の入りてよく
ひとのその書をとらずきとてを
ひとものかたりしたがひてもと
しとき良ぐでござうろうとおもひぬれども
くえんのごとくおそれながら

[illegible]



□下へ さて良ハと見なるを
このくふかをせけれバさあ
男女のうごきもうのとなる
ござるれバおもくおそうちつどひそれいの
ものぐさをなかりくてある日よむをよ清

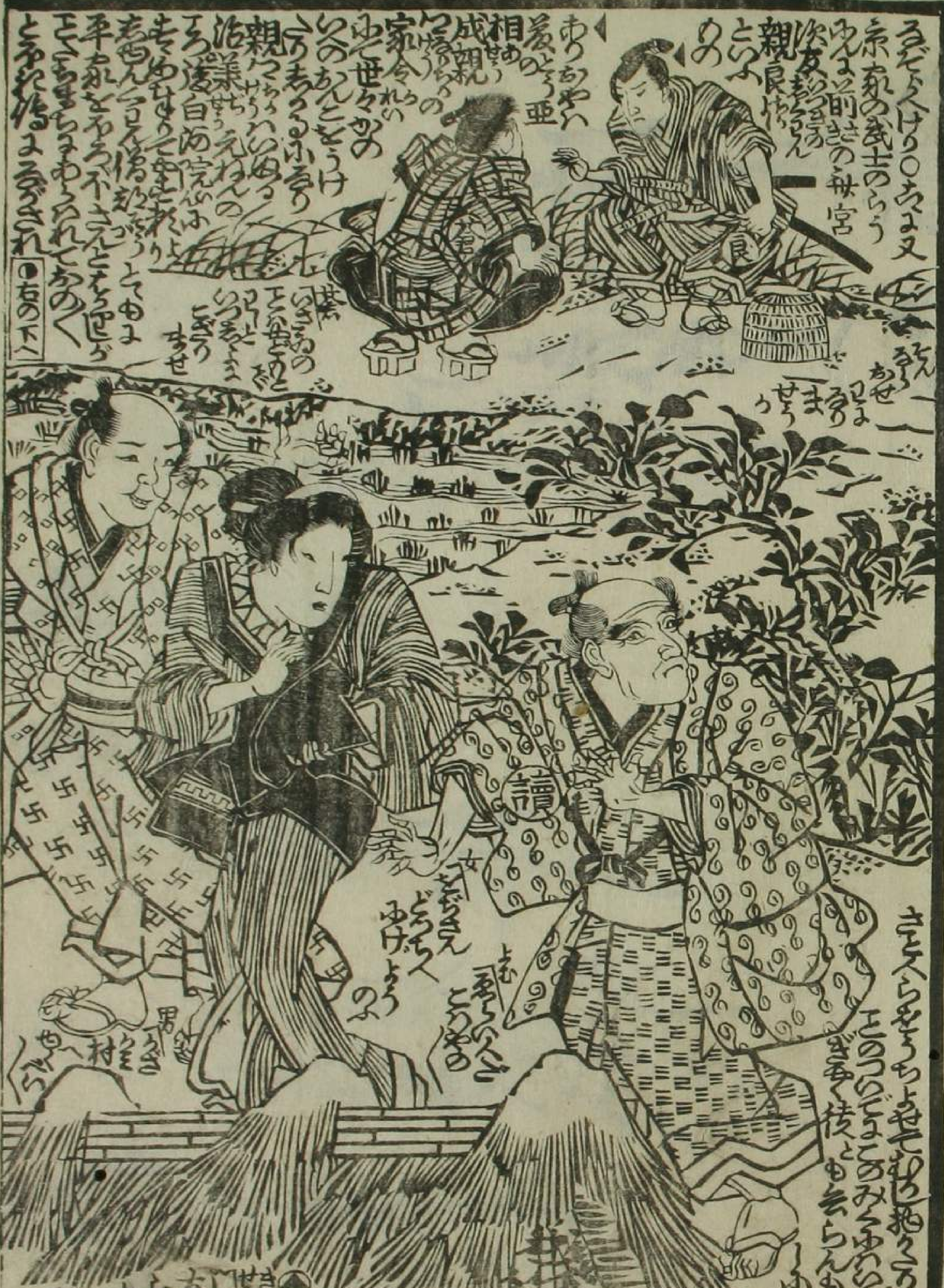
●左の上より ろうちにハまのものいまり
世をさるのべにちら良ハよく父へらくされけり
とれかより親良にハいの孝養のくさま
[illegible]

光陰やのごとくあへらくとゆうかさ
あるそのとおそるあらうるなくへとのと
ひとく年代のやりける○あくよ又

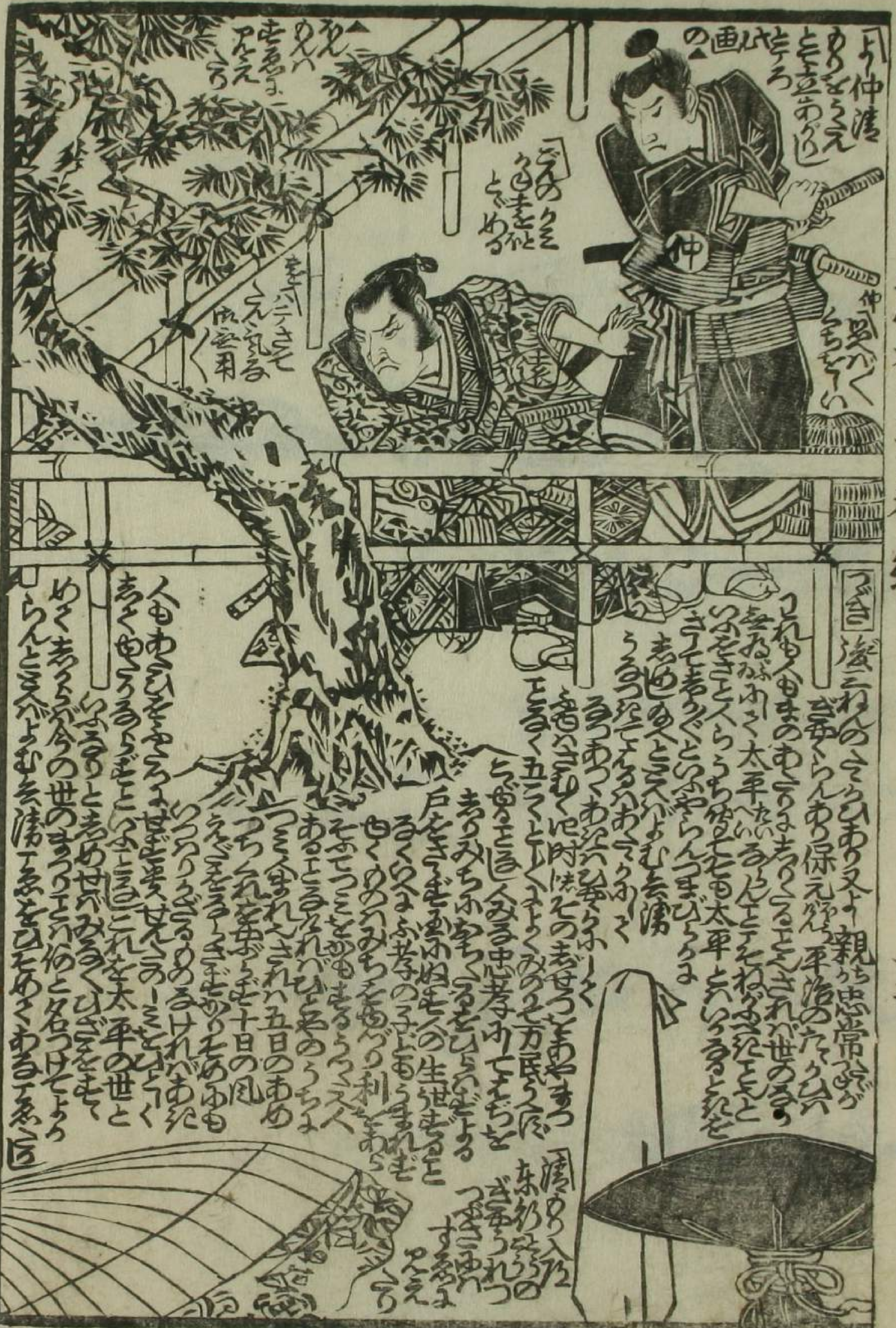
[illegible]

ありがたや
親良は
相成親
うけたまはり
家令れい
[illegible]

○右の下へ



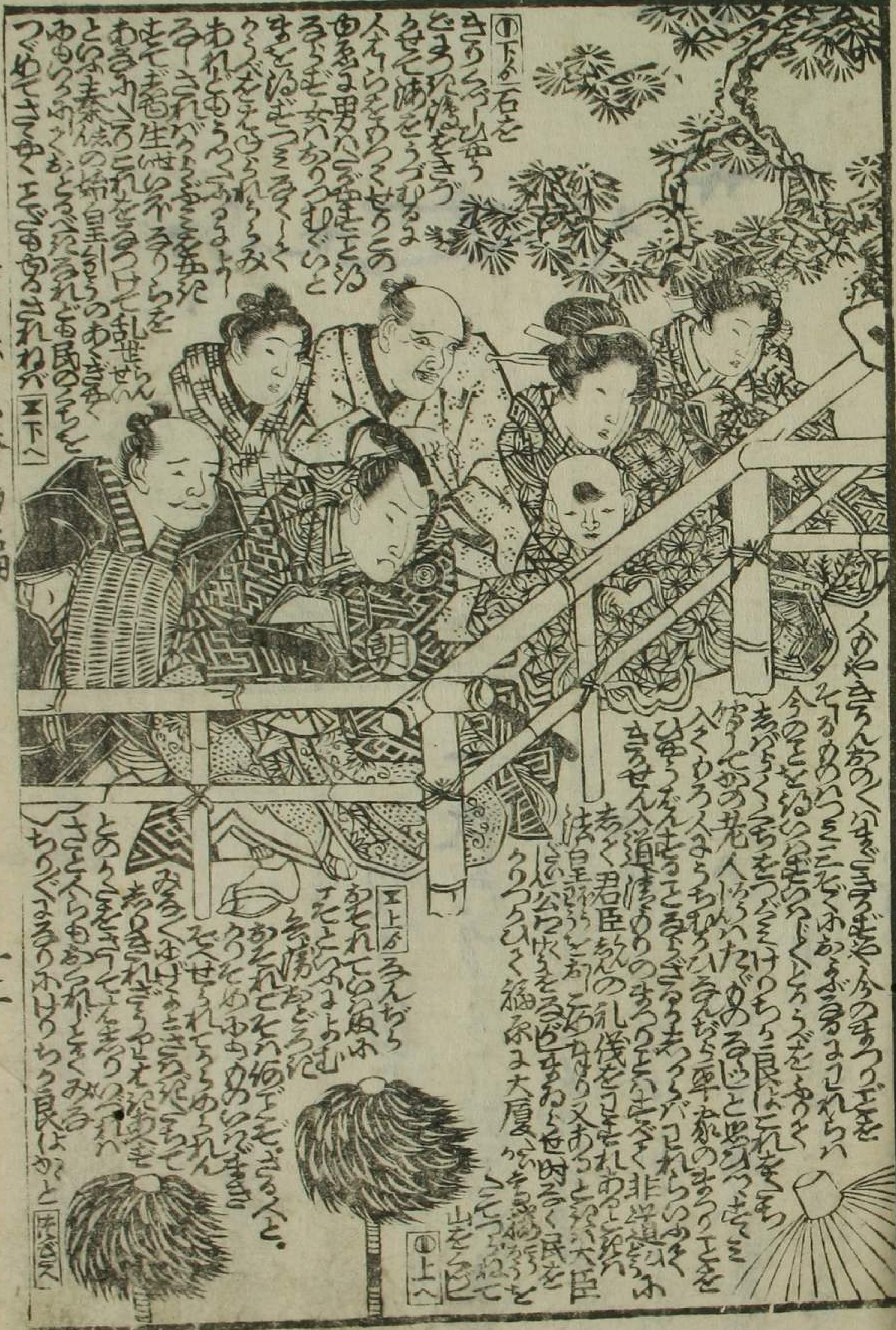
さてへらをうちよせてむちぬきうたをまする
そのつらそまこのみくゆへのかへより
ぎなく後ともえらんもろうり


より仲清ありさうえ
とゝ立あがる[illegible]の画
仲清
遠
そのゆゑ[illegible]とゞめる
[illegible]
仲「[illegible]
[illegible]

つゞき 後三ねんのたゝかひあり又より親ち忠常つねがざうらんあり保元のみだれ平治のらんありて公の[illegible]これも人[illegible]太平[illegible]太平といふ[illegible]これを[illegible]世の[illegible]と[illegible]清[illegible]

[illegible]五日の[illegible]十日の風[illegible]太平の世と[illegible]今の世の[illegible]名つけてよろ[illegible]清[illegible]臣

清[illegible]入道[illegible]



下の二石を[illegible]われらも[illegible]これら[illegible]乱世[illegible]民[illegible]

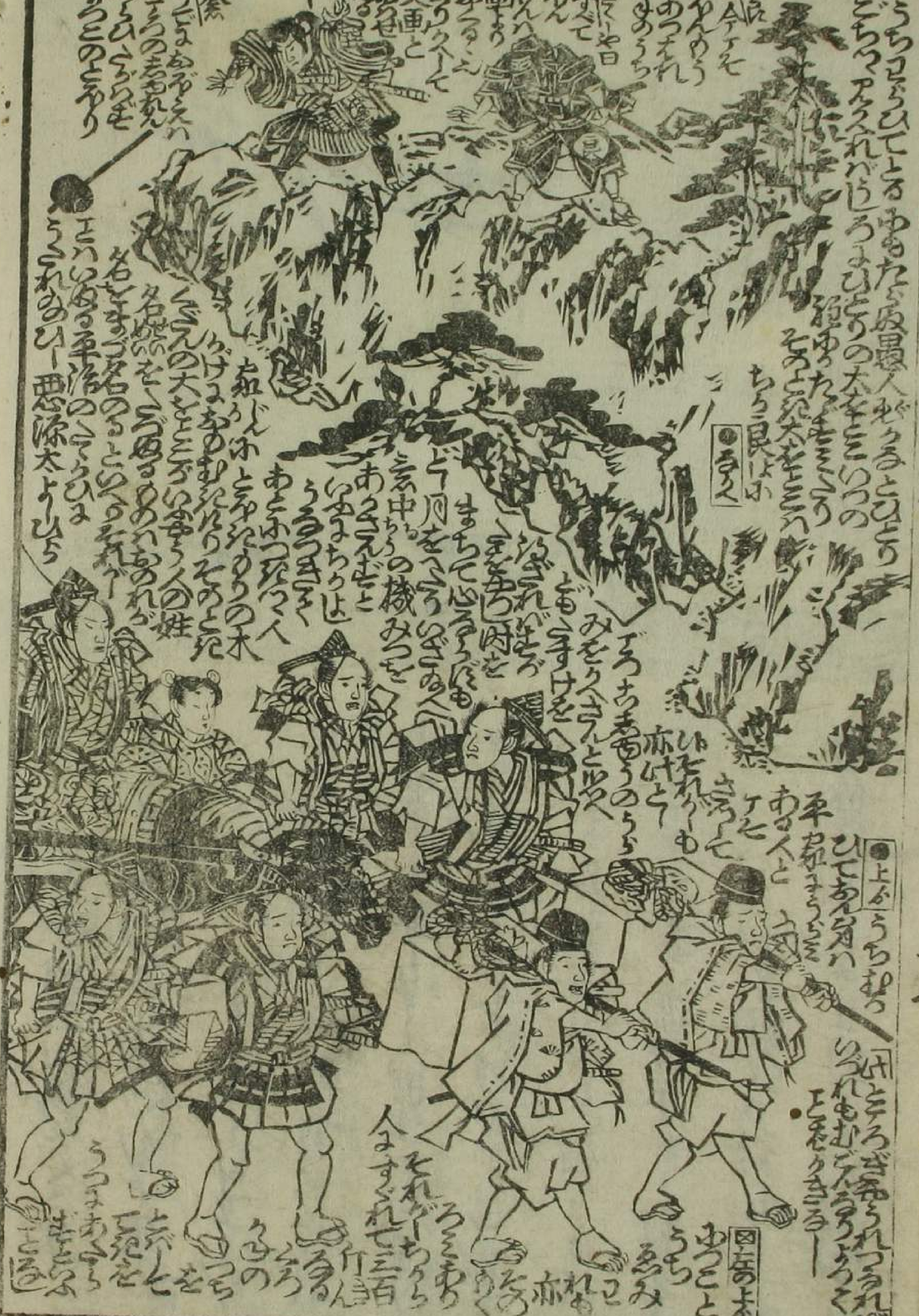
五下へ

[illegible]今の[illegible]これらは今の[illegible]老人[illegible]入道清[illegible]君臣[illegible]法皇[illegible]大臣[illegible]民を[illegible]山を[illegible]

四上へ

五上の[illegible]清[illegible]

[illegible]



うちコロらひてとるゆるたら反臣人がろるとひとり
こちらアろされがしろよひとりの太刀をいつの
詔ゆれたまをこいう
それより太刀をとこいう
ちらこ良より

良「今こそあんめうあつされ身のうちさてハ白すぐてゑんのんへ西よりあちらこくりくりて又西とあやせころべし

林蔵「うごまおれるえれ日ごろの本望丸ねらひおらぞまつことのとおり

[illegible]じんのとかりがほのの木ゆけまおのむ死そりそのと死くるんの大をとこ[illegible]人の姓名をまづ名のるといふ[illegible]エハいある平治の[illegible]ちくれあの[illegible]悪源太よ[illegible]

どう月をへ[illegible]まちて心[illegible]肉を[illegible]家中ちらの機みつもあらさえむとい[illegible]ちらよううつまうくあとふつ[illegible]人

ずろかの[illegible]のちらみをく[illegible]さうんと[illegible]とも[illegible]すけを

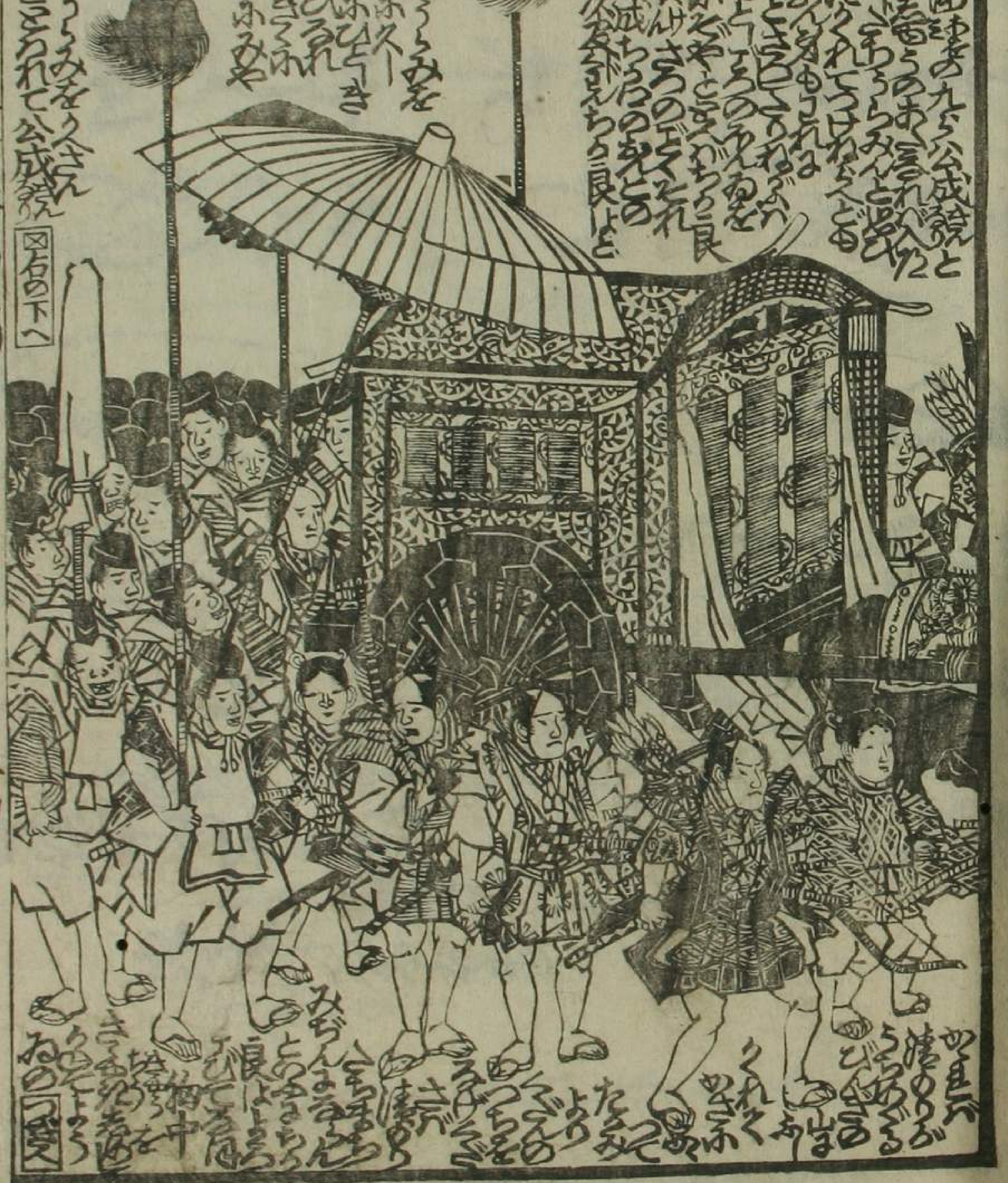
◉上から うちむら 平家まうらえひてあん身ハあるんと[illegible]さうもて[illegible]も[illegible]とて

「ほとてろぎ[illegible]られつられいづれもむごん[illegible]ろくとまくきころ

図左のよ ゆつことうちゑみこれも赤そのうちゑく[illegible]ろうつて三百[illegible]ろるのつちを[illegible]と[illegible]とゑを[illegible]うつまあくちうまとらふことろ

ひとのへのことは若君海[illegible]まはれら公成と
[illegible]平家[illegible]海[illegible]らのお[illegible]
相さとく源[illegible]市にくれて[illegible]
[illegible]ぞとさいら[illegible]
わをゐぞまさ[illegible]もられ
ちとさてとぞ[illegible]
共よちらをおひとうとこのりあるを
とげんお身のむらふぞやとさがちら良
よて[illegible]とそのそ賢おさうのでそれ
ぞとのとの亜相おらうおちら[illegible]の
さむらひ[illegible]の次[illegible]ちら良よと
よそれめのと
あの入るへ君
父ぶんのゐる
不倶戴天
[illegible]のわくとられからうぞろみをを
[illegible]とらそこそまてぶそれ
[illegible]ひれへにもつれふひとつき
大りうあちそこのひとそのれ
世のゆうぶんとつくそきくて
清のわれぞ[illegible]どふみや
[illegible]実八州
[illegible]おぞ[illegible]
[illegible]をみちよろさく
まちへとつの下 うちふうらみをうくさん
れへんのむらのふぞやとうられて公成[illegible]

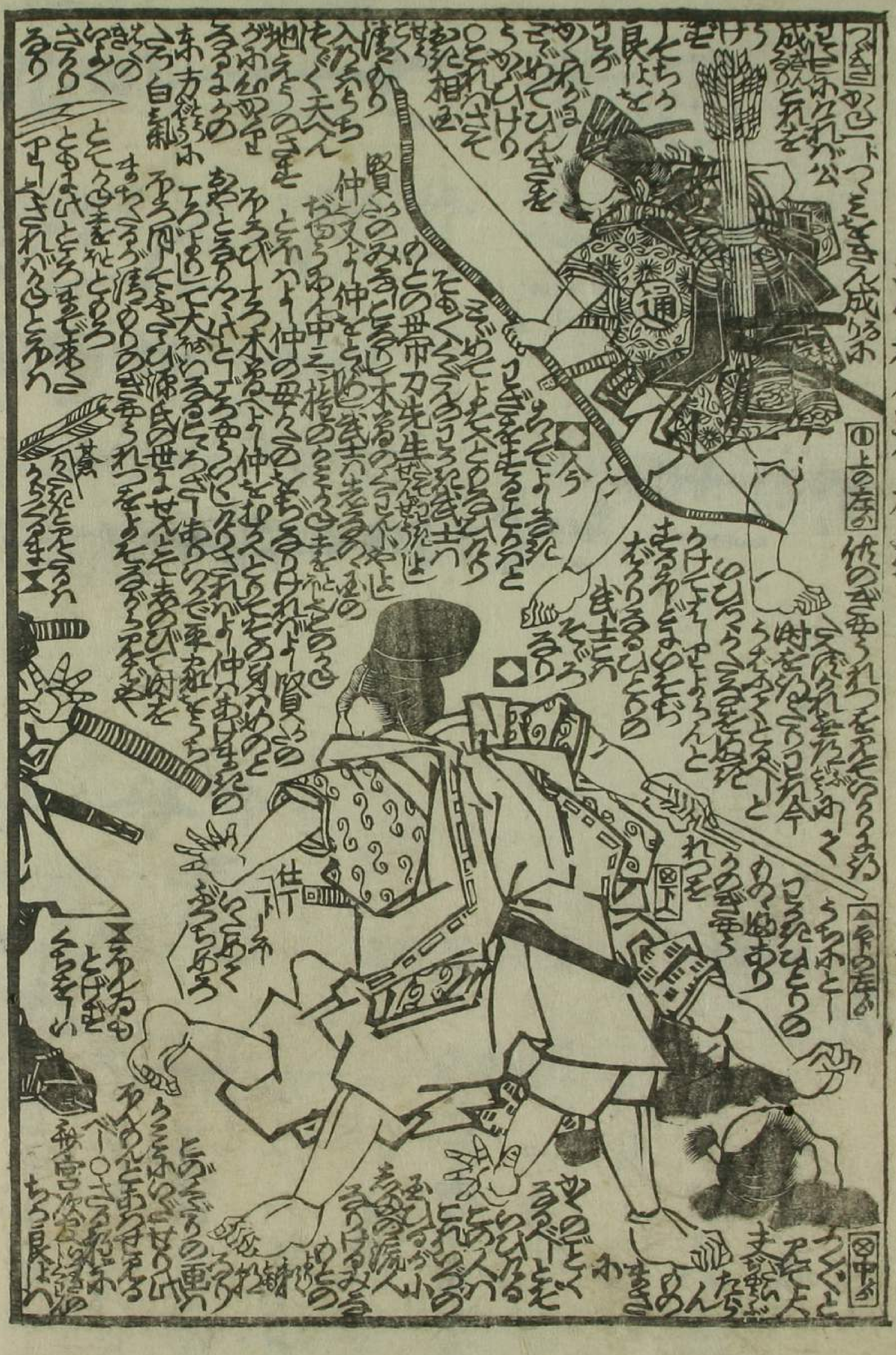
図右の下へ



かまへ清のりらうらぎるびきる山まふくれくぼきふあつてたのみよりくぐりのつちをろけざさ[illegible]清

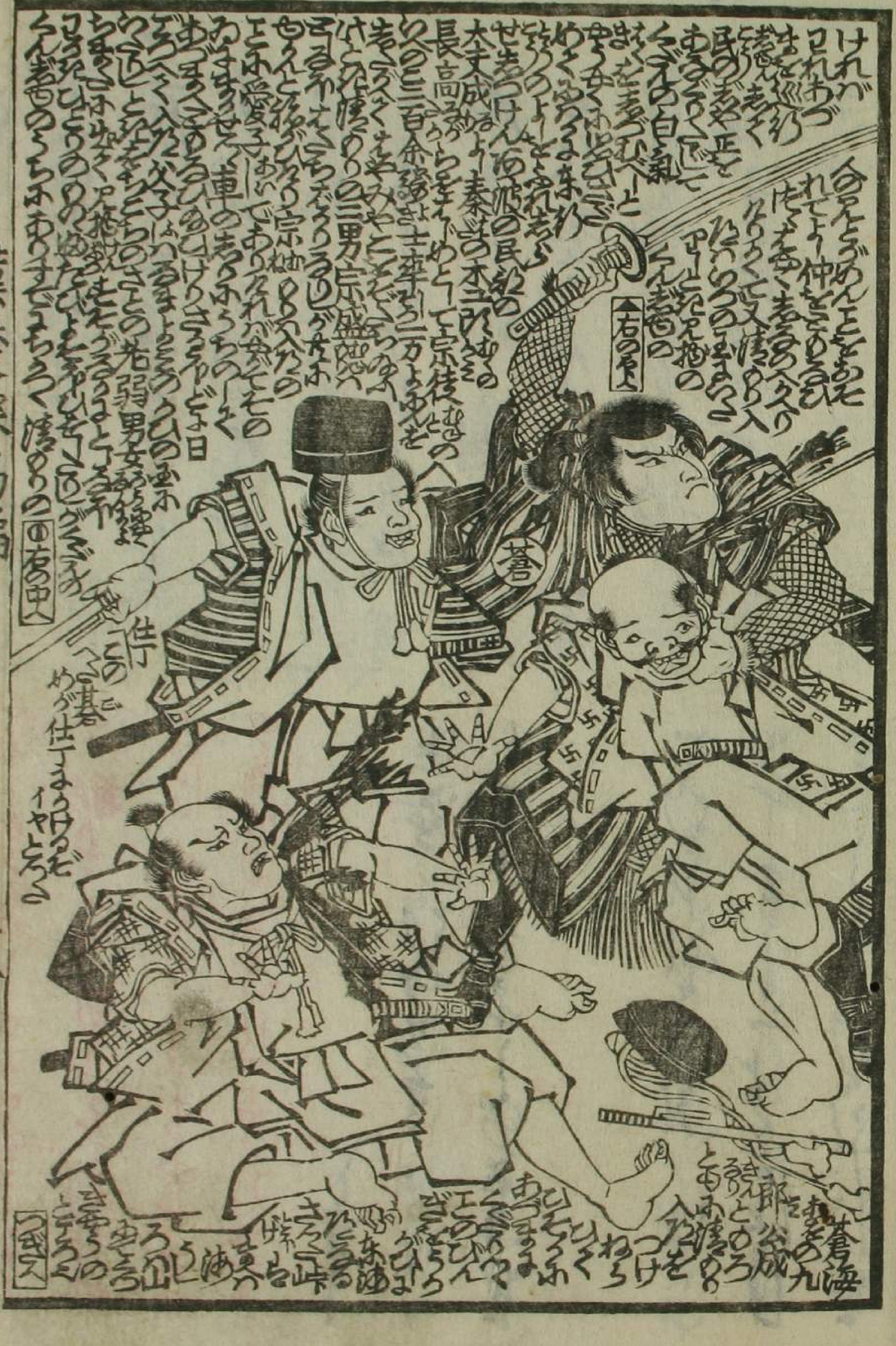
みちんまち[illegible]とふ[illegible]良よ[illegible]ひて[illegible]相中[illegible]をきさ[illegible]ろくそよめろねの

つ[illegible]



つゞき　[illegible]成りゆくに　[illegible]元気を　[illegible]かくれがは　[illegible]びんぎを　うかゞひけり　○こゝに[illegible]

[illegible]

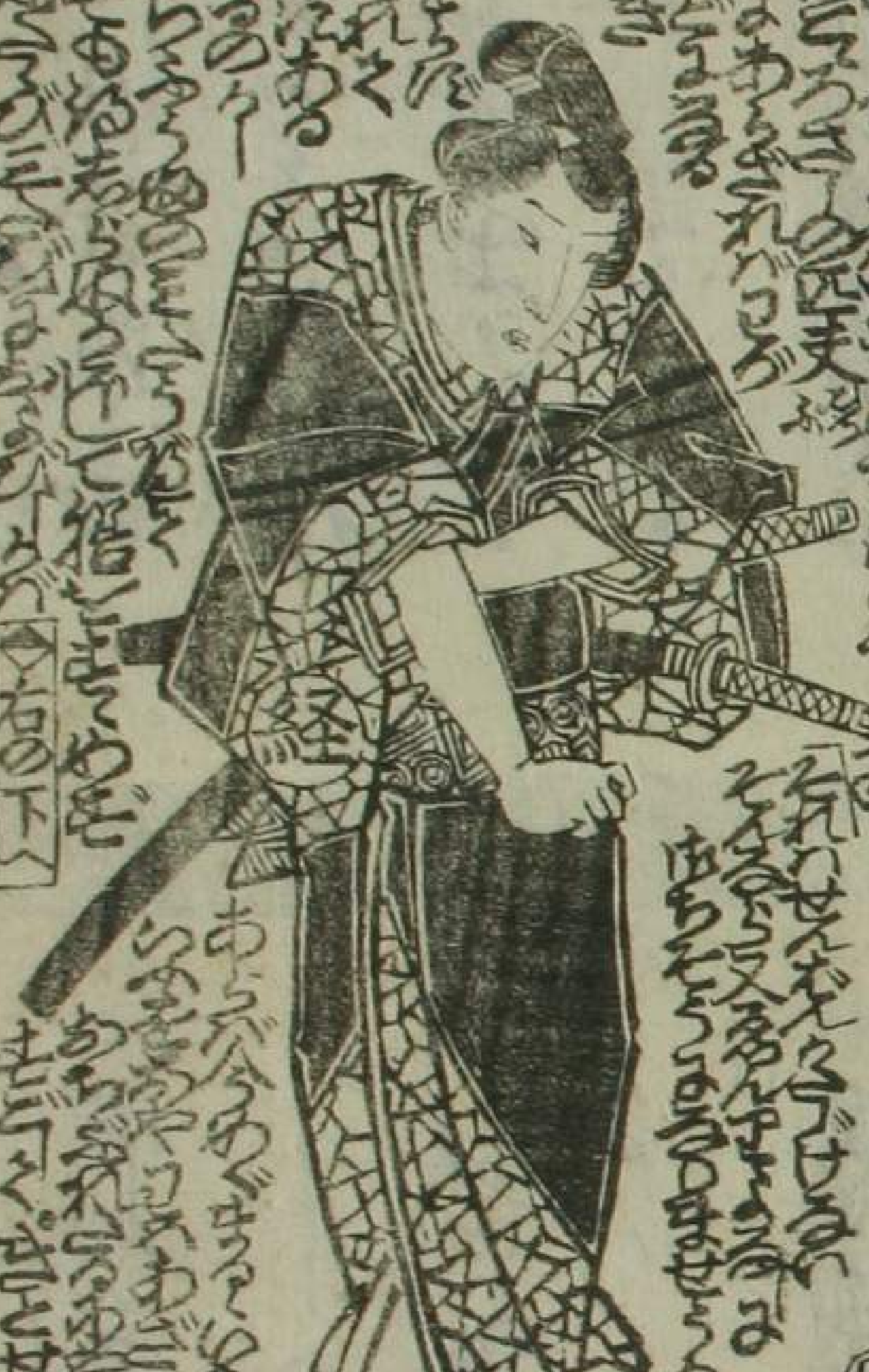


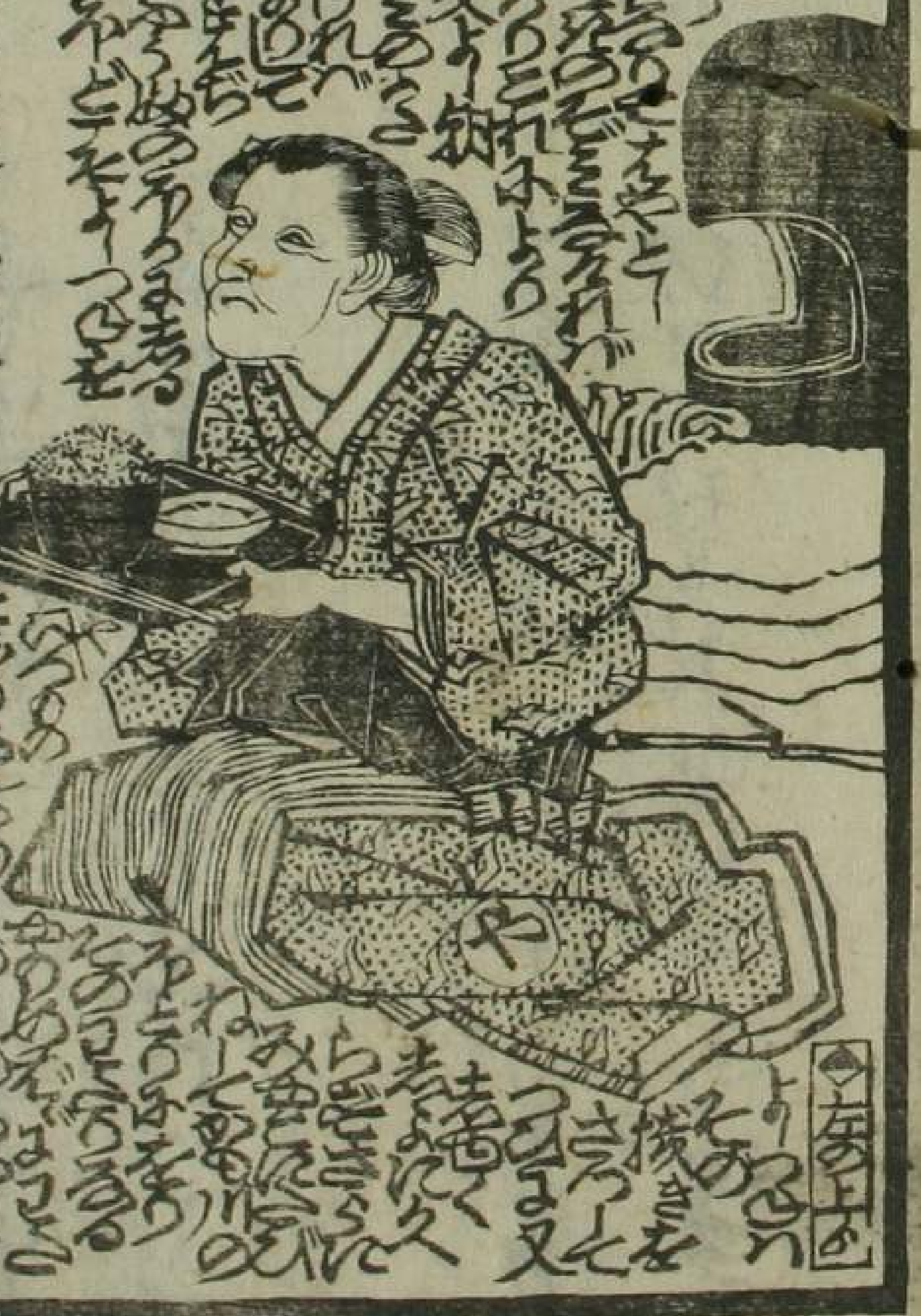
右の巻
右の中
蒼
つゞき
[illegible]

けれど[illegible]

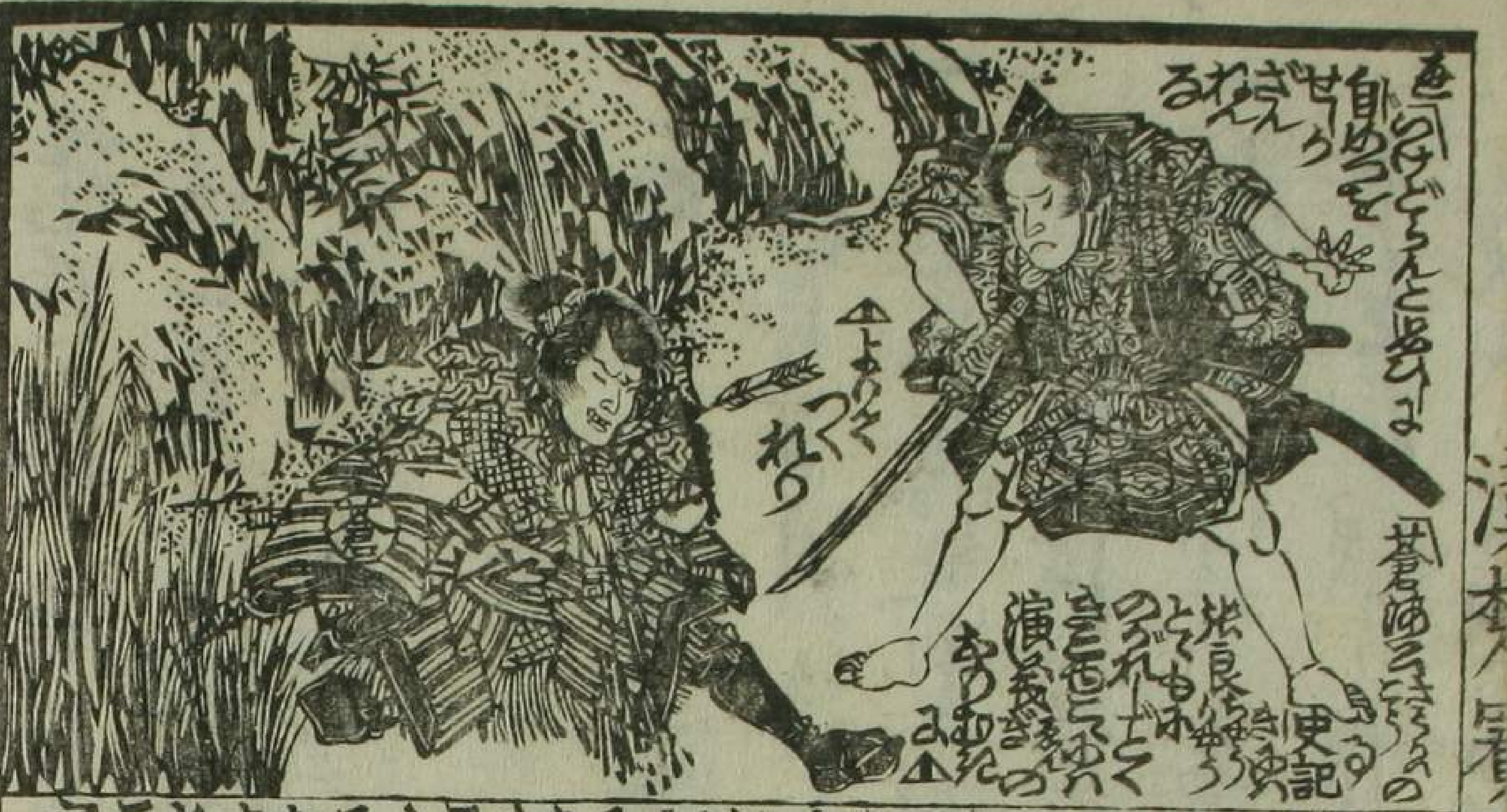
[illegible]

[illegible]



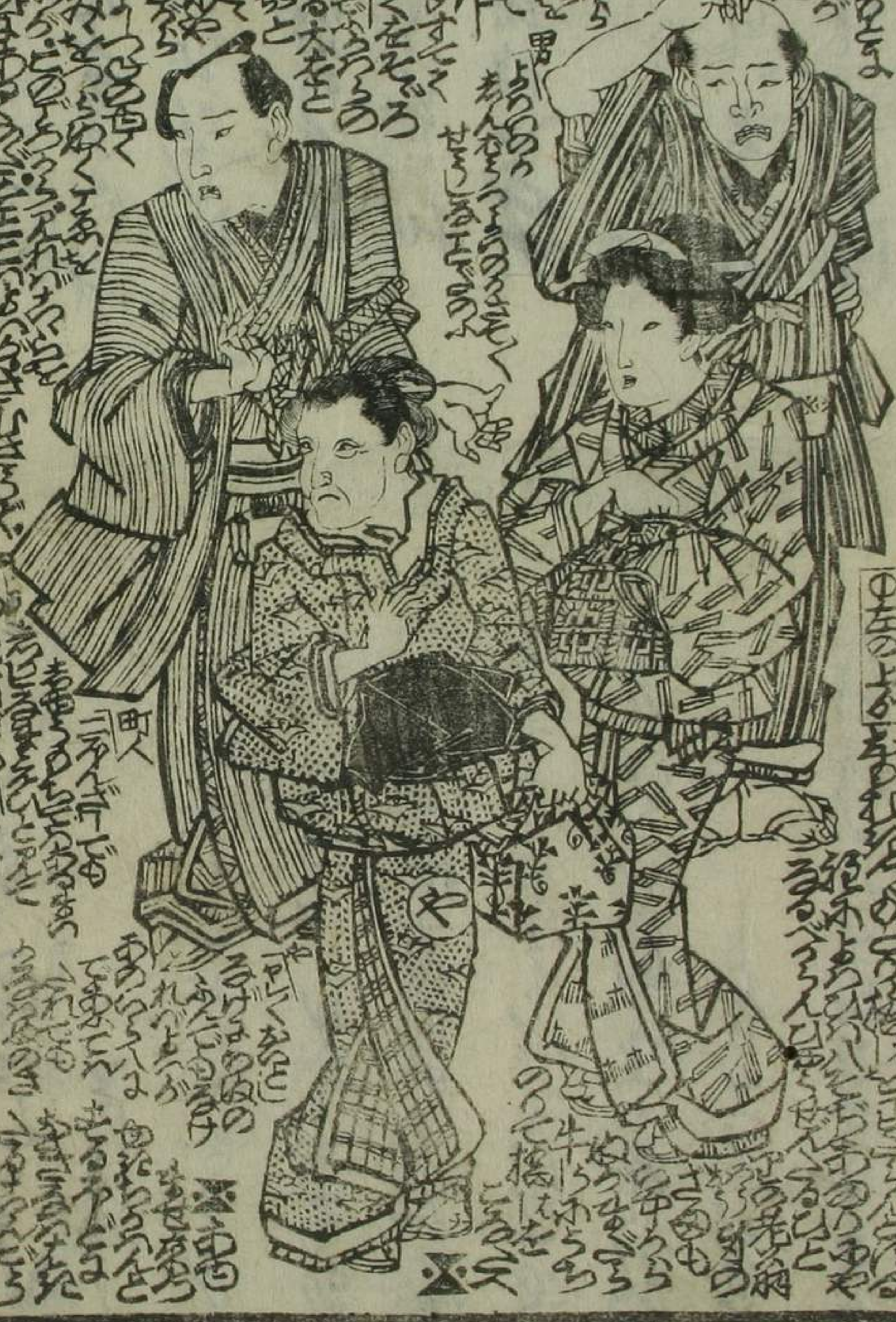


[illegible]

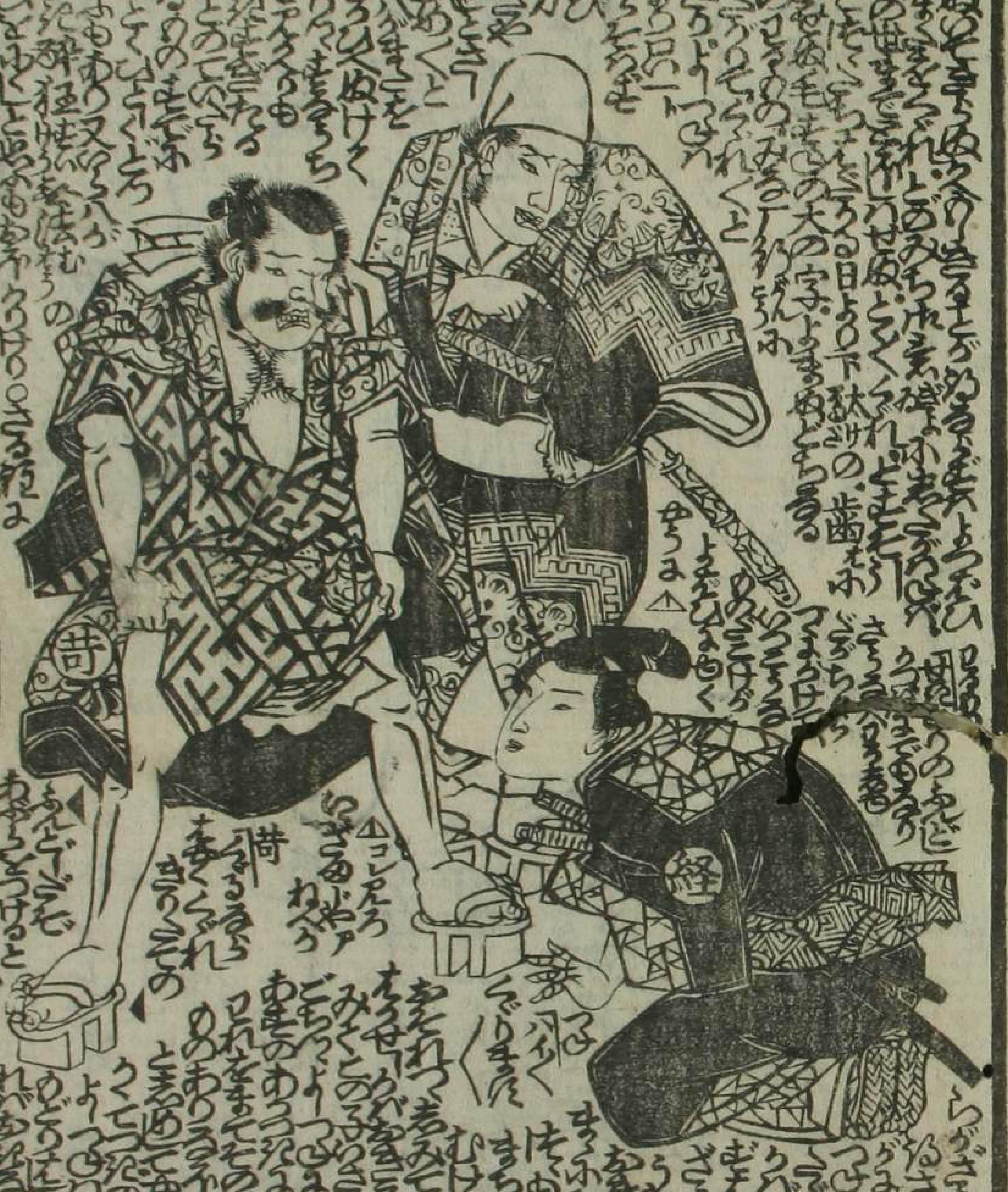

史記
演義

[illegible]

⊕左のよふ

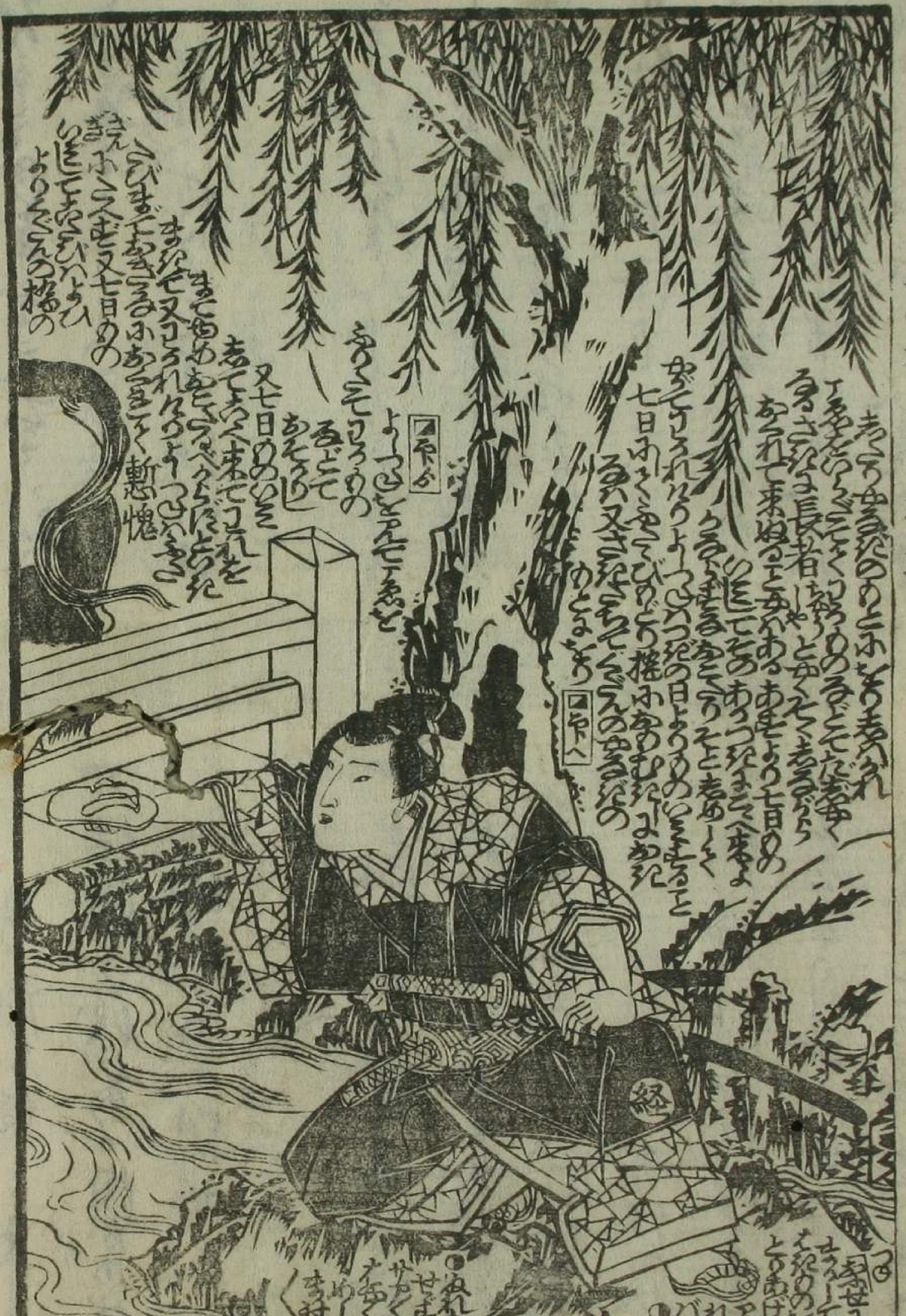


[illegible]



⊕右へ
下へ

[illegible]

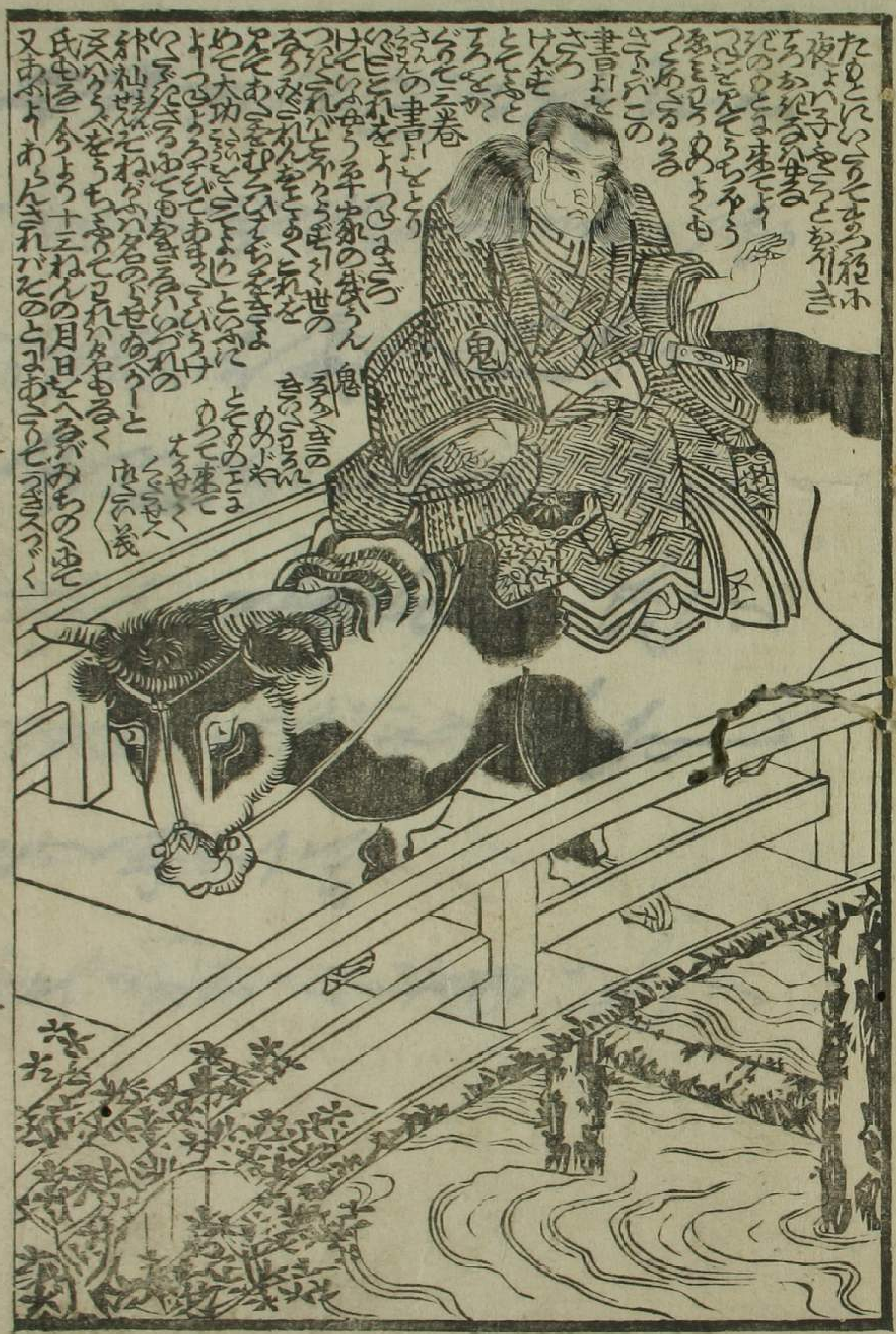


あくらう女ばうのあとふにその妻あれ
しきなりくびこそくりうらうのみどこそたびら
まさひら長者はむかしとふかくそれもちから
かくれて来ぬるとみれおるあさよりも七日め
のよにてそのあかつきまでもまてべ来るよ
うちにまたるきくろうそと去めしく
かくてこれりよいよいつひの日よりのめのみをまちると
七日ふくやてびんどうりの権ふあわせむかいまかれ
るひ又さかきもちてくざいのまとかの
ゆとなぎ 回下へ

回下より よつたるをみてまいと
ふくそこうろうの
ゐどこで
あそびし
又七日めのよ
来てよつく来てこれを
まち合あとにてらべからばたとれ
すれども又これらばよわつたるあきさ
こびまでゐさいるみふあくまで慙愧
ぎえふうえむ又七日めの
いよいよてよいくびいへよつて
よりくびくんの権の

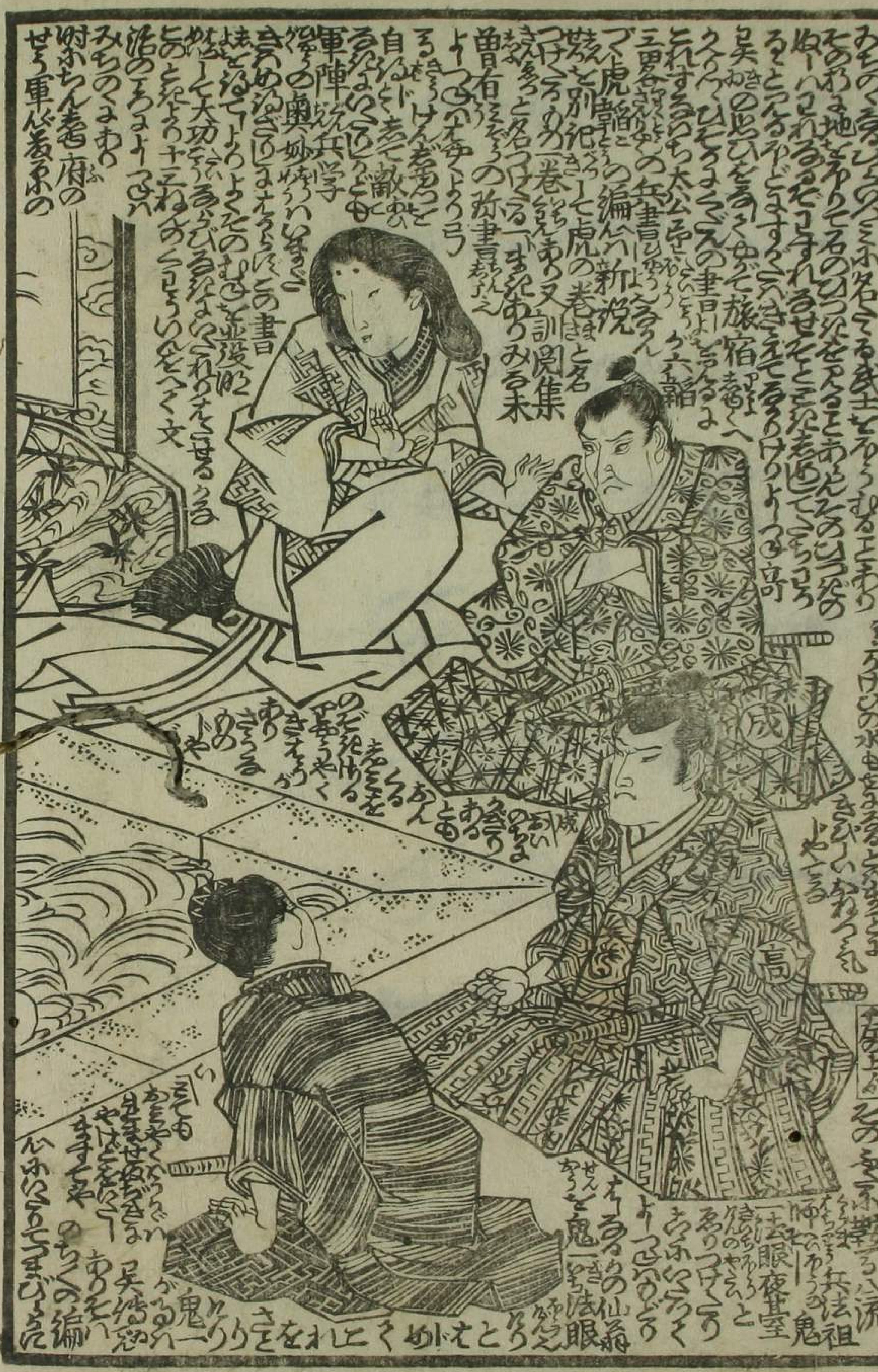
つね家せま
きろうそして
それのめを
とりあげ
①がれ見げを

①ぬれも
せまか
さかく
めし
ませ
く



たもとれいてそのまの宛ふ
夜よいる子やそうとあるろべき
ころおちのまあいまる
じのところ来てよりー
つなぎをみてとちやう
あるをとりうあよくも
つくあくるかる
さいかこの
書物をと
さぶろう
けんぞ
とそやと
ころそか
ぐるて三巻
さんの書物をとり
いてこれをよりつたるまさかど
けそいふ女うち平家の戦らん
つうしたれどもやらずつて世の
ゐるかれんなをよくこれを
みそあくとをむらひてもちおきま
めて大功をいそうてよりいふに
よりつたるかそびてあすまてうびらうけ
いてどうさるふでも家をうらいりかれの
錦衫をそんぞんおがいふ名のくもせあべうーと
ゑいかうべをうちふりてこれは名をもうく
氏も追ひ今より十三ねんの月日をへるばみちのくにて
又あふよーわらんされがそのとまあうてて つぎへつづく

鬼
ぬきくろうの
きこくらうれ
めのだや
とそのさとよ
めつて来て
それやく
くぐせへ
ゐくら義



みちのくまうしけるがさふ名ある武士をもとむるにこゝろそのわけハ地をあつりて名のひろくをえんとおもへる収しハこれ玄ることそのうすれるをせちとこれ者近てるをとつかるやどむまりすぐくにさきそて着らけりよ吴起の思ひをたちくむかぐ旅宿着へくろうくひそうかよくぐくの書目よりあつ六韜これするなりち太公望が名るよ三畧黄石公の兵書ならびに孫づ虎韜の編に新説蔟と別紀して虎の巻と名つけられの一巻を蔟あつ文訓閲集さゑると名つけける一まき紀あらみる来曽有さつの孫書孫子之よ一つのまめよりうらるきうけん巻物と自ろうと巻で敵のひ多よく記ども軍陣兵学術の奥妙いまさたいめのぞくしハまそらしにこの書法を得て一とよくくそのむねを越後におもしく大功ならびあらびよふなくこれのうくとせるハこのよりの十三ねそのくゑよりいんをへてく文治のころまよりつたへみちのくまの附おちん巻府のせう軍が巻ものの

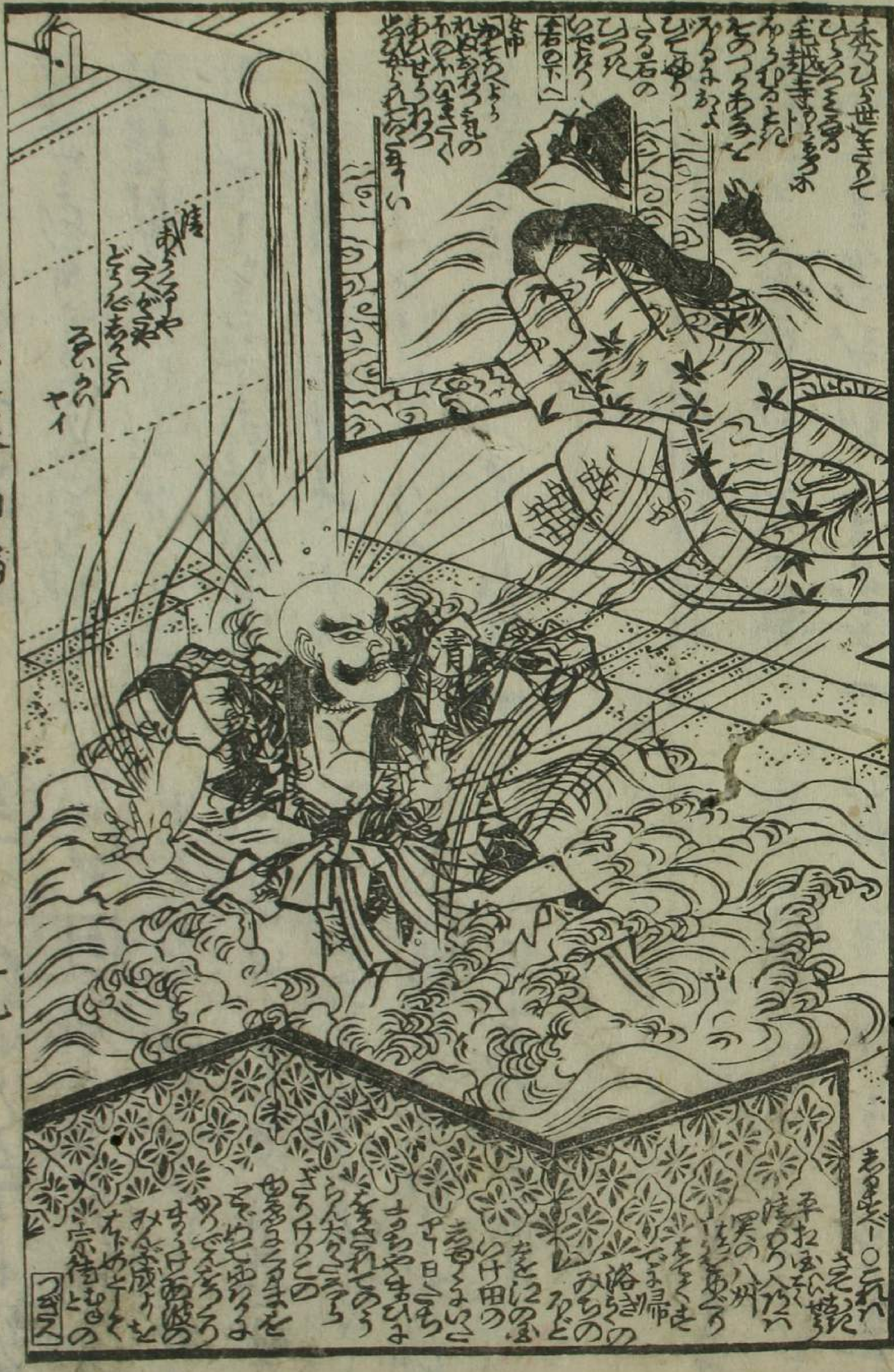
まうけらの水もまよなるとふさとよきびしいかれつくれやれる

のぞ紀ける巻をきくやくあるきうるあんくるとめのやあい

右左の上へ

その舟華る八流師の兵法祖鬼一法眼夜甚堂信のちやうとと有りつけてくりきふにくうつくよつきかどりまたちのの仙翁鬼一法眼師となろとえとうろ鬼一りをれ上くめ

いへそれもあまりやく且ませちござるやはとにとくまずまずのちくの編んへふにくるそつまびらか吴漢忠ありてへのうるゑかへ鬼一



秀ひら世をさりてひらいつまる毛越寺とまうすみうちむる大なをあつらへまつりてみるあれよひぞゆりふる岩のひうらやより

右の下へ

女中「ゑさうくようれいおそわつる乱の不のへいまにてあつせうつわつ当せてきいまい

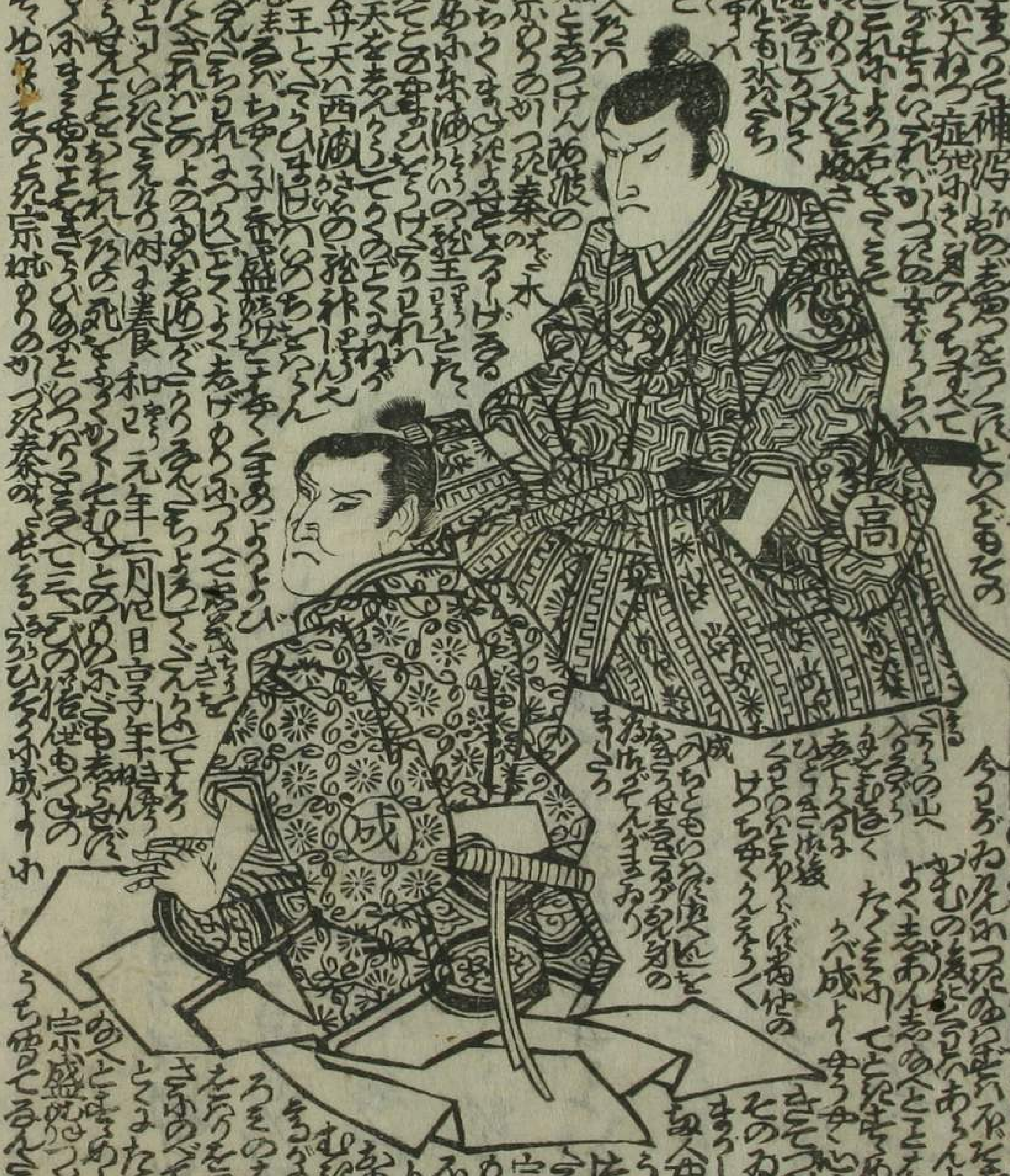
隆おもろややえがおどうたるくこ ろいろいヤイ

右の上よりつゞき　これハさて平ねほいひ法わり入りたハ奥の八州まつりのほとくきき帰つつ浴さのみちのこどおきにの事のり田のたさくありよさ一日さらまちやまむひまさされてのうらん大なくとつらぎうけうこの由きのくろまをそぐめ思ひのまかつでゆきうらすら日る坂のみんな成りをそおめとてく宗衡むねのと

つぎへ

らうたうおどろかされひて日夜[illegible]医師[illegible]医案[illegible]補瀉[illegible]

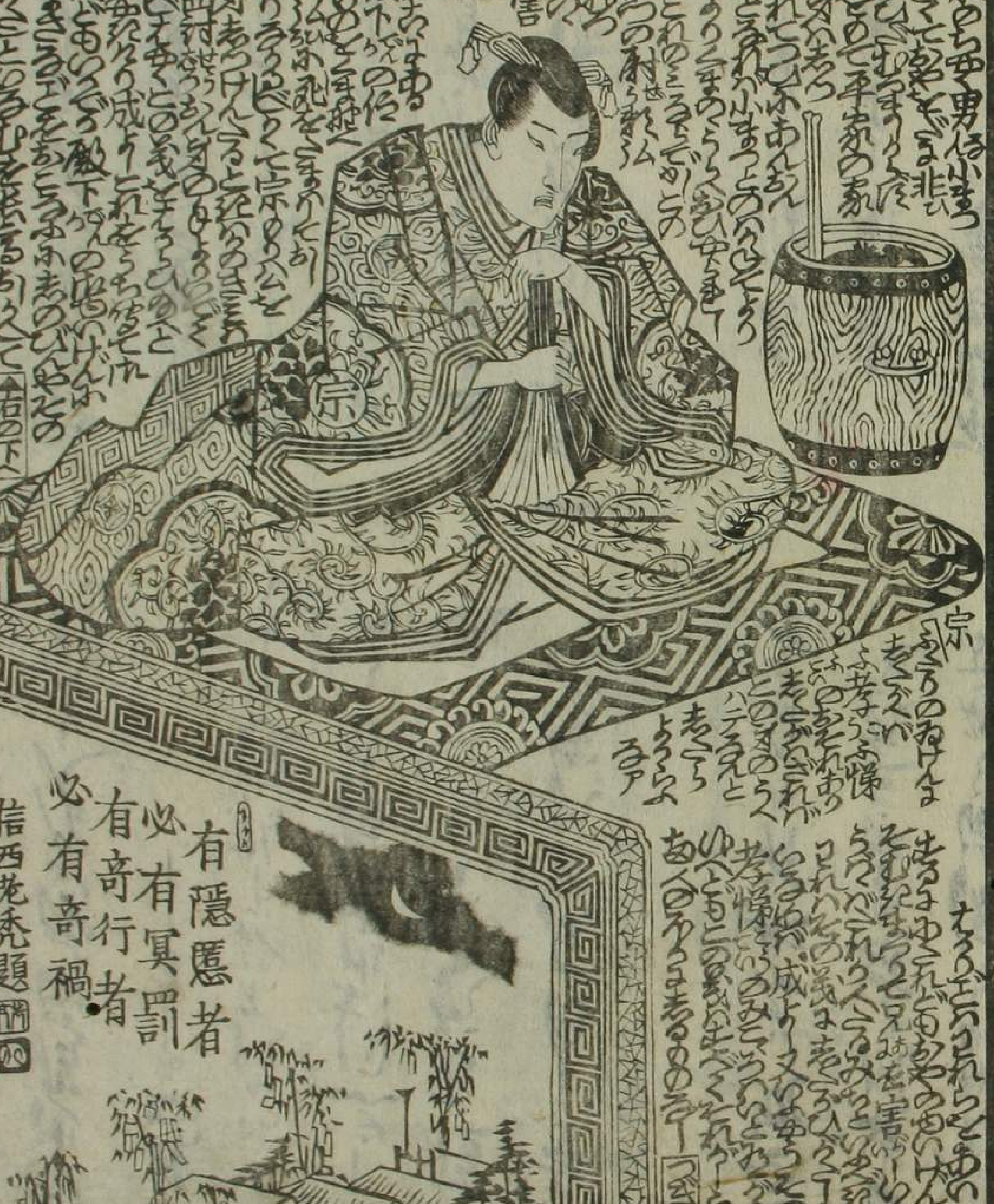
[illegible]



▲左の上へ

[illegible]

[illegible]



▲右の下へ

[illegible]

▲つぎへ

有隱慝者
必有冥罰
有奇行者
必有奇禍

信西老禿題

天のあたふるをとらざればかへつてそのとがめをうくるとかや [illegible]

殿下 [illegible]

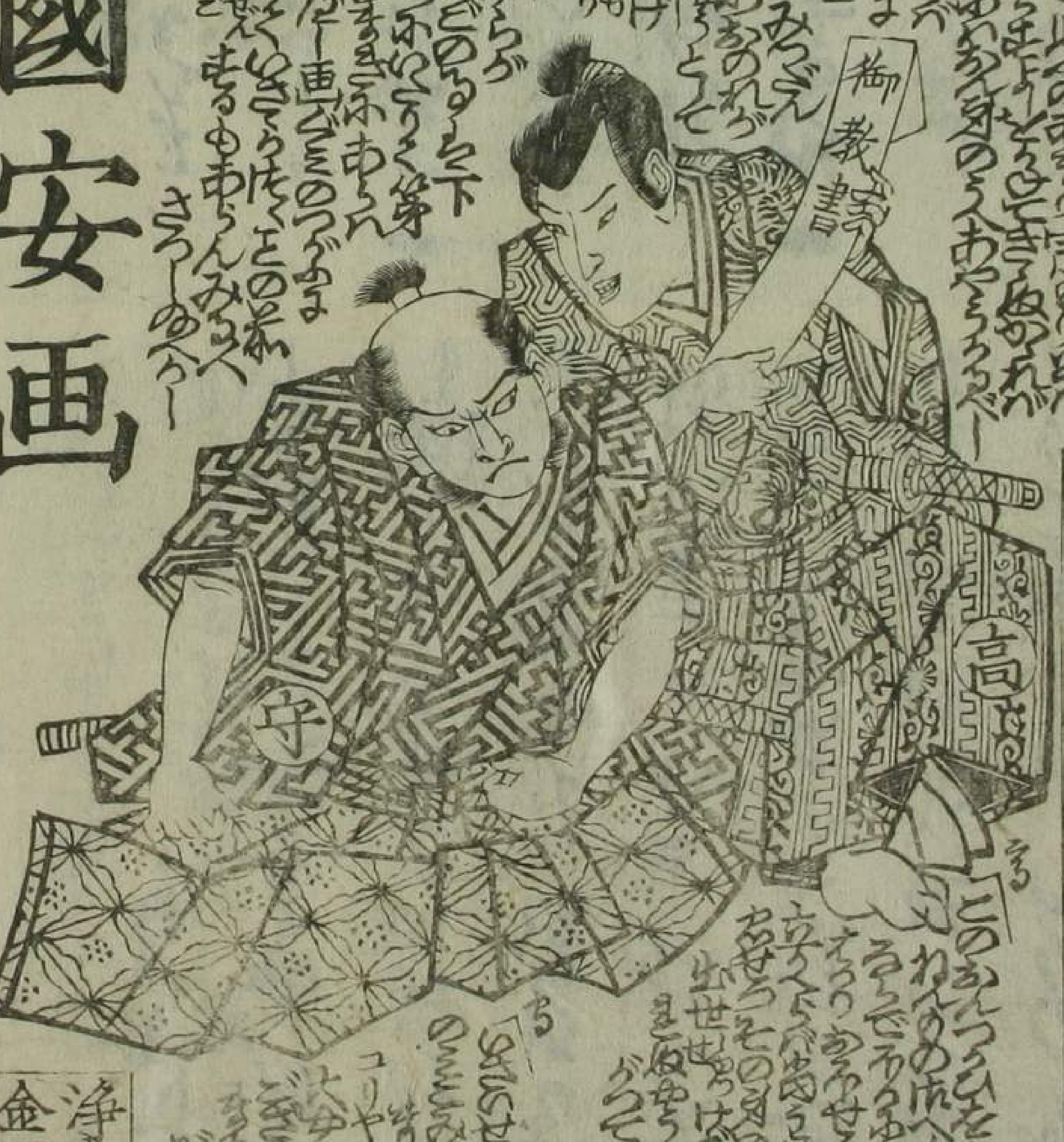
[illegible]

家傳神女湯 [illegible] 一包代百銅
近年 [illegible]
精製奇應丸 中包代一匁五分 大包代弐朱 小包代五十 [illegible]
熊胆黒丸子 [illegible] 一包代五十
婦人つぎむしの妙薬 一包六十四銅 巻包三十二銅 [illegible]
製薬本家 神田明神下 同朋町 [illegible] 滝沢氏
弘所 元飯田町中坂下南側 [illegible] 滝沢氏
取次所 [illegible] 山町二丁目 [illegible]

國安画

馬琴作

浄書 金川



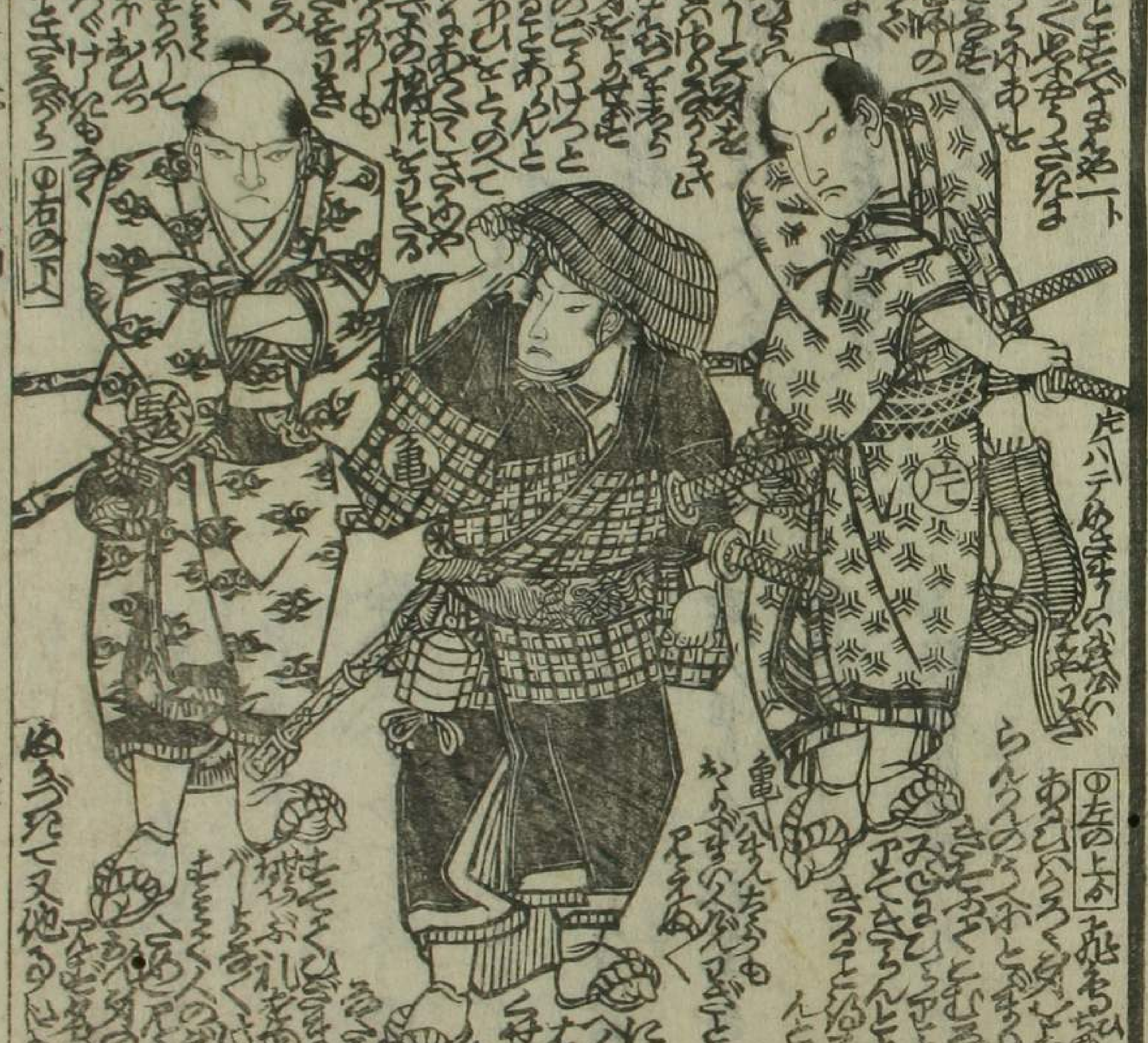
盛 [illegible] より弘 [illegible] 五の [illegible] 後 [illegible]

このあたりこそ [illegible]

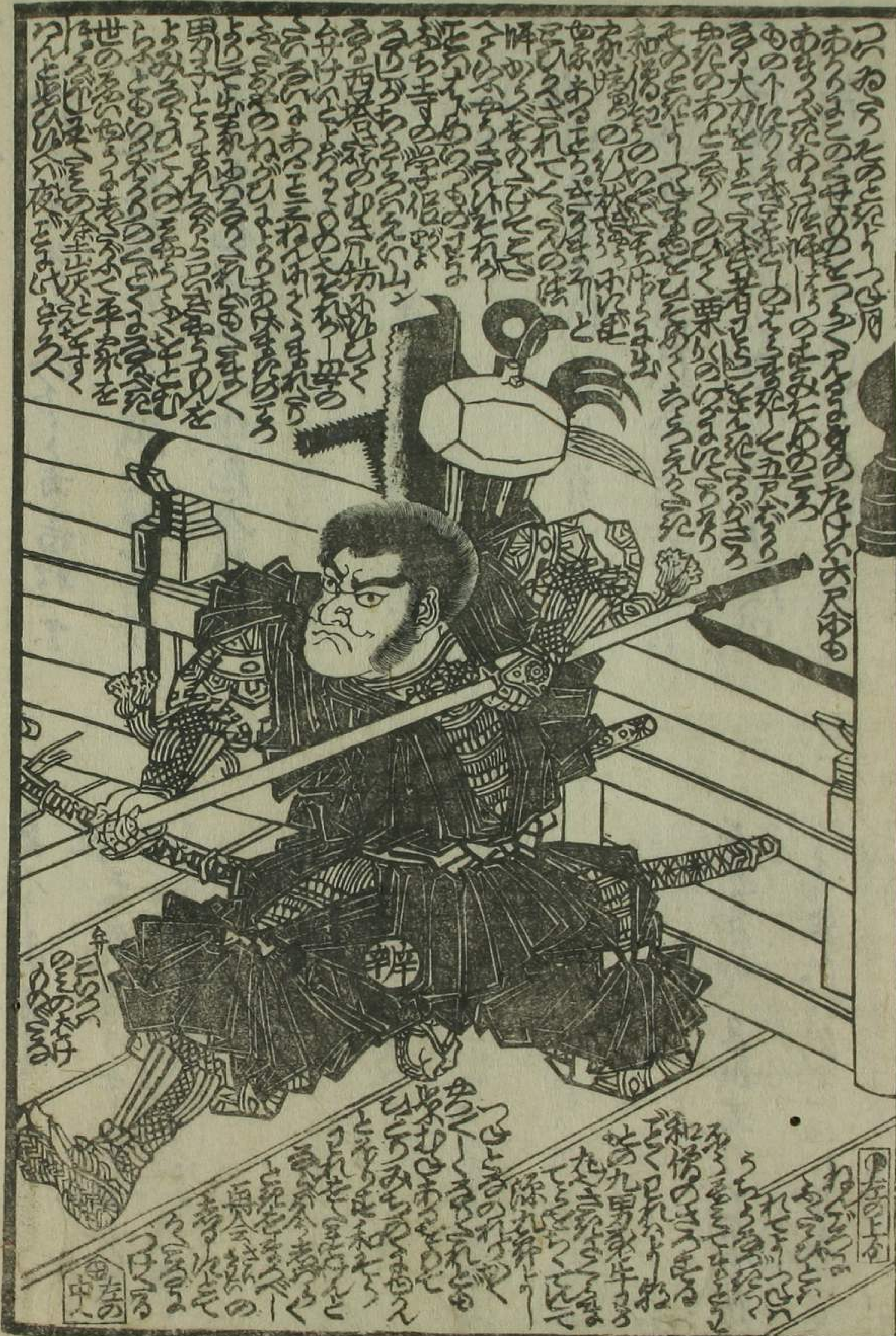
[illegible]

されば又 [illegible]

[illegible]

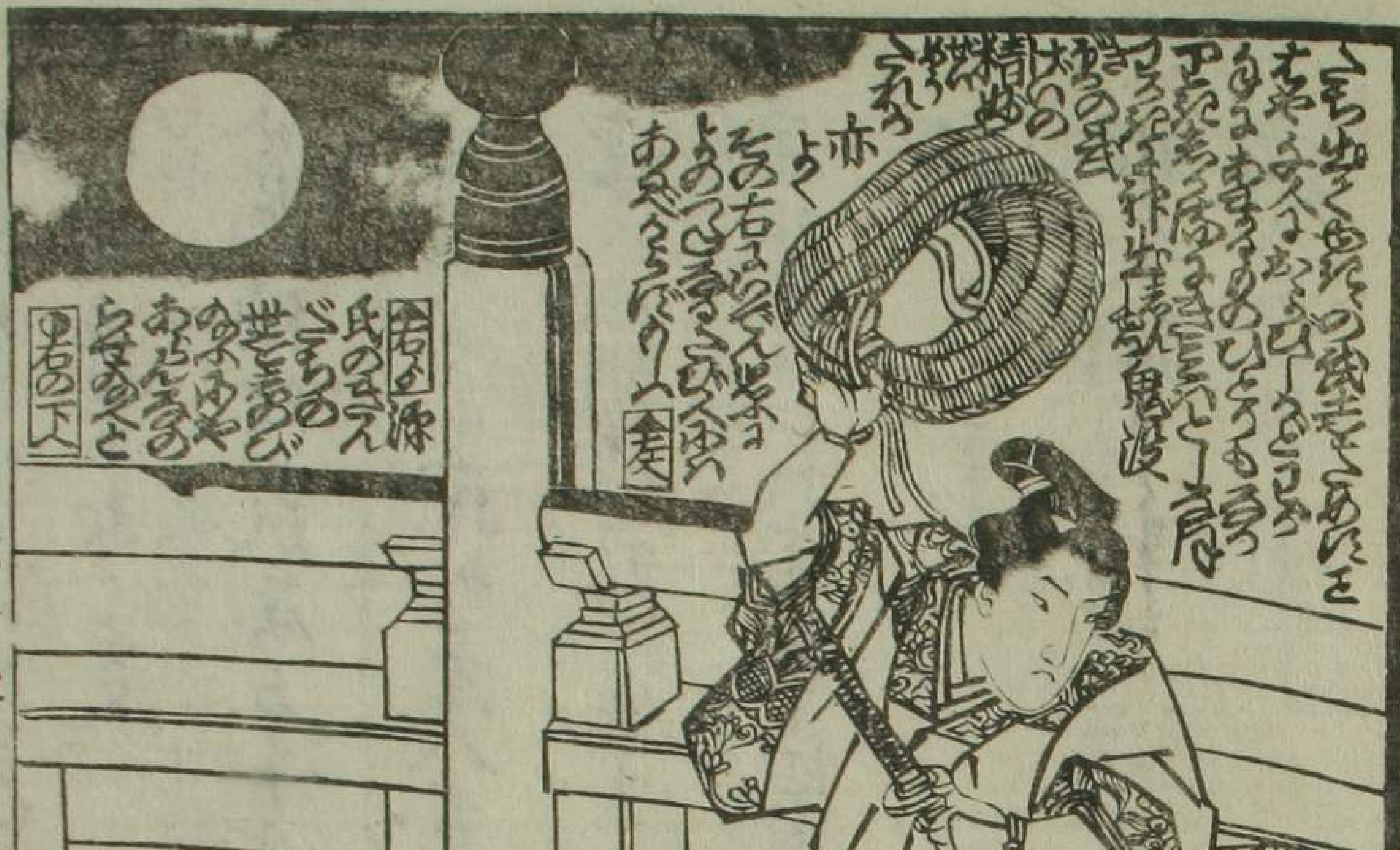


[illegible]



つゐにそのとしより一ヶ月 [illegible] たけは六尺あま
りにてこの [illegible]
あまつさへ [illegible]
ものゝ下 [illegible] 五尺あまり
[illegible] 大刀をよこたへ [illegible]
[illegible] 栗 [illegible]
そのとしより [illegible]
和僧 [illegible] の [illegible]
[illegible] 家 [illegible]
[illegible] 法
[illegible]
江戸 [illegible]
[illegible] 学侶 [illegible]
[illegible] 山
[illegible] 西塔 [illegible] 坊 [illegible]
弁けい [illegible]
[illegible]
男子 [illegible]
[illegible]
世の [illegible] 平家を
[illegible] 夜 [illegible]

（甲右の上から）
わんぱく [illegible]
[illegible] れて [illegible]
うら [illegible]
[illegible]
和僧のきうきる [illegible]
[illegible] 九男 [illegible]
[illegible]
[illegible]
源九郎 [illegible]
つひとゝの [illegible]
[illegible]
（甲左の中へ）



くもゐに [illegible] の武士とあひて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 鬼[illegible]
[illegible]
[illegible] の武
[illegible] の
精 [illegible]
[illegible]
よく
[illegible] （乙）

（甲右の下）源氏の [illegible] の [illegible] （甲右の下へ）

（甲左の下から）[illegible]

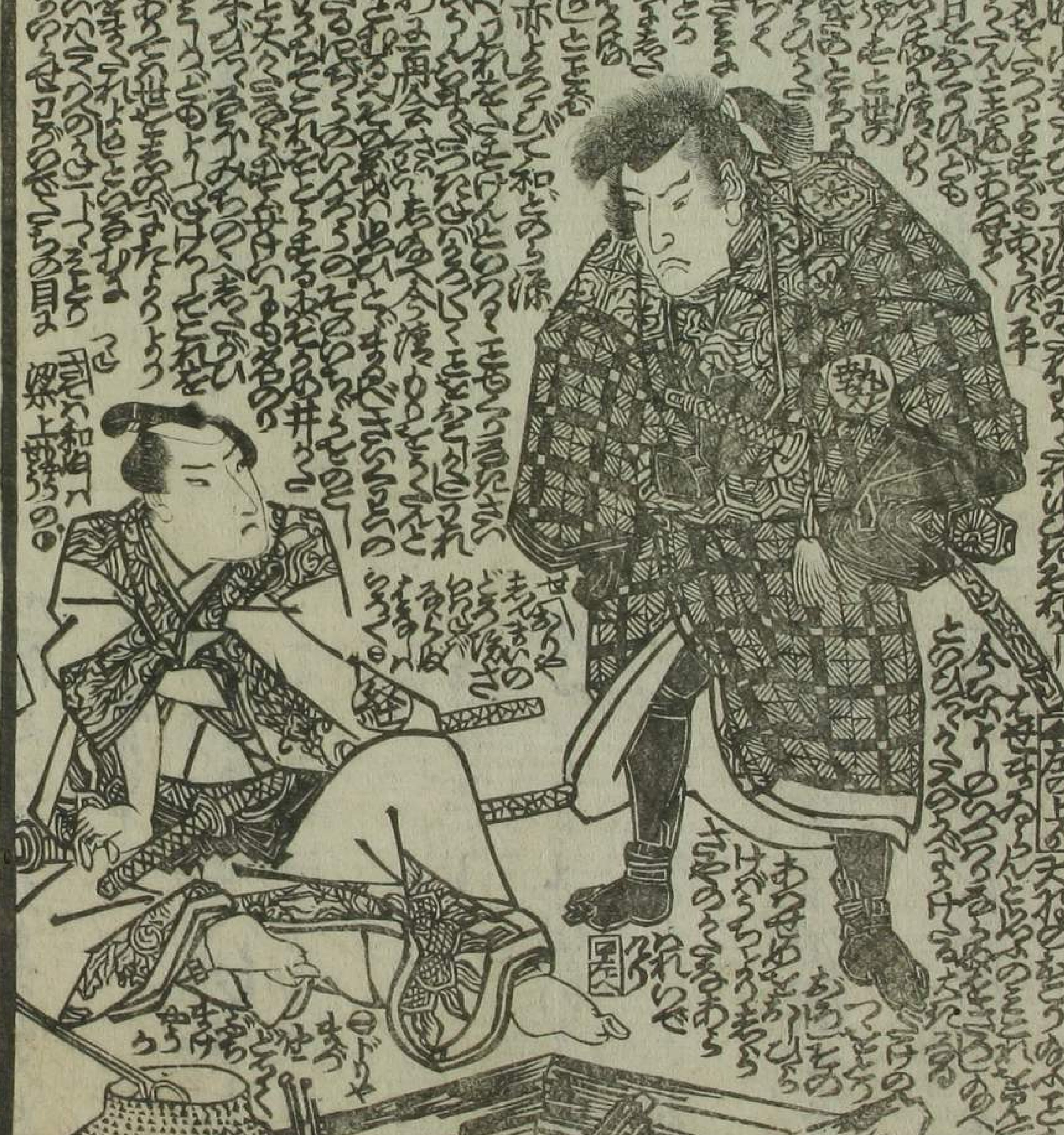
[illegible] 武士の [illegible] 五人 [illegible]
[illegible] 橋の [illegible]
[illegible]
[illegible] 片 [illegible]
[illegible]

[illegible] （丙）

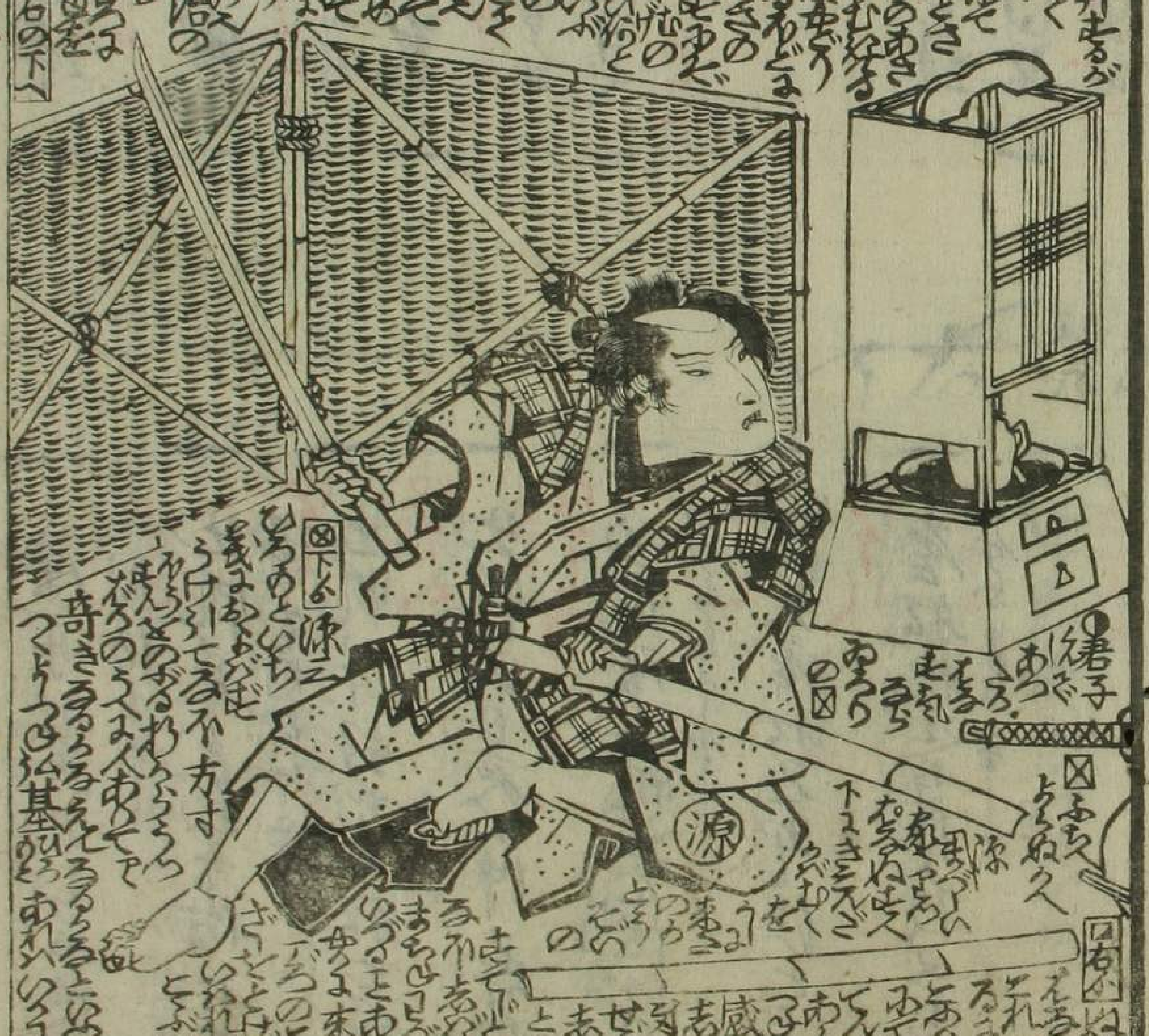
[illegible]

（つぎへつゞく）

中宮進ちう公りやれ共[illegible]



[illegible]



右の下へ
下へ
中へ
右へ

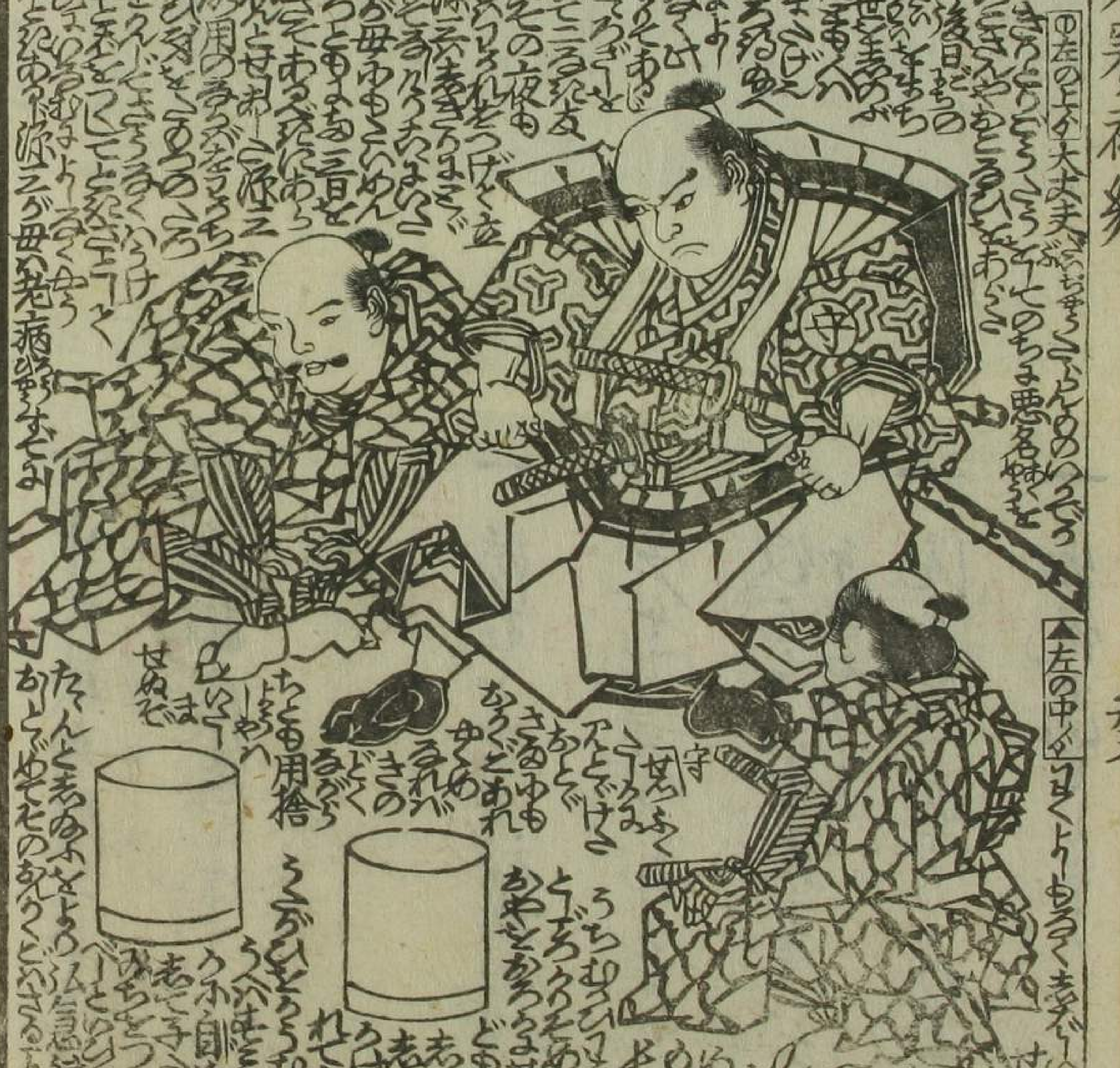
奇きゐるゐるえ[illegible]つくりて弘基[illegible]

[illegible]

〇左の上へ大丈夫 [illegible]

▲左の中へ [illegible]

[illegible] 源三が母ハ老病 [illegible]

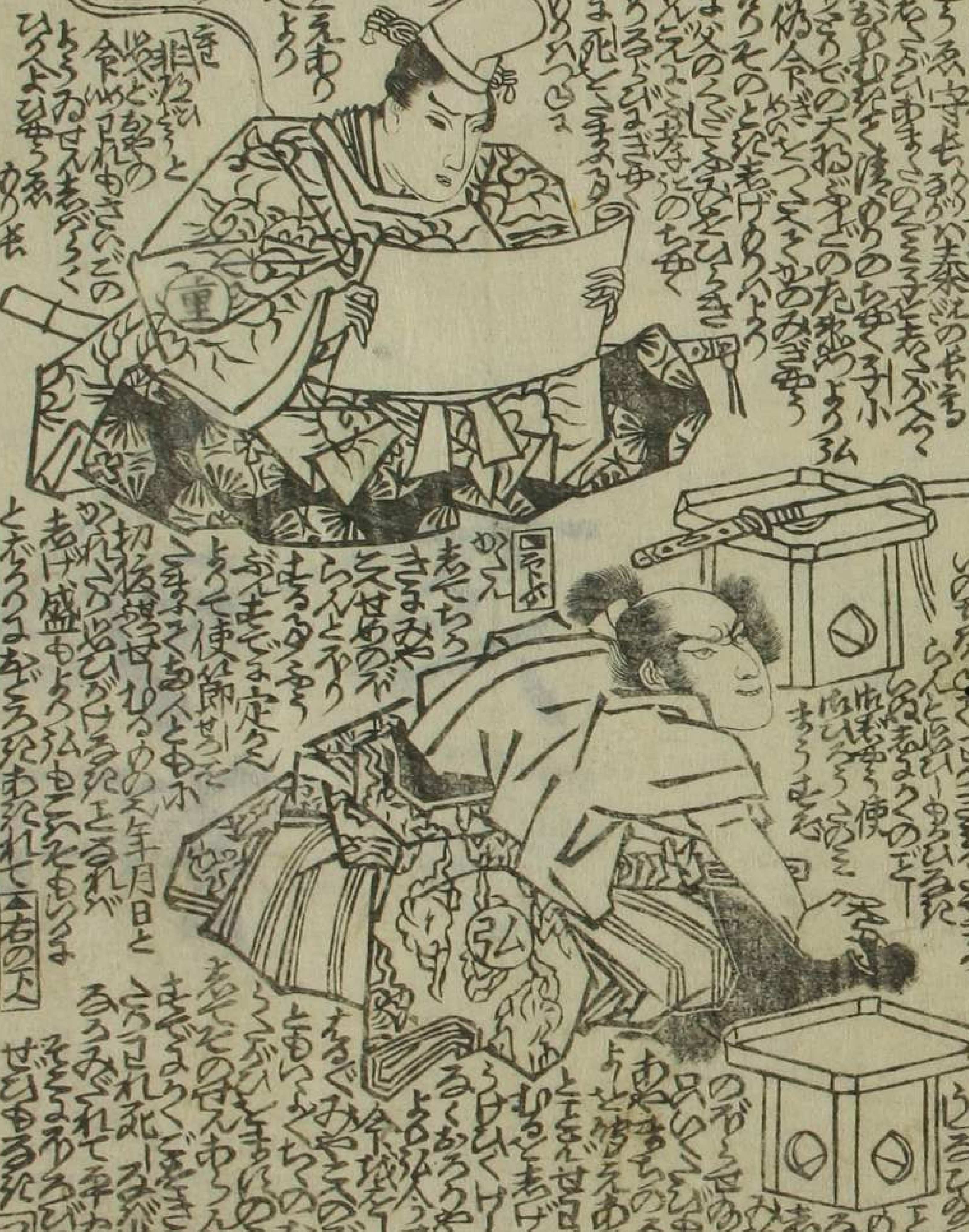


[illegible]

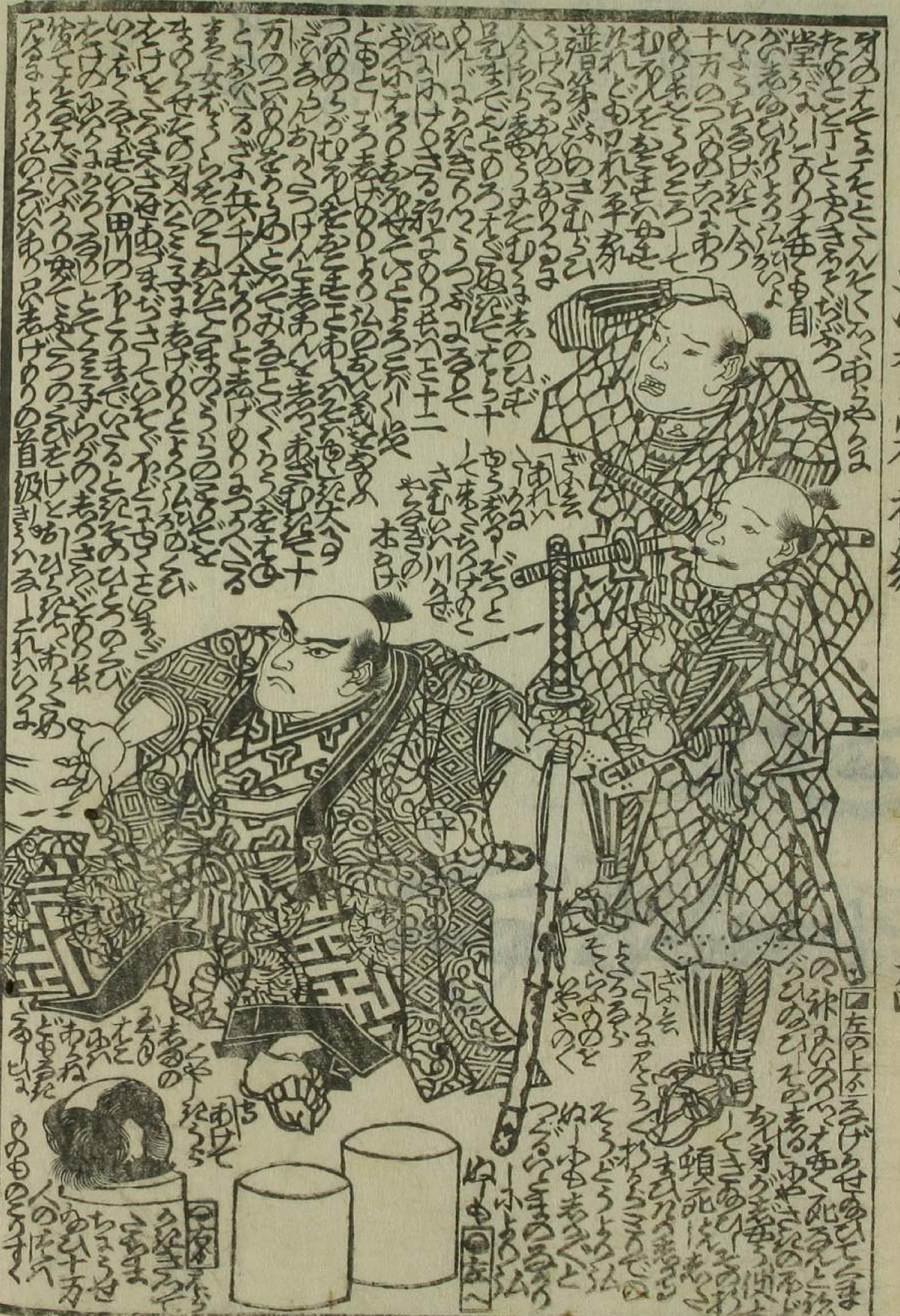
〇右の中へ [illegible]

〇下へ [illegible]

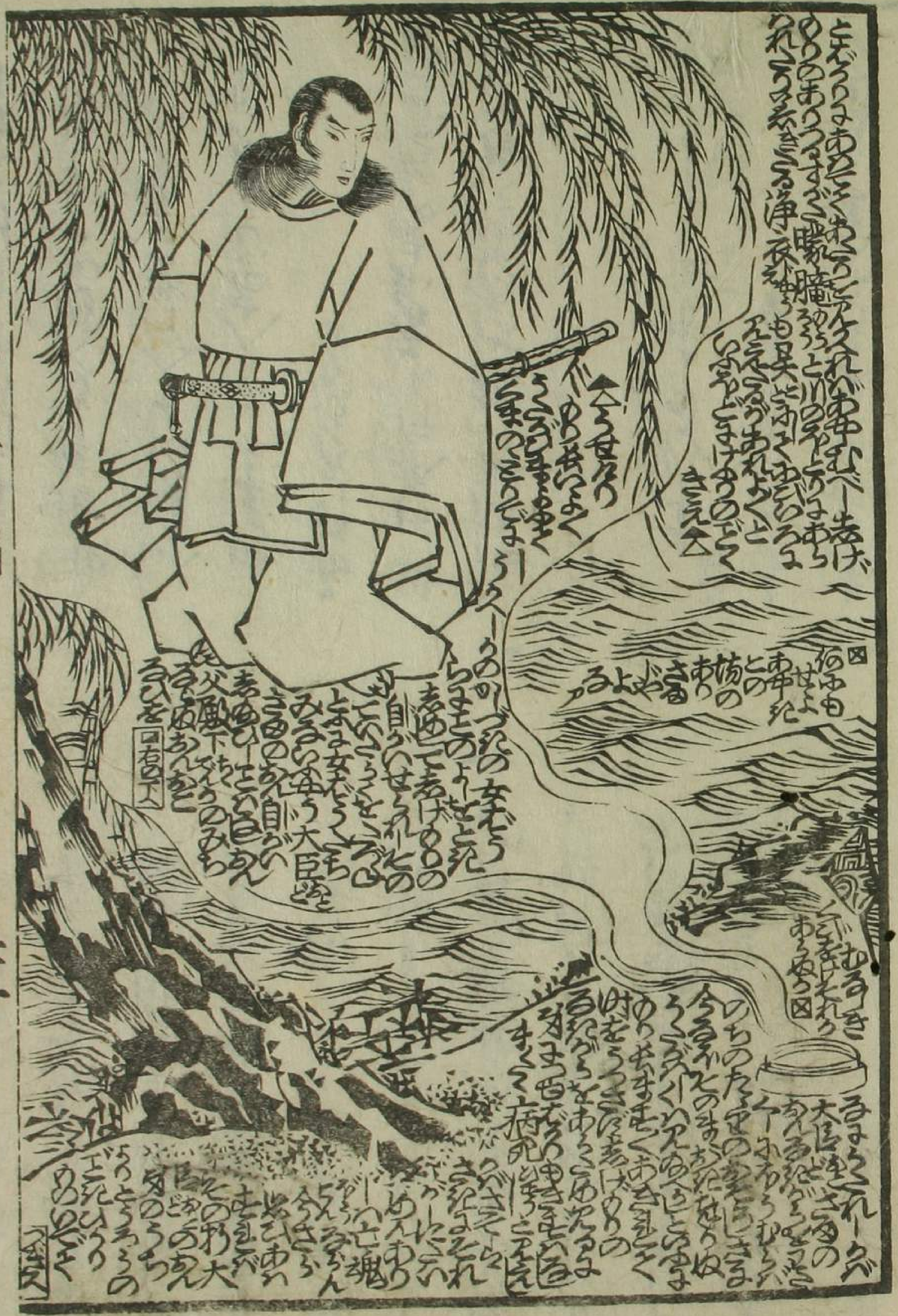
陸奥 [illegible] 弘 [illegible] 清 [illegible]



▲右の下へ [illegible] 盛もよろ弘も [illegible]



すのまゝそれとらんそくしんにおちやうは [illegible] 十万のつゝの [illegible] 平家 [illegible] 逆賊等 [illegible] さむらい [illegible] 今から [illegible] 十 [illegible] 十二 [illegible] 十 [illegible] 万の [illegible] 兵千人 [illegible] 女 [illegible] 田川の [illegible] 首級 [illegible]

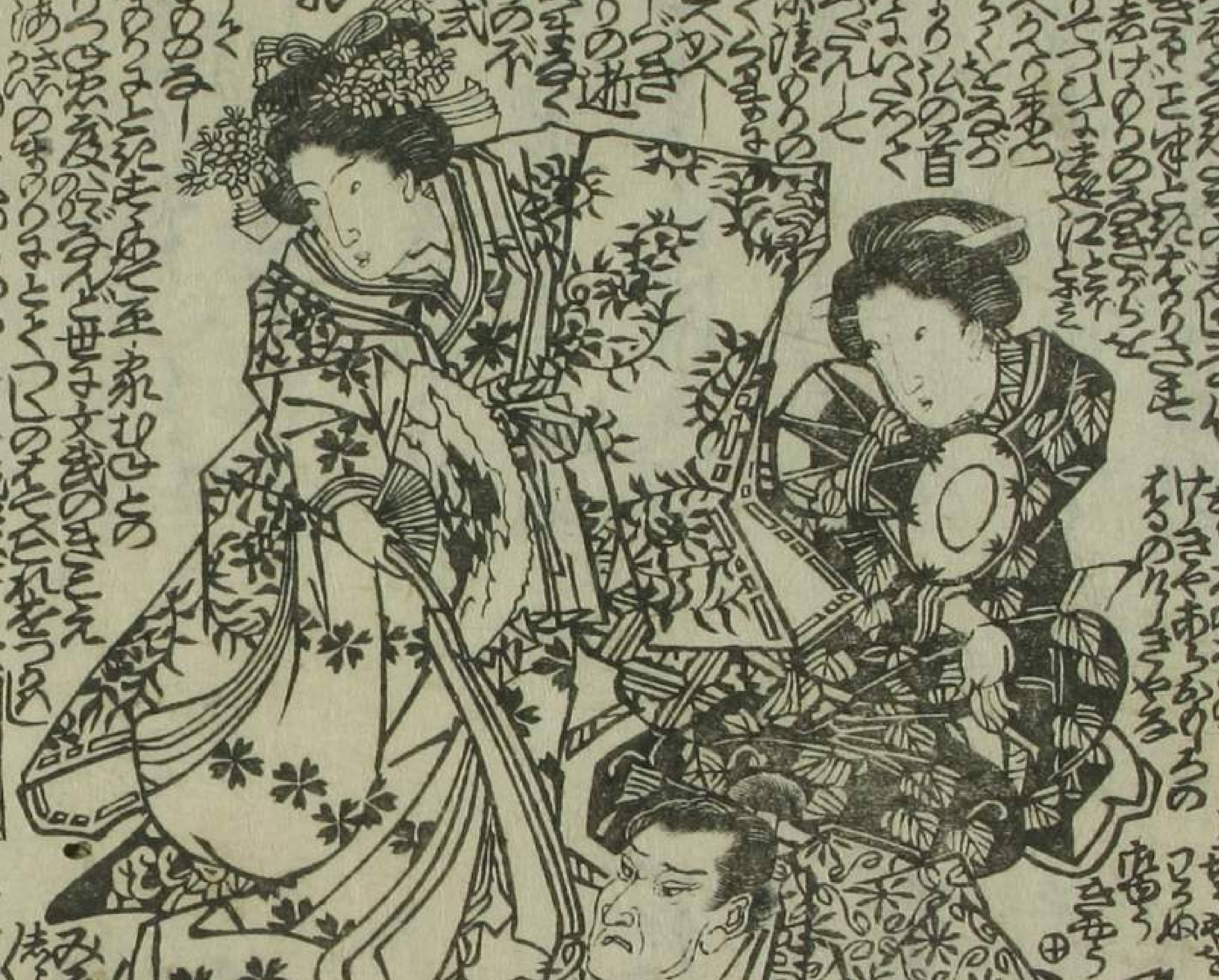


とぞうりはあをそくわう [illegible] 曚朧 [illegible] 浄衣 [illegible] きえ△

[illegible] 大臣 [illegible] 父 [illegible] □右の下へ

[illegible] 大臣 [illegible] 病死 [illegible] 亡魂 [illegible] 大 [illegible]

[illegible]



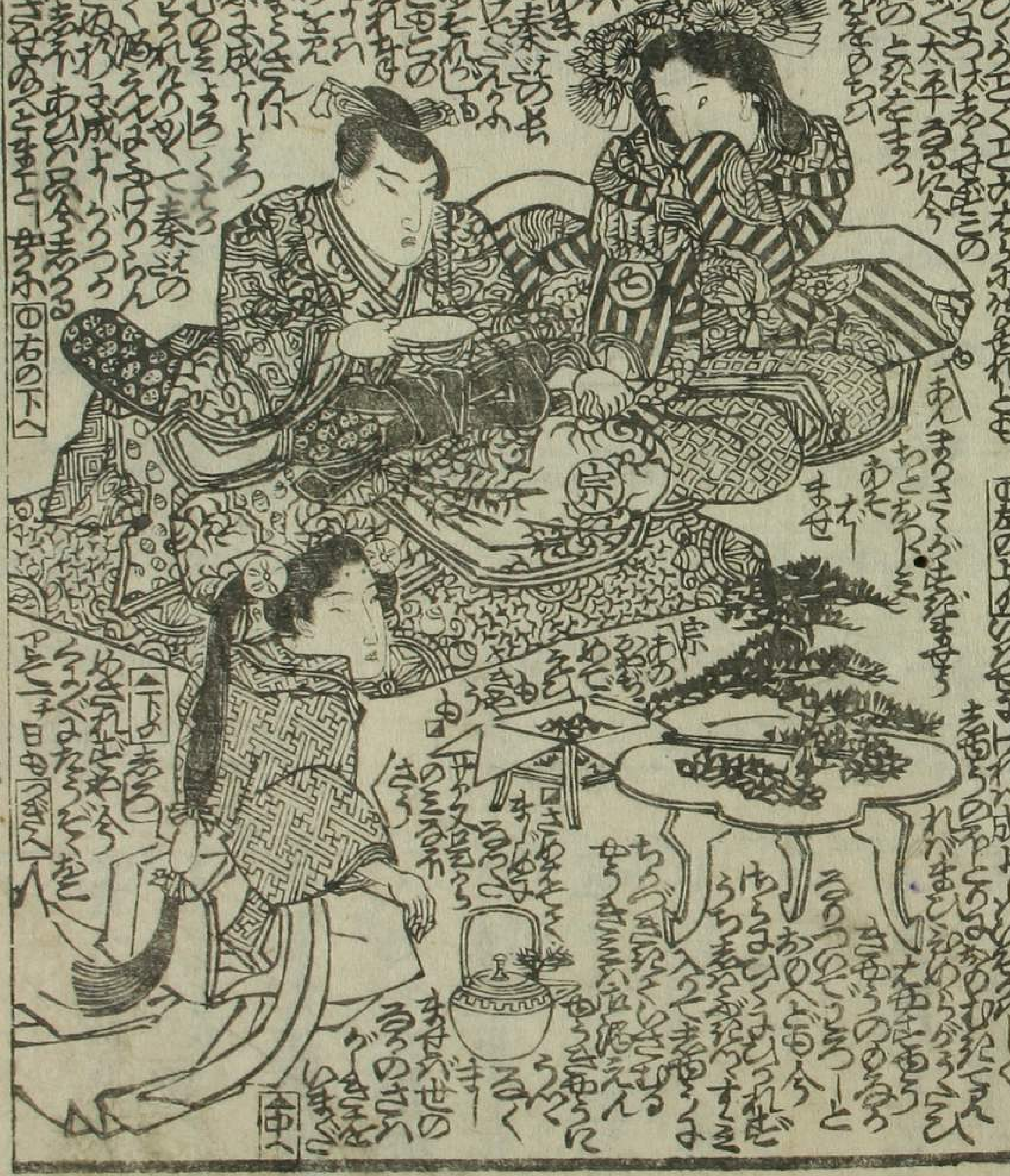
[illegible]

〇左の上より

[illegible]

五のつゞき [illegible]

〇右の下へ



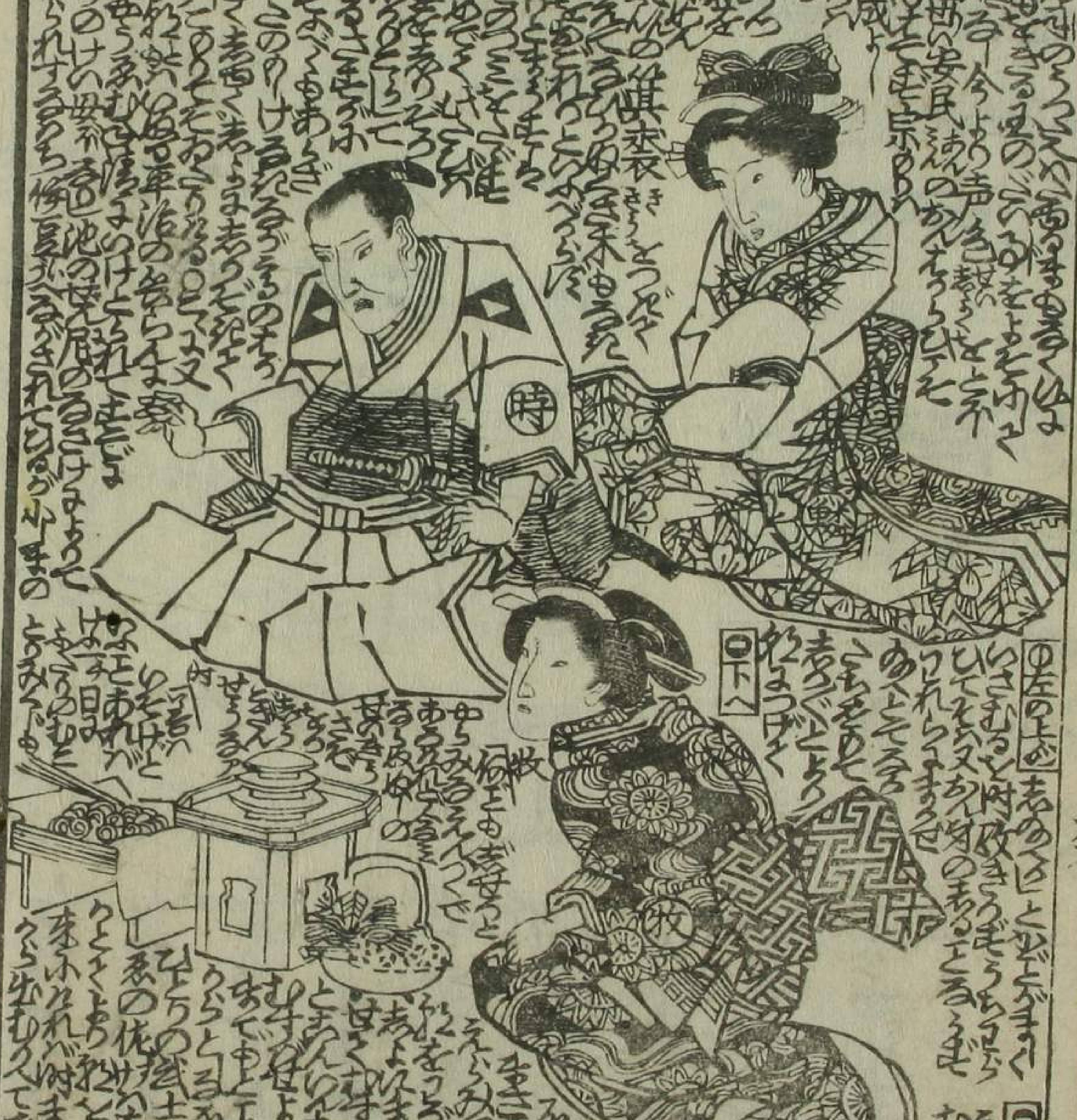
〇左の上へ

[illegible]

〇下より

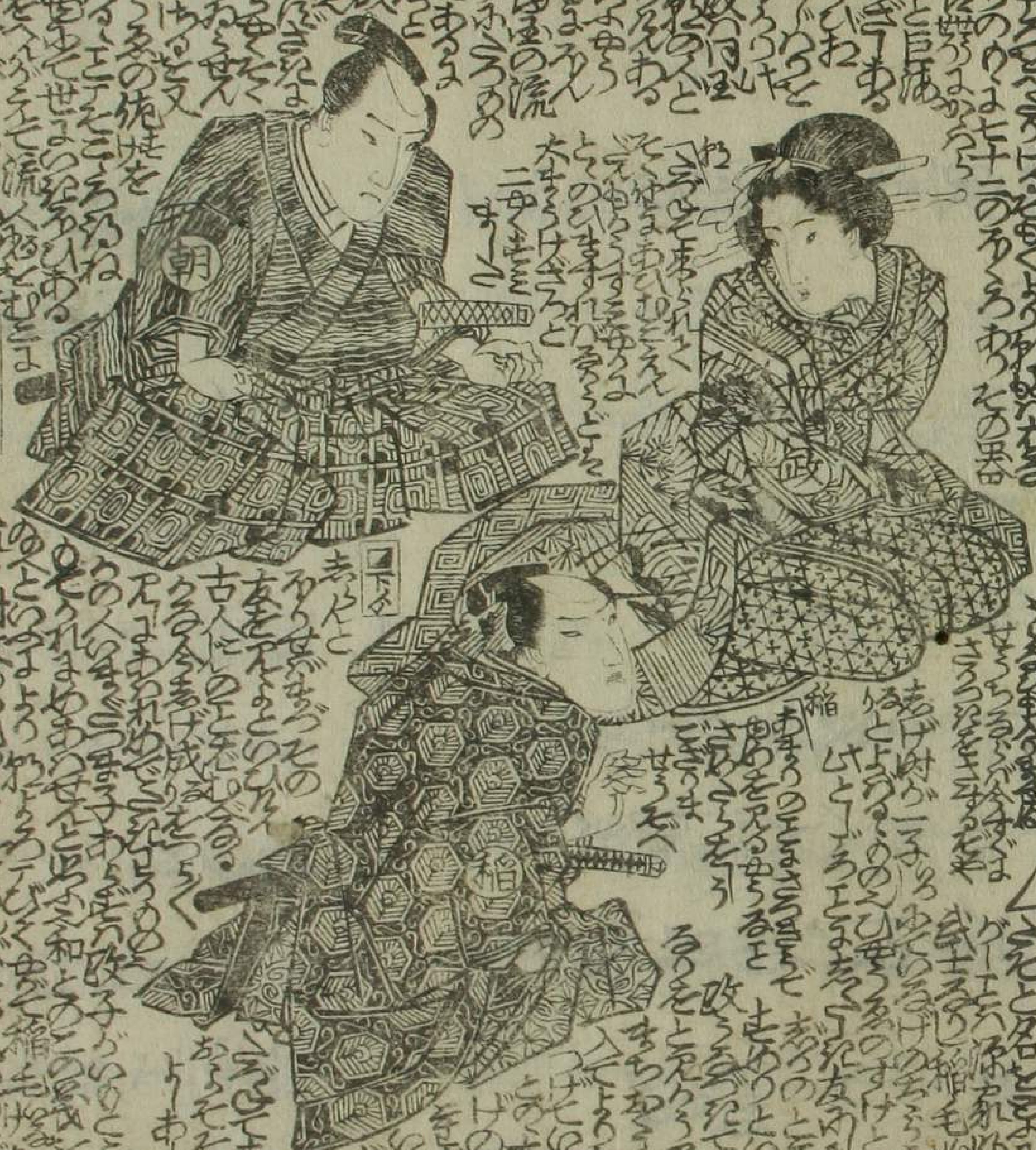
[illegible]

[illegible]



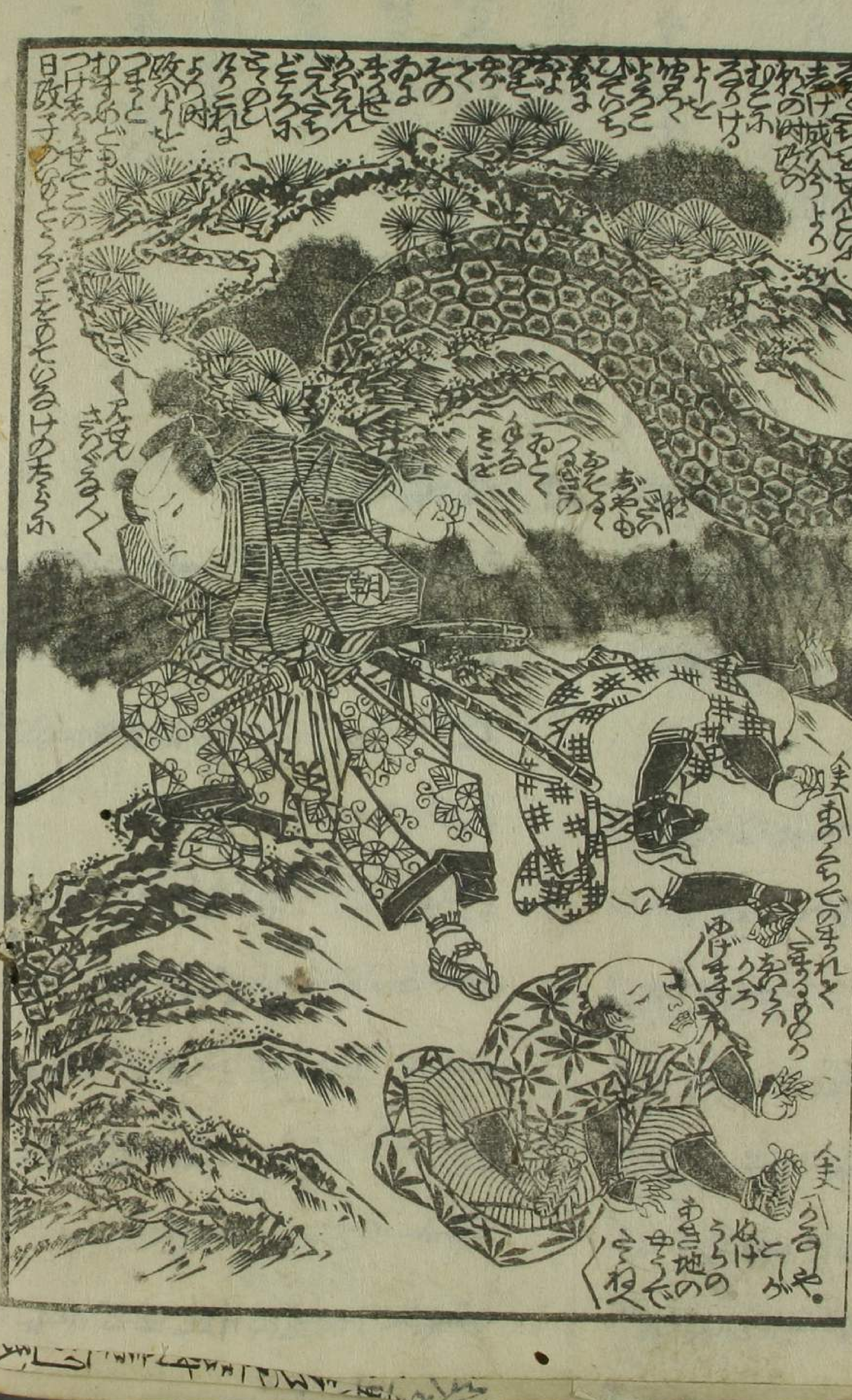
[illegible]

[illegible]

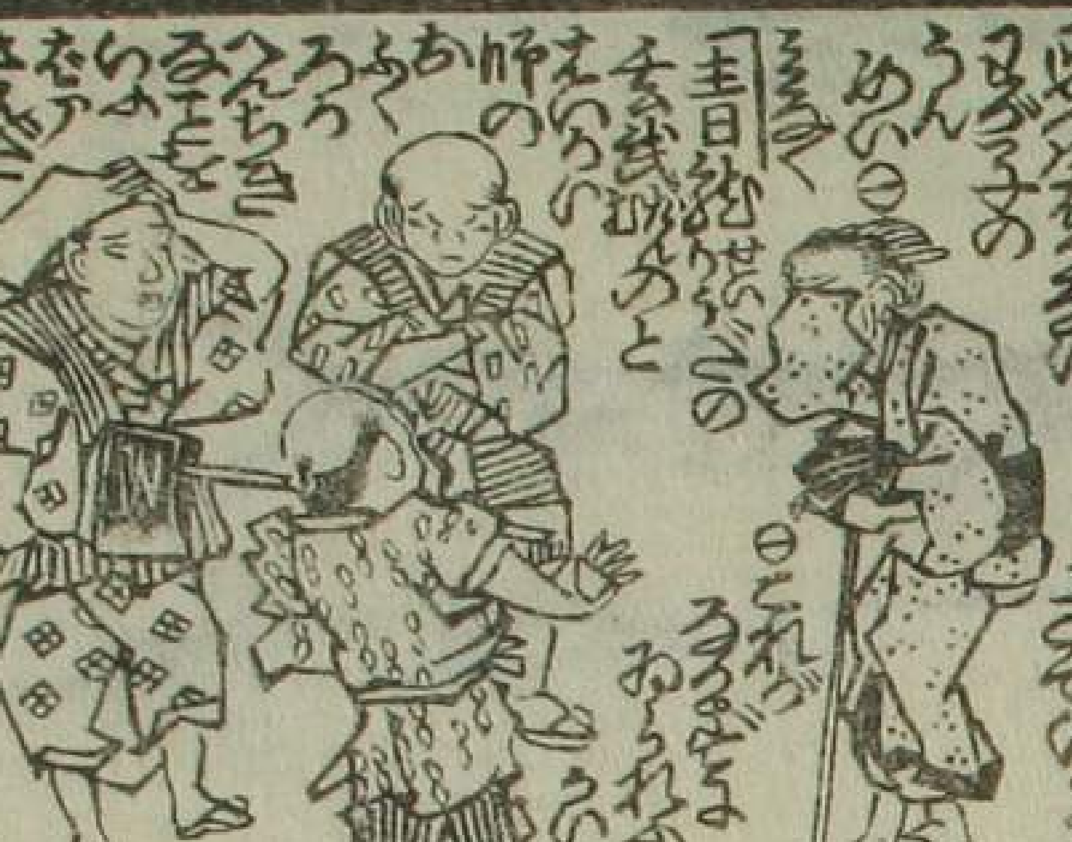


（中右の下へ）

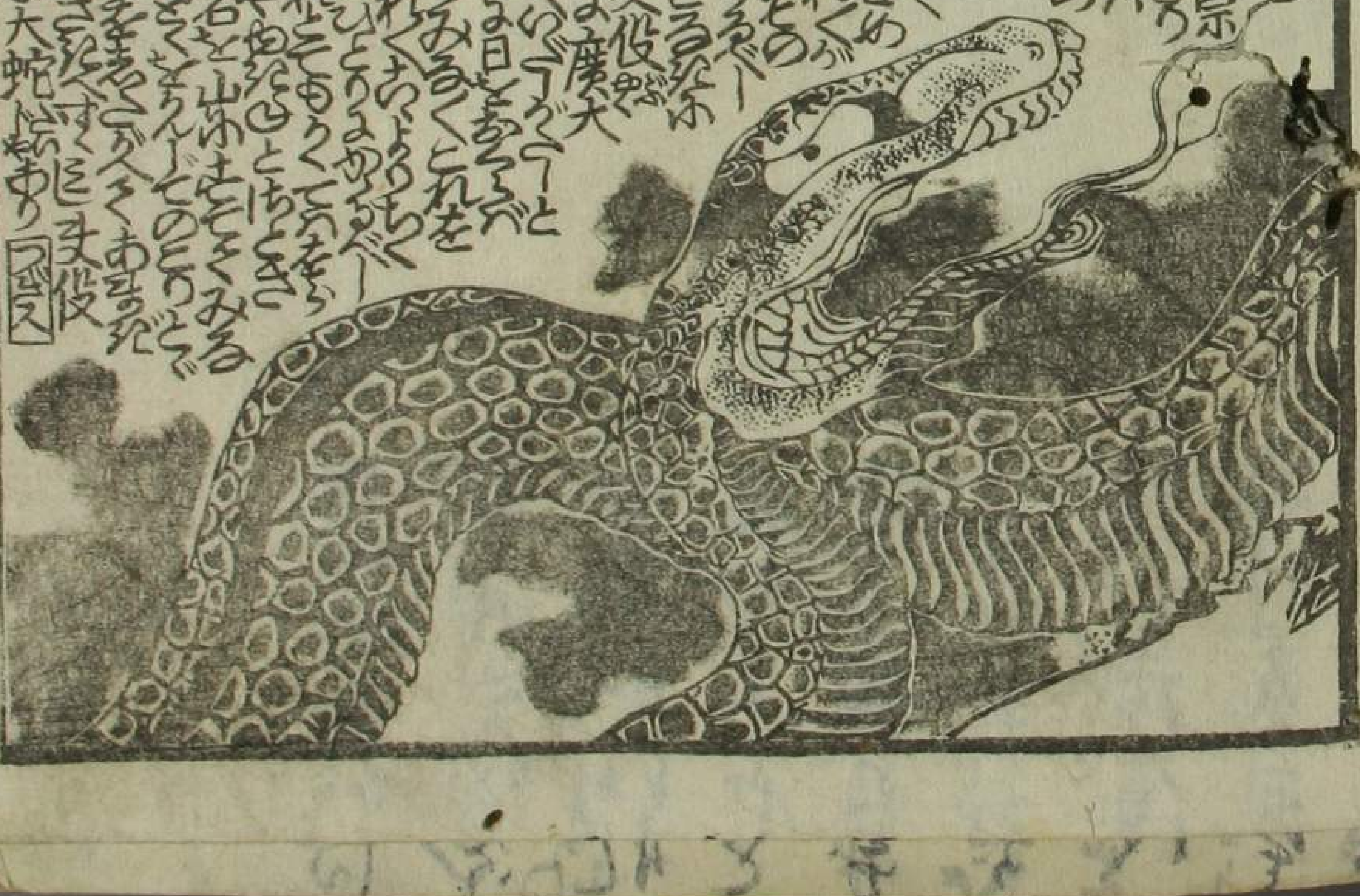
[illegible]

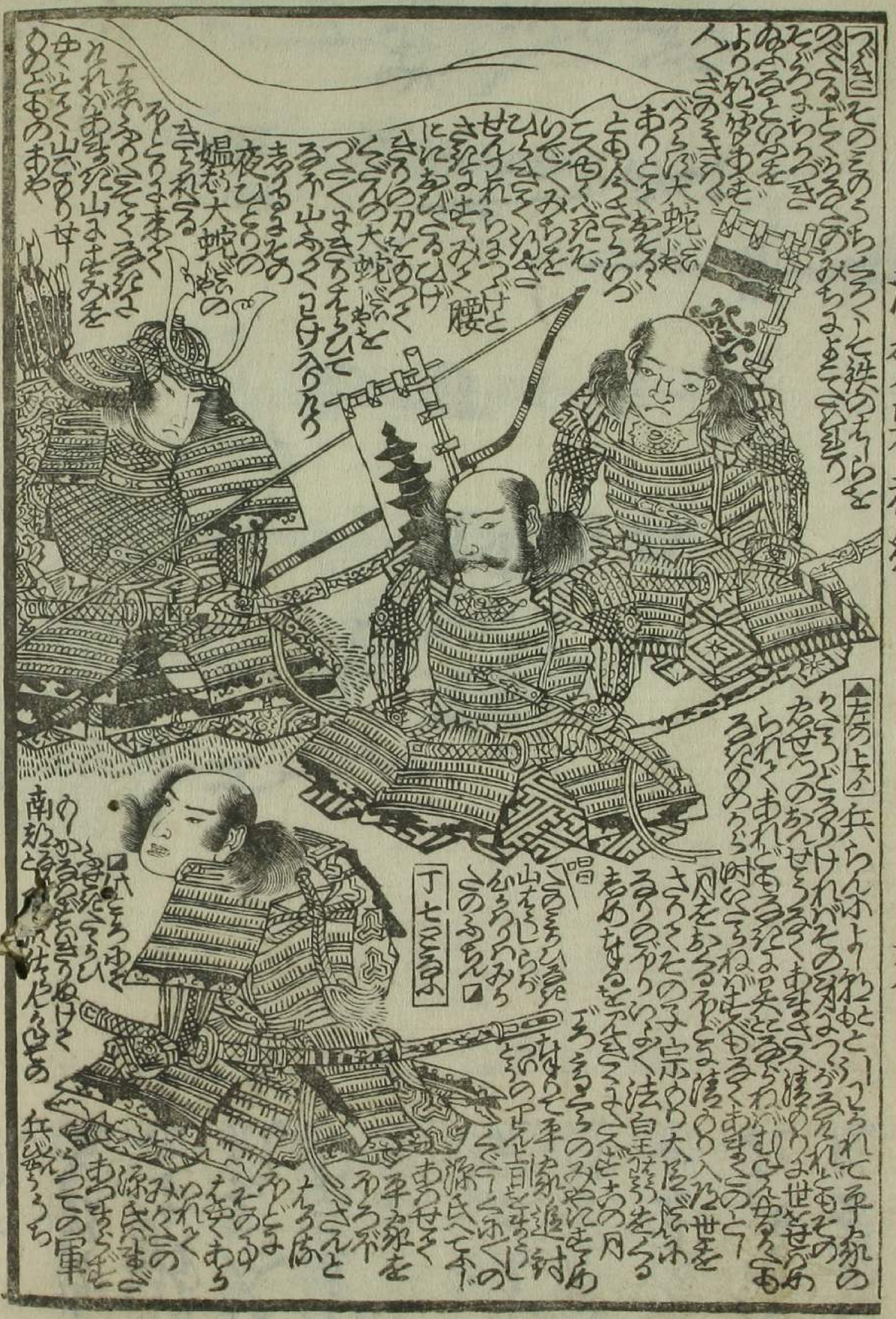

なぐさみとせんとふ
[illegible]成今よりより
われ時政の
むかしふ
かけりける
よーと
笑ひて
なかにこ
ひそかに
義を
なよ
望を
守かで
その
あるま
まほせ
[illegible]
ええさち
どろふ
その[illegible]
気にはま
より時
政へよせ
つまと
おすめども
つけ[illegible]その
日政子の[illegible]
[illegible]
さるべく
朝
[illegible]も
あくそて
つゐの
一わして
[illegible]
全[illegible]あのくらもの手れぐ
ろあのめの
あらう
くろ
ゆげまず
く
全[illegible]うまや
ぬけ
うらの
あき地の
中うで
[illegible]
く

めでたくさればかの時政は[illegible]一千日にふみとゞめ二[illegible]まで[illegible]ぶて[illegible]宗[illegible]のとおりかゝくゆで[illegible]との[illegible]○との[illegible]よりをとり[illegible]別殿を[illegible]するとお[illegible]れより[illegible]流人[illegible]時政の[illegible]大石を下田の[illegible]山あくよりの[illegible]丈役[illegible]大石[illegible]丈横も[illegible]丈[illegible]数千人[illegible]の丈役[illegible]これを山より[illegible]とおろぞ[illegible]ちとおく[illegible]別殿[illegible]もちへ丈役[illegible]つる[illegible]大石[illegible]運んされ[illegible]力人のち[illegible]やまぢ[illegible]


[illegible]
ろのうへ
めの
[illegible]
[illegible]
[illegible]のと
師の
おあ
ふく
ろう
へんちき
[illegible]
[illegible]
[illegible]
日これ
[illegible]
おわれ
[illegible]

[illegible]広大[illegible]あらす[illegible]丈役[illegible]その大石[illegible]これを[illegible]さての[illegible]あるに[illegible]ちとみる[illegible]百五十[illegible]山[illegible]山[illegible]その山に大蛇[illegible]丈役





つゞき　そのころちくらくしと猛のちからを のぞみてくろくのみちもよつてひとり そだちまちもちき ぬけるとのぎを よりはなれまで くさのききく べらば大蛇ぞ ありとにおそろしく と申合せてうかゞ ふたりくべりぞ りそくみちを ひらきてゆき せんとければつげけと さればきてみて腰 にあびてるひげ 手にも刀をぬいて くその大蛇を づくぐまきつきてひて るや山ふかくにげ入りけり あいつるまその 夜ひとりの 媼が大蛇の きられる [illegible] これがあやまちて山ふかみを ゆくぞく山ぞあり [illegible] あどものあや

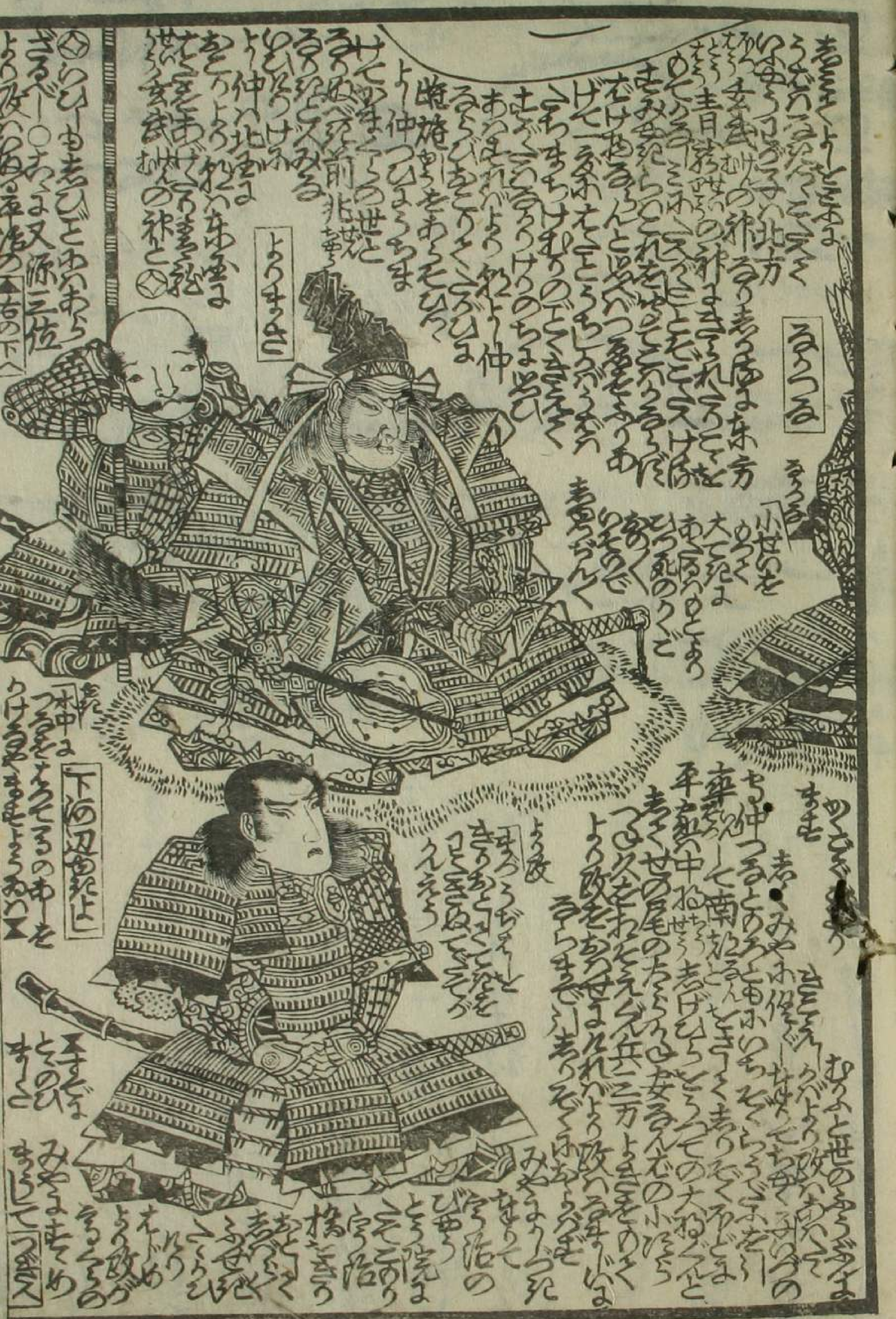
▲左の上へ

兵らんよりはじめて平家の くらうどろうけれどその身はつらなれどもその おもひのあんせうなく身まき又清盛の子は世をしろしめ られくあれどもなをよ呉とおぼしめさず ころのあらし時にうらねばむらくあまくこの 月をおくるやとまは清盛の入道世を さりそのその子宗盛大臣ばかりは るりのあらいうちく法皇はおぼしめさる あめなるをさてさてその月 ごろ[illegible]のみやにまゐり 唱 [illegible]平家追討 [illegible]の [illegible]源氏へ下 あの [illegible] 平家を ひろべ [illegible] さんと [illegible] たろ [illegible] その [illegible] われく [illegible]の 源氏まで [illegible]その軍 兵 [illegible]

丁七ところ

[illegible] 山 [illegible] このふちん

[illegible] 南 [illegible]



[illegible] 北方 [illegible] 青月 [illegible] 東方 [illegible] 仲 [illegible]

晩旆 [illegible] 仲 [illegible] 前北 [illegible] 世と [illegible] 仲 [illegible] 北 [illegible]

よりまさ

ゐまつる

小世のを [illegible] 大て [illegible]

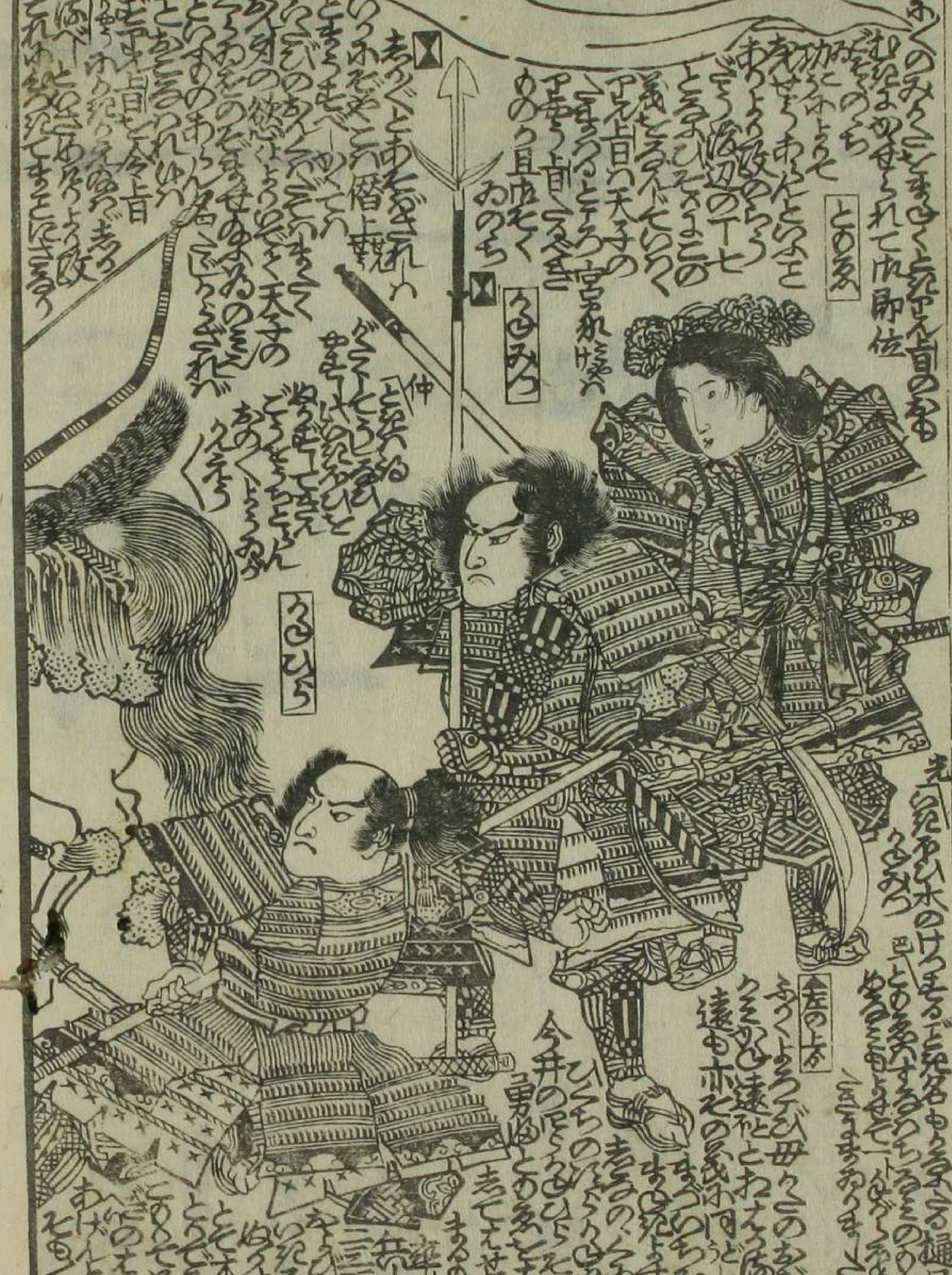
[illegible] みやに [illegible] 南 [illegible] 平 [illegible] 中 [illegible] 兵 [illegible] 二万 [illegible] 宇治の [illegible] 橋 [illegible] 院

下河辺 [illegible]

◇ [illegible] 又源三位 [illegible] 平治の [illegible] ◇

▲右の下へ

つぎへ

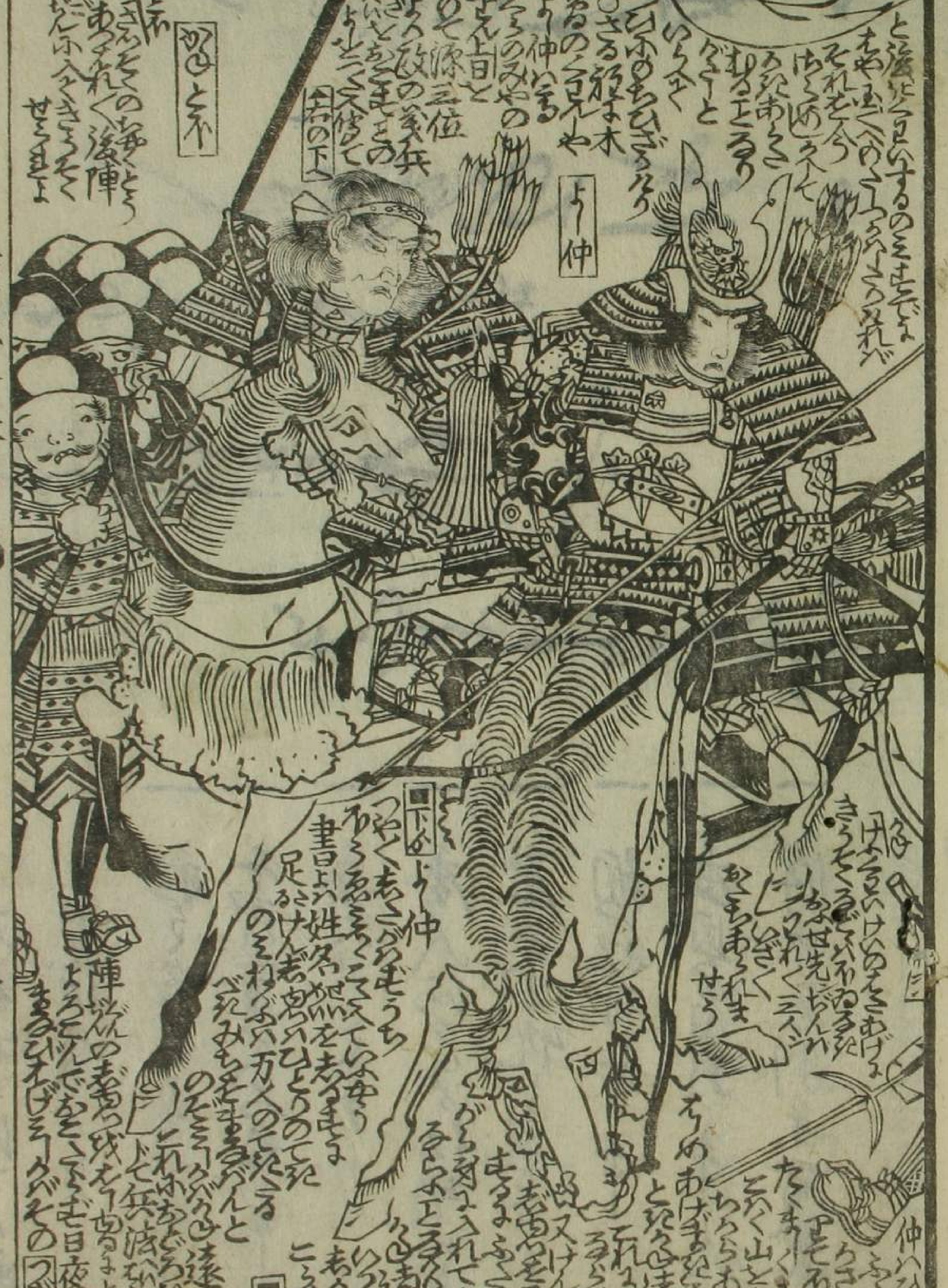


らくのみやこにまゐりくんこう首の[illegible]むねよせられて[illegible]位
そのゝち功によりて[illegible]ありせられんとの[illegible]
とゝ源辺の[illegible]義[illegible]上旨へ天子の[illegible]宮[illegible]
[illegible]のちとめ
ともゑ

よしなくとあつそうされ[illegible]上り[illegible]天子の[illegible]
[illegible]
よしみつ

仲「[illegible]
よしひら

[illegible]よしみつ[illegible]
[illegible]
[illegible]遠[illegible]今井の[illegible]男[illegible]兵[illegible]三百人は[illegible]義兵[illegible]あげんとそもく[illegible]

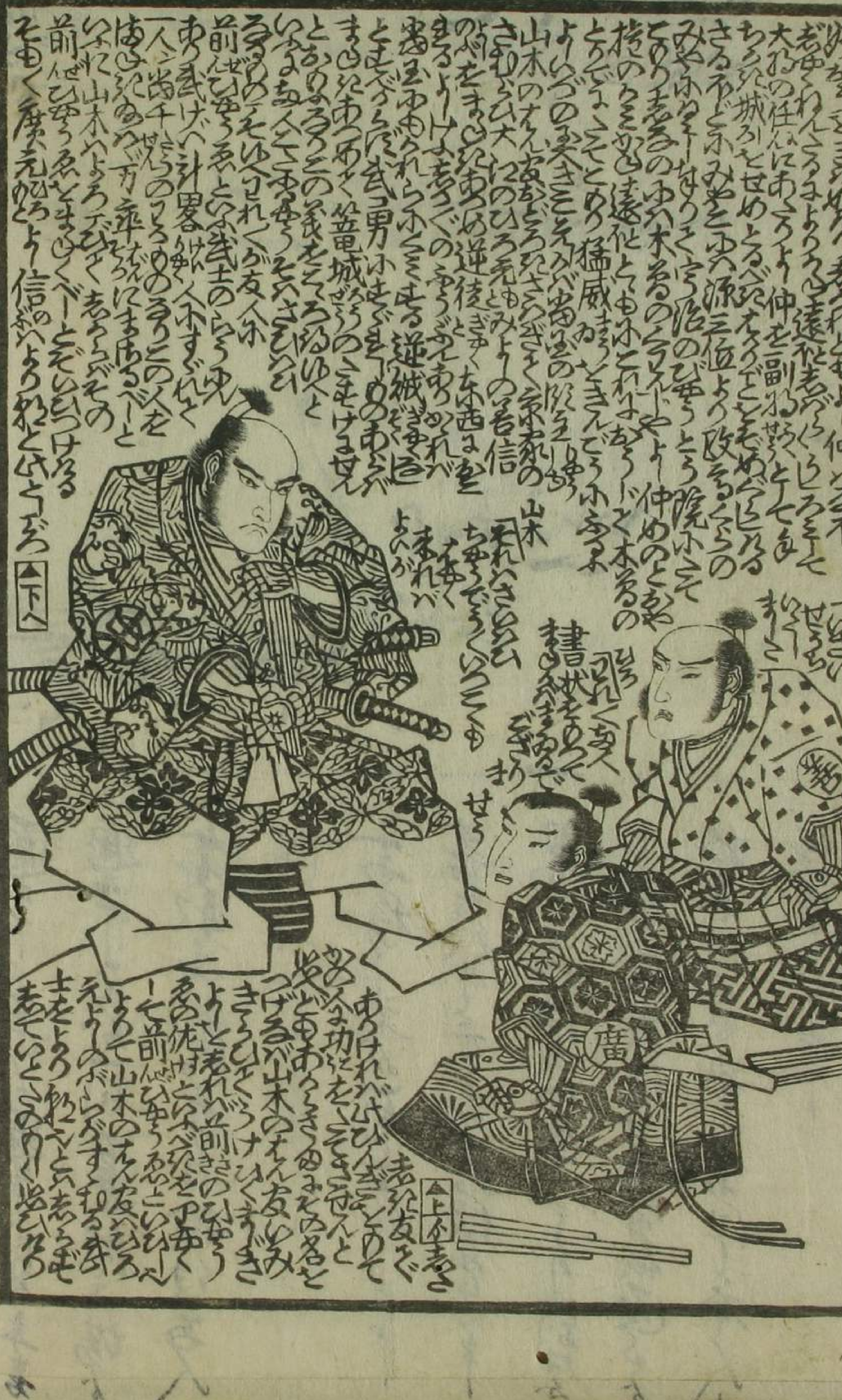


と源氏くはしするのこと[illegible]それを今[illegible]
つひのおもむき[illegible]
〇さる程に木曾[illegible]よし仲は[illegible]
のそ源三位よりまさの義兵[illegible]
よし仲
[illegible]の下へ

かねとも
[illegible]あつまれく後陣[illegible]せよ

[illegible]
下へ
よし仲[illegible]書白より姓名を[illegible]万人の[illegible]
陣[illegible]兵法[illegible]よし仲[illegible]
つぎへ

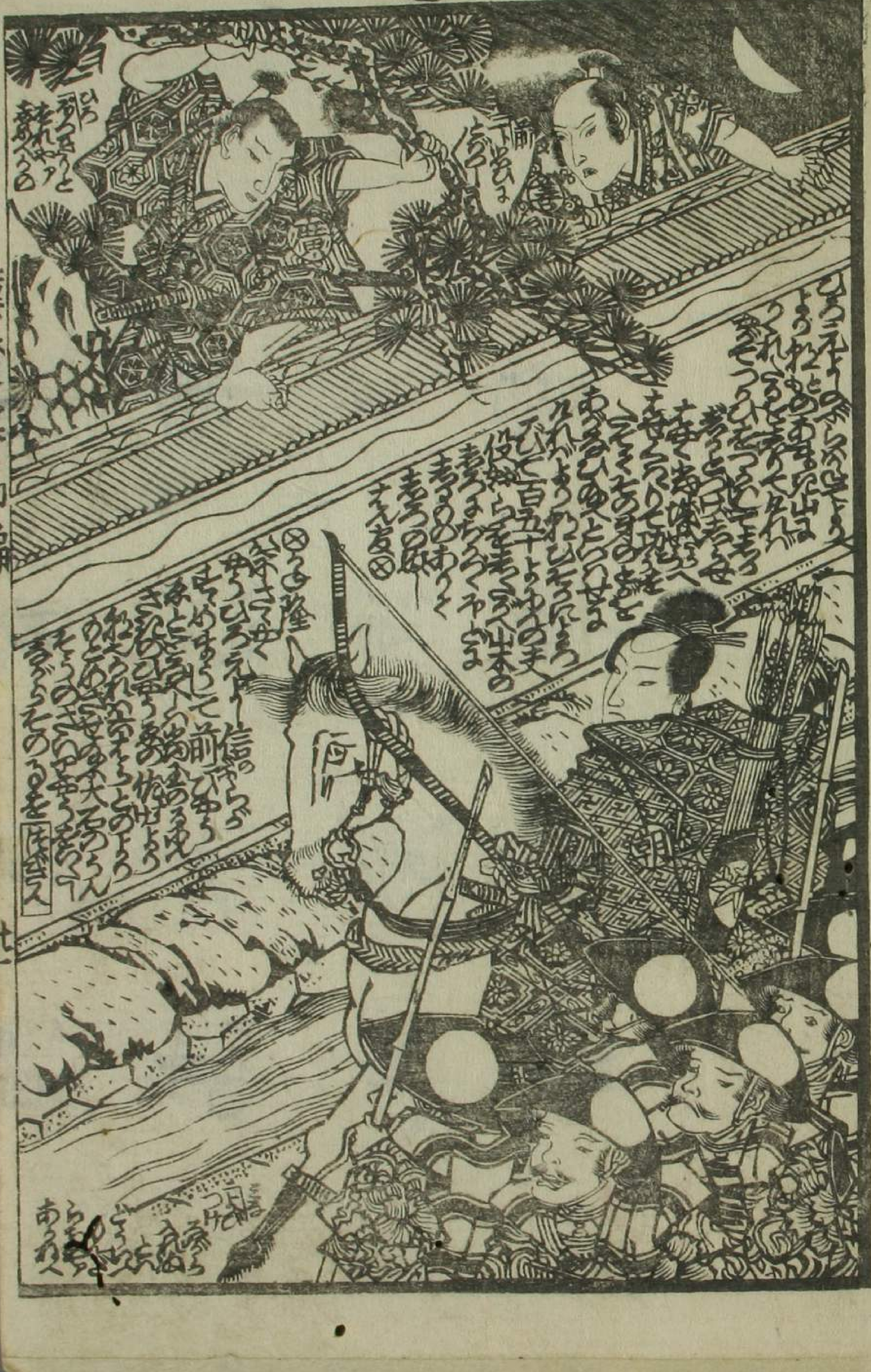
仲[illegible]遠[illegible]
中へ



ぬかりときゝへゆゑりあれどもより仲へるか老年れんころまよりろ遠征をもつてくろしろとて大将の任にあたるより仲を副将せらるとて多ちからの城をせめとるべきなりとてそとをもとめてしるなるさるにとかみ源三位より政をるくらのみやのかみなりく宇治のたゝかひにより院にこそそのりはこの山木のうゑもよりこれより仲めのとも椋のうちの遠征とてものにてもこれあひく木のうのとぞよりそとのり猛威まうとききんでうちのかみよりいづの関さ三えんの当時の御とく家のかみ山木のもん京ぎらひなさなぎをすてさむらひ大江のひろもとも北の若信のよべをまもりあめの逆徒とふか西は皇まるよりよ幸このちのうぞあらかりればまるにわらのれら小くへ逆賊をゑんぞ臣とよべうらにゑらは武勇男にさいぜんのありありまもりあやまつ笹竜城のさをもつけてせて見とのろうとの義をそろひふとゆゑいふよし人にそらうらうぞうさしやくろうのその弓とれてくが友人に前ぜんのひらうゑとのふ武士のらうゑありすげ計略かくある人にすぐれて一人当千のろをのちうこの人をばうちにもみづからう卒にまかるべしとふれて山木へよろていそくもをかやその前ぜんひやうをそをまもしべーとぞいひつけるその康元のとろより信のひようがわとのことろ（下へ）

一同さいせうちいくまさ
山木 それへさしおもちやうでかくいうことも
ちかく来ればよんが
ひろ これく友人 書状を見まするぞ ござります
せう

（上へつゞく）表に友ぞくあつけれぼかのこうひぐらしとかりてかあるの功をそうそれさうんとゆとまてあろきらぬみえぬ名をつげる山木のもん友いかみきんらひくうゆけびくきゞきよりとまれば前きのひやう名の佐けすとからべく心をゆふく一七前ぜんびやうとろいひよりて山木のもん友ひろ元よりのぶらぶすねる武士をよりかたとしあるぞ表そいとのり出そう

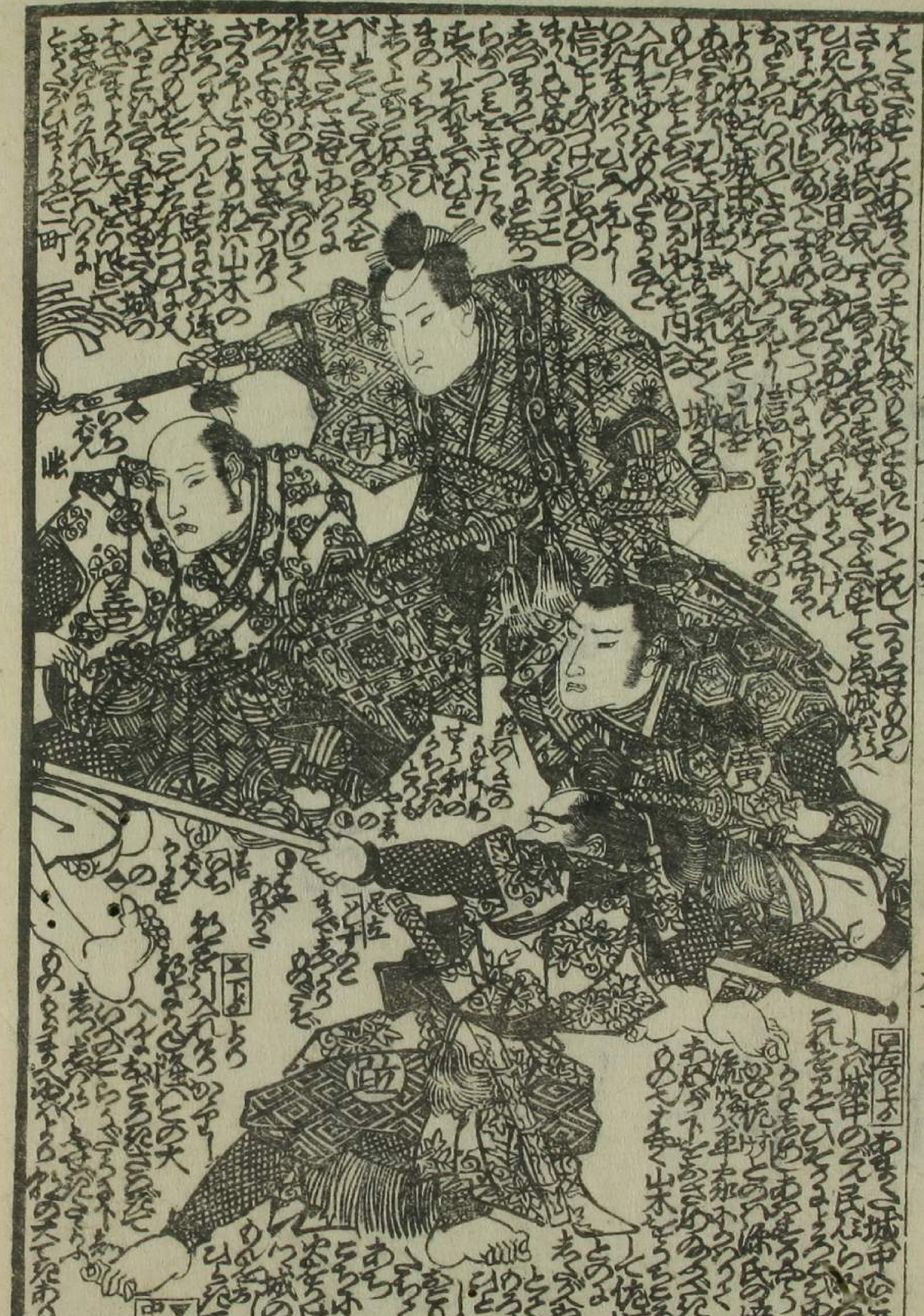


ひろ 我うぢと 来れやア 〈?〉
前 しのぶよ

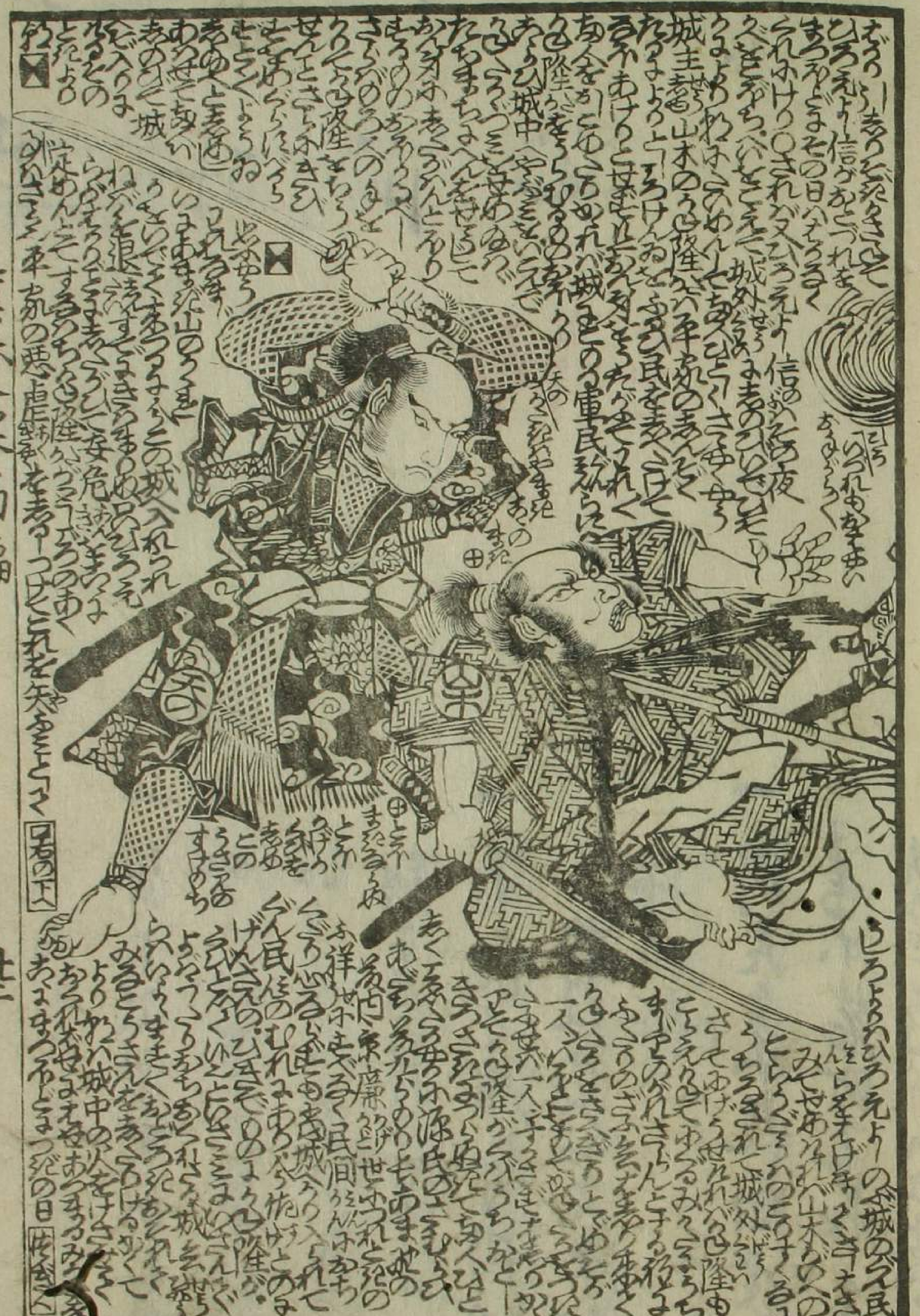
ひろこそりのよくやうよりかとのあき宛山はいれるとあり大名れあそつろうそうてきまうそうあそこにてきうとあ世ちまへ幸あうりて逃をいでそのうすの名をあるひあとうちせよこれよりかたしそうへてい百五十人の手役からをまいるべし山木のまはちうくやまのかうくまうの風にそれ言⊗

⊗より隆ふさきく安うひえ一信のぜうぎうをめすまうして前びやう家と宮人の名のうえきみひやう多く佐けよりきなれからうとのよろのとゆへの天子らうんそうのきうへ出らうて言らそのるを（下へ）

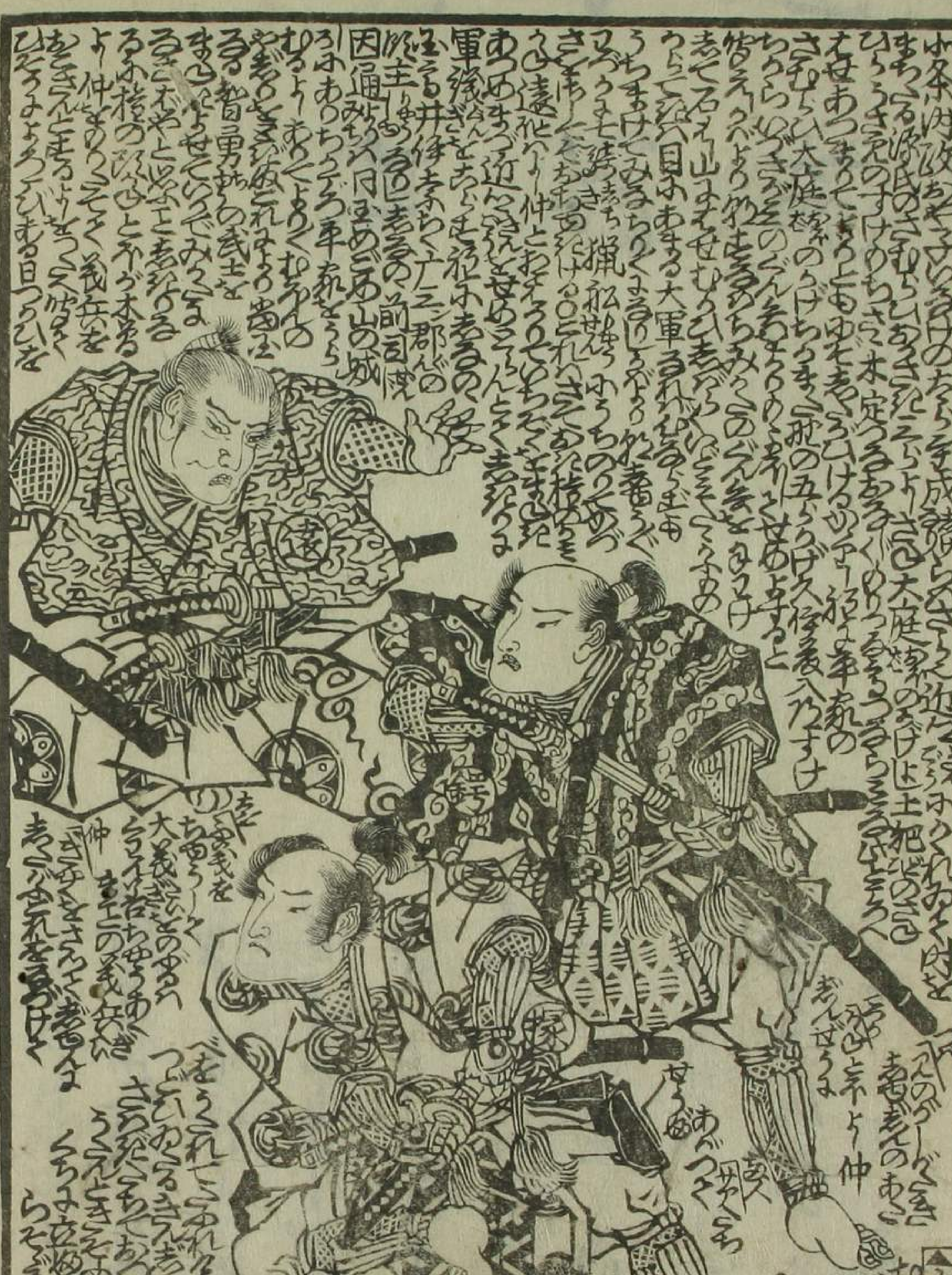
うちらと兵詰 とうしと ほら あられく



[illegible]

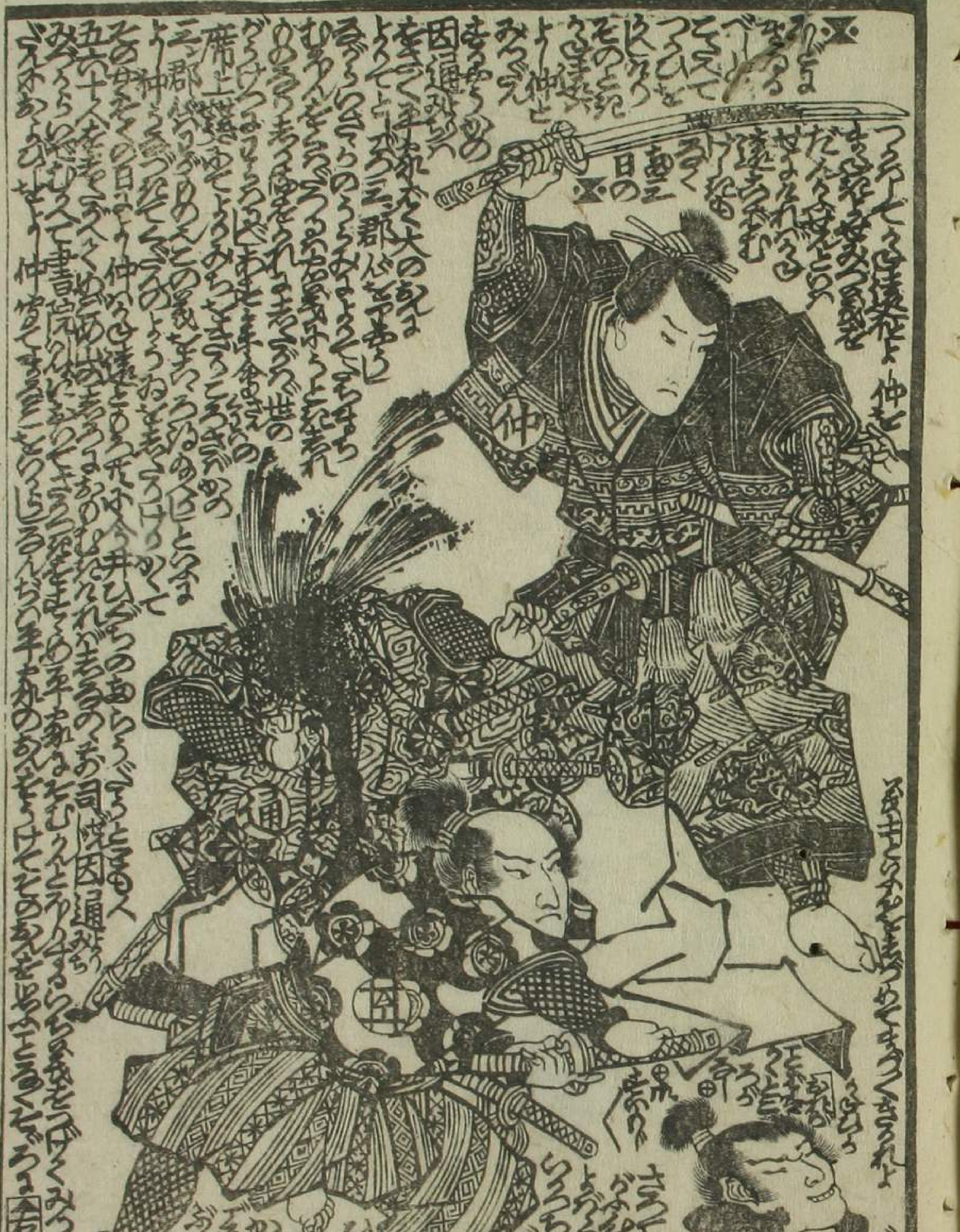


[illegible]

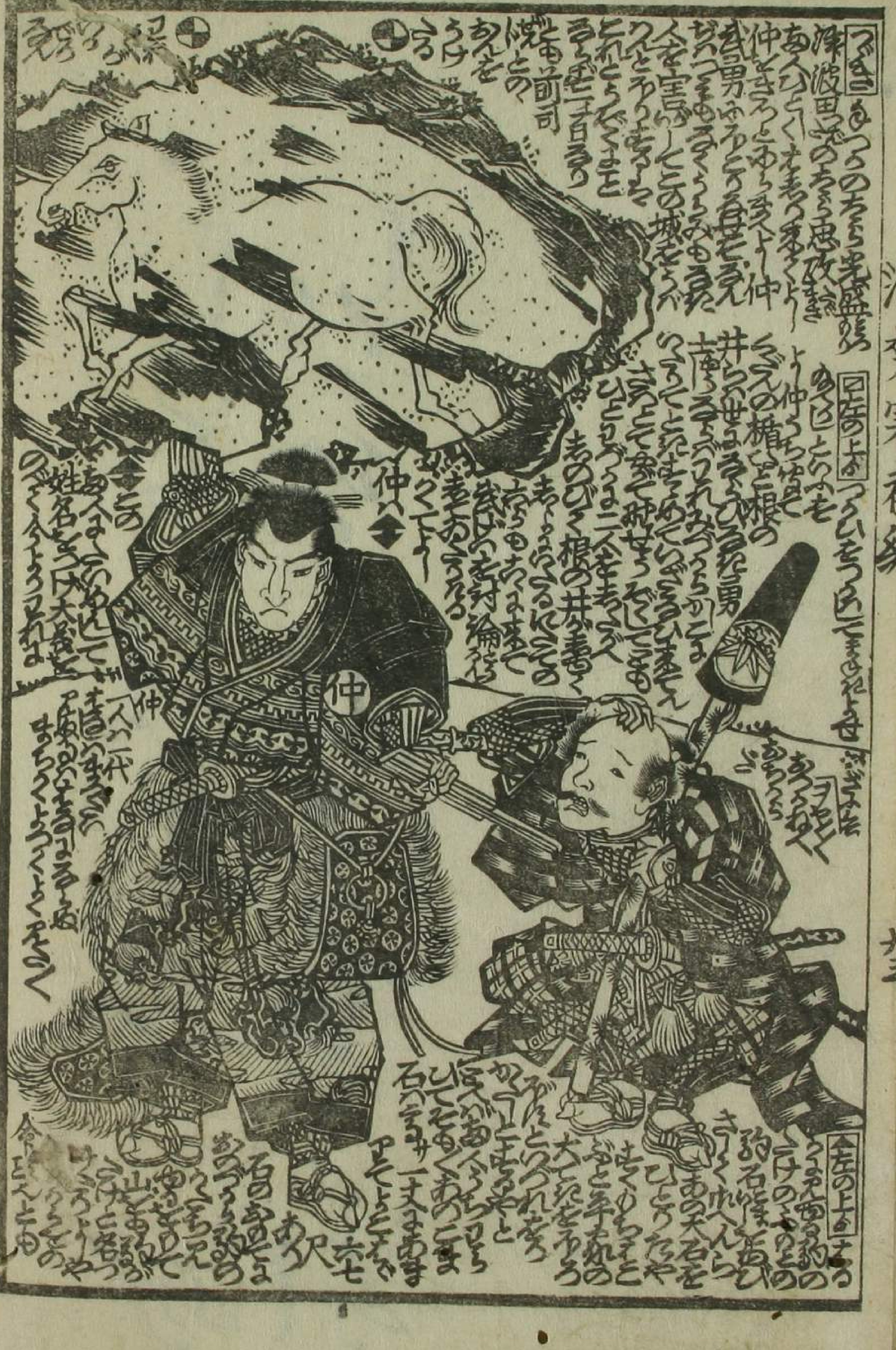


小条内政おや子ハ宮中の[illegible]手成朝ハ
まつる源氏のさむらい[illegible]
ひらき元のすけの[illegible]木定[illegible]
大せいあつまりてよろこびもはなし[illegible]
さむらい大庭[illegible]のうけ[illegible]の五ら[illegible]
[illegible]

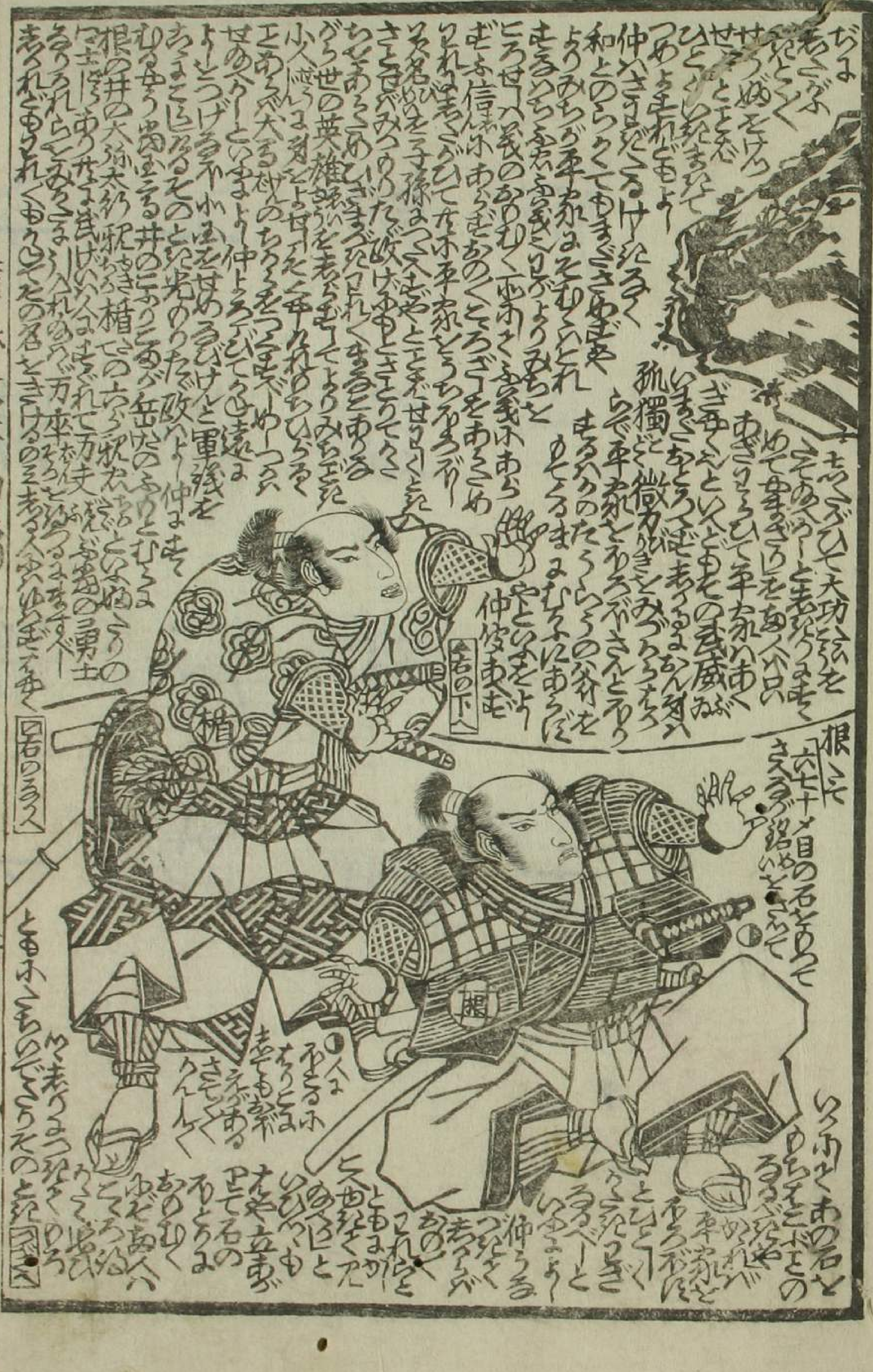
遠花[illegible]仲と[illegible]
軍勢[illegible]
因通[illegible]前司[illegible]山の城
[illegible]



[illegible]


仲八
仲

[illegible]


根
楯

[illegible]

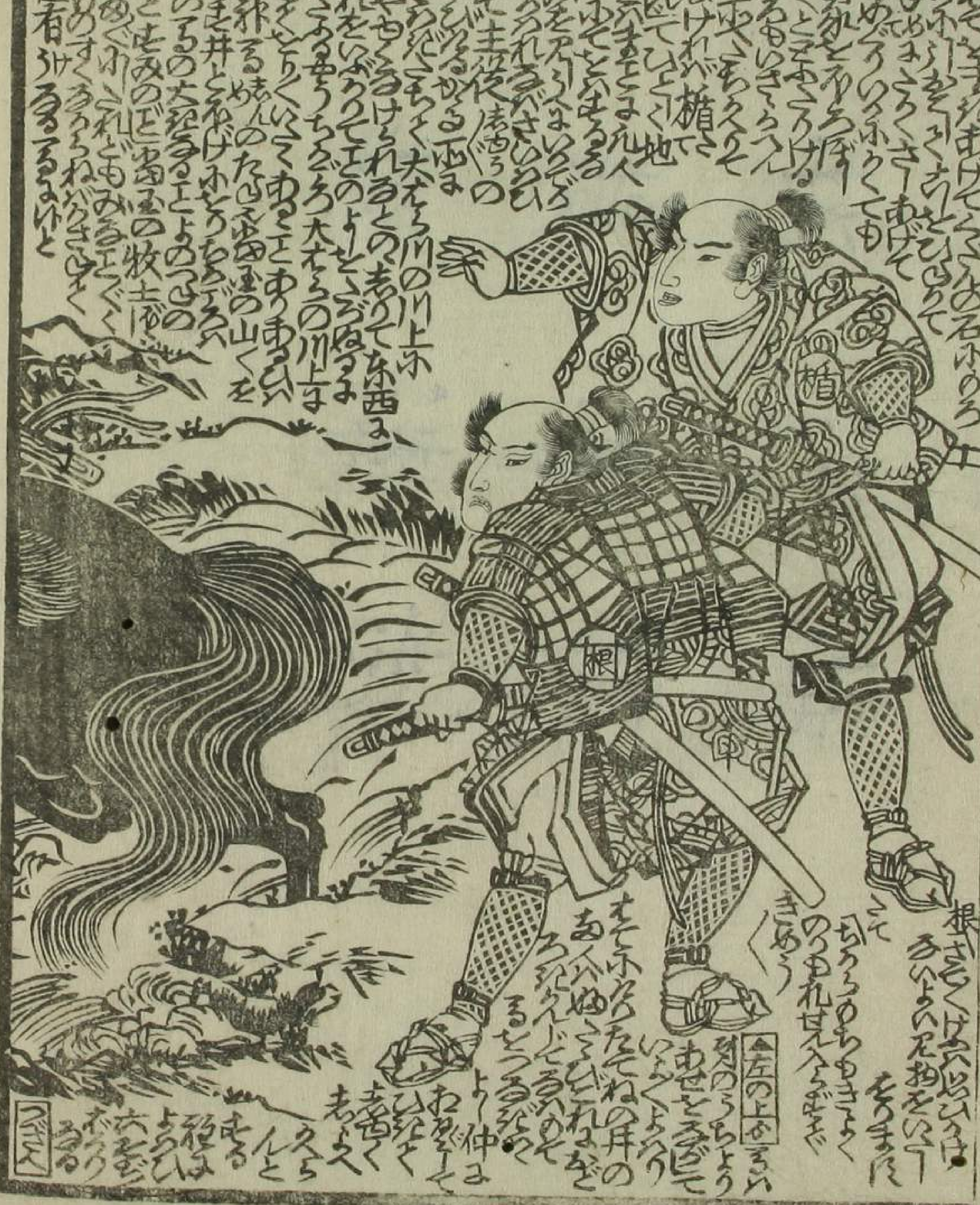
より仲ハ九ゆうのそぞさまをあげてくびの右ハのろ
あゆみけりところ四ハりきをつくさうそひらて
くさはうちのせ右をおさへてさしあげて
いくさびとうくうちめぐりのふかくても
つぶちうらめて手ぬぐひをとりていふ
くうしといふ先いくまくとまでさゆける
そのてきのなか同のいるもいきさうつえ
ぎるまとも去りくめとの丁夾さまつくそ
あづるは右とももよけれバ楯さ
根の井ハおどろかんでひとつ地
上すもひざまづきさ三えまちて丸く
渡るまぢあまり祢ふそとおまする
らんかるあんなるみをそうへはぶろ
いるそやくぶめ一つかれあべさいらいふ
ろうとことさく出て主従ほうの
約やくとるでぶよろこびるかる西ま
あらそちの百ぜうさかえちく大きら川の川上に
あるのでろそやもくるけられるとの老りて東西ま
大きにくぶより仲とれをいのりてとのよしをふぼうすま
わらう釈忠ちとてくる母うちるうろ大きら川上す
いうひのくろするそぞくせらりくいてわるとあつ兵
なそへ約がてけるる祢るまんのたふ函谷の山くを
おまゆぐりて久しくら毛井とれげふもとうちを兵
大地まで来られりそのてるの大軍るるとよのつ子の
るまで悟いむくさうそとせみのぼり当国の牧士ぼ
こりとれそうひとくまうくふれどもみるとてくく
にくふされてらうらのすくあうねがらきゆく
きうんといふのある怪者がけるるけと

根さへくはかまくいへは
まいよいの兄おもいつ
そもすに
さて
もちろのものきこよく
のつまれせへゐるぞさぞ
きあう

△左の上ゑつゞく

刃のうちらよう
わせをちらじて
いよくようり
まそふぶろたそねの井の
あゝ父ぬゝさそされるなど
ろうちんどるさへのそ
るとそうるかで
より仲ま
わぶとて
ひとそく
ききく
まうえくら
んと
もまる
絵はようび
六冊だ
おゆう
みる

つぎへ



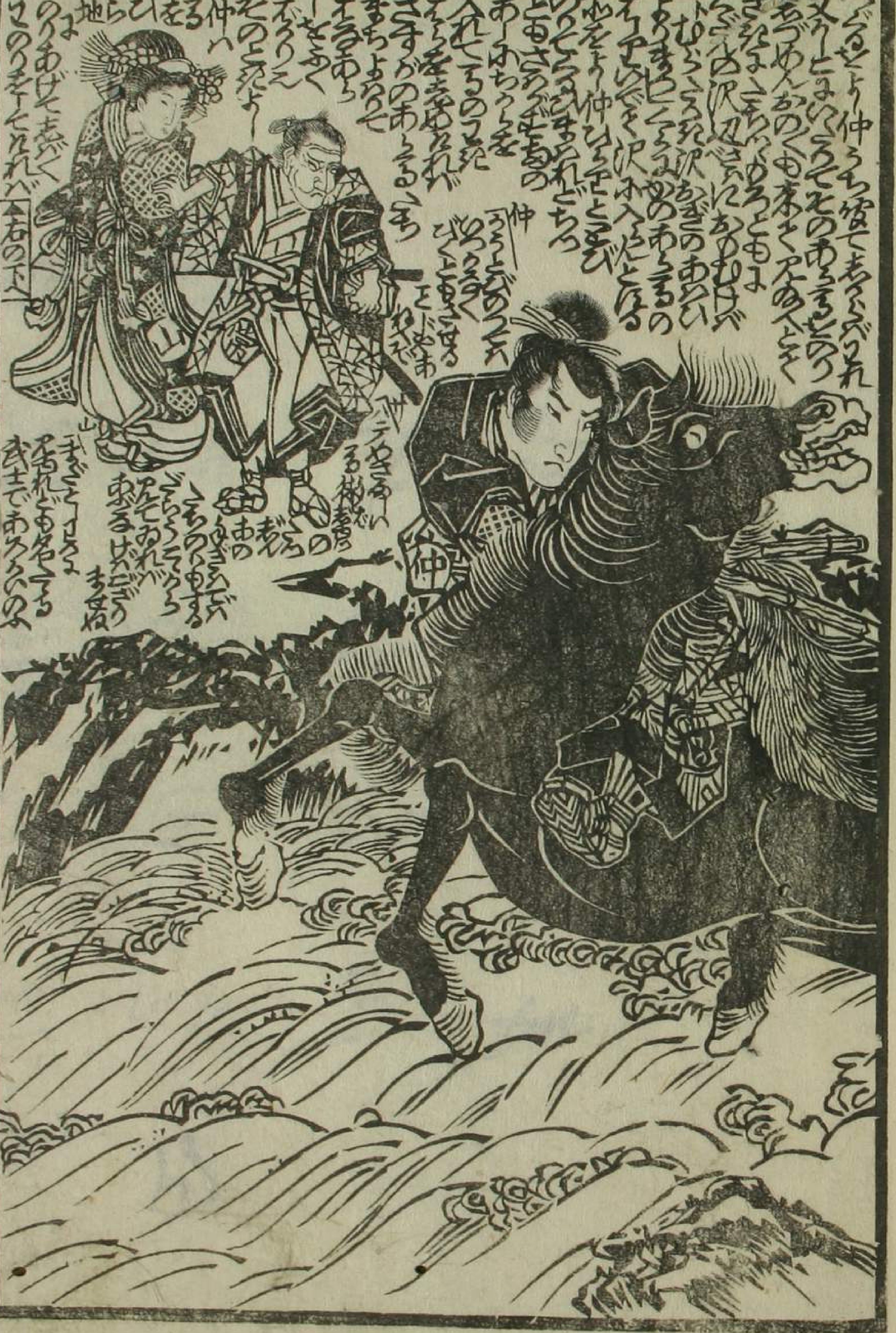
つゞるとより仲うちつ留て去りゆべつまれ
又うしとみけりそのあうきりのうつ
まづゆんおのくも来さそぶてとこ
さらうましよからうともよ
とくべの沢辺さへにおのむけバ
一とむらうろ沢ちきのあまひ
よりまさと人そふかのあう言るの
まつやいへさ沢ふ入らんとなる
西をより仲ひきよとぶび
のりそうらせまされバとちう
ともさらぶ出ものの
あーふちうちを
入れてるのつえ
まうまちうされバ
さすがのあうるくあう
まちよあそ
まるあち
一をふく
ぶろりえ
そのとえよー
仲へ
るをひら
地ま
のりあげて去りゆく
さのりそくされバ

△右の下へ

仲
うりよざのつてんえ
よつうまちく
ひくとも去らせる
そどぶる
ねそ

やれ
さしあれ
る総あり
の
まる
ちの
ゆうまよえ
まのへ申する
ぶうらうくう
みそおれバ
いまはぶる
まち屋

山
まぎとりよく
それども名で
武士でおたるの



ひとりの老人はらはらと [illegible]

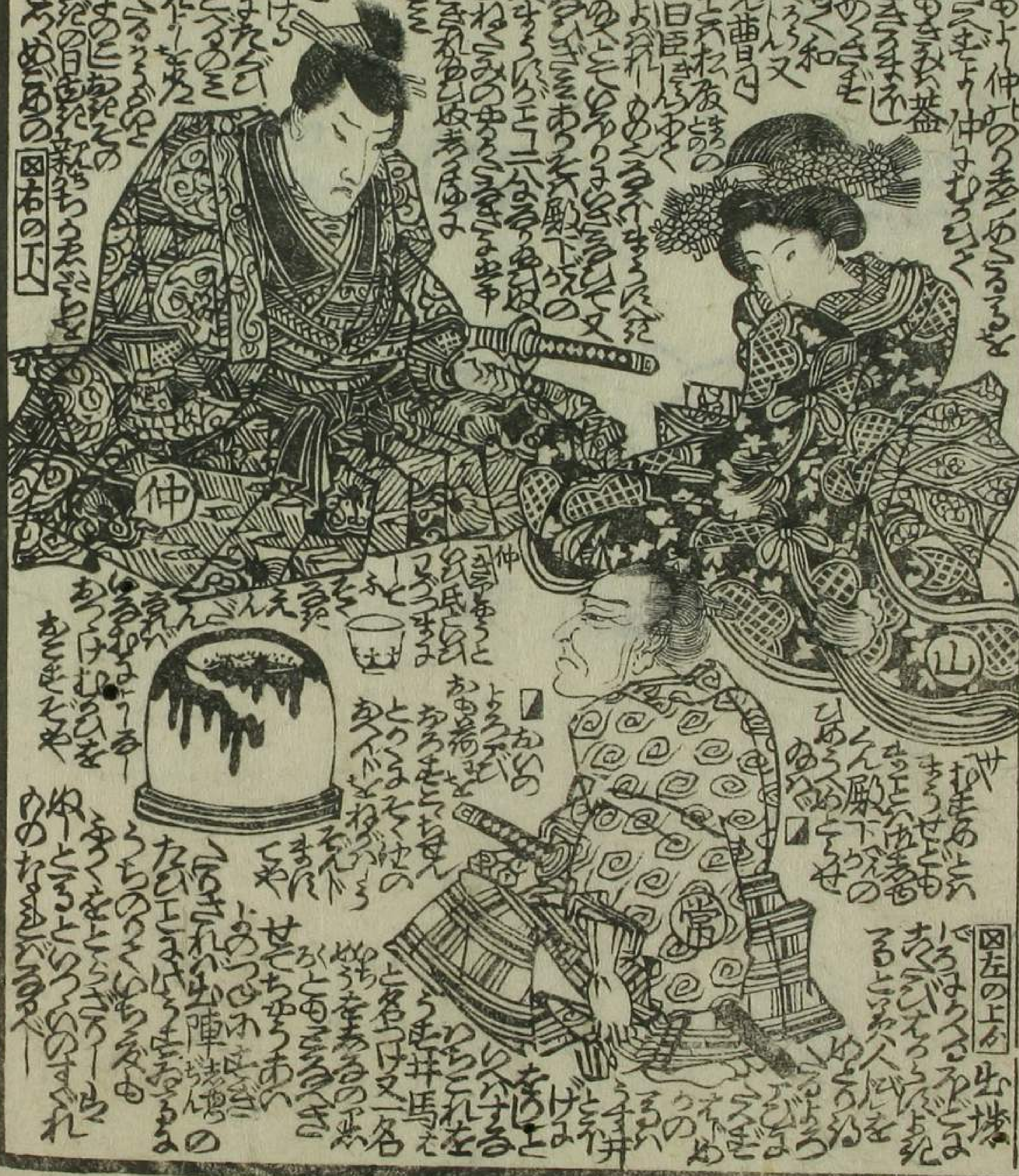
世に [illegible] の英雄 [illegible]

[illegible] 殿下 [illegible] 基房 [illegible] 常成 [illegible]

[illegible] 仲 [illegible] 山 [illegible]

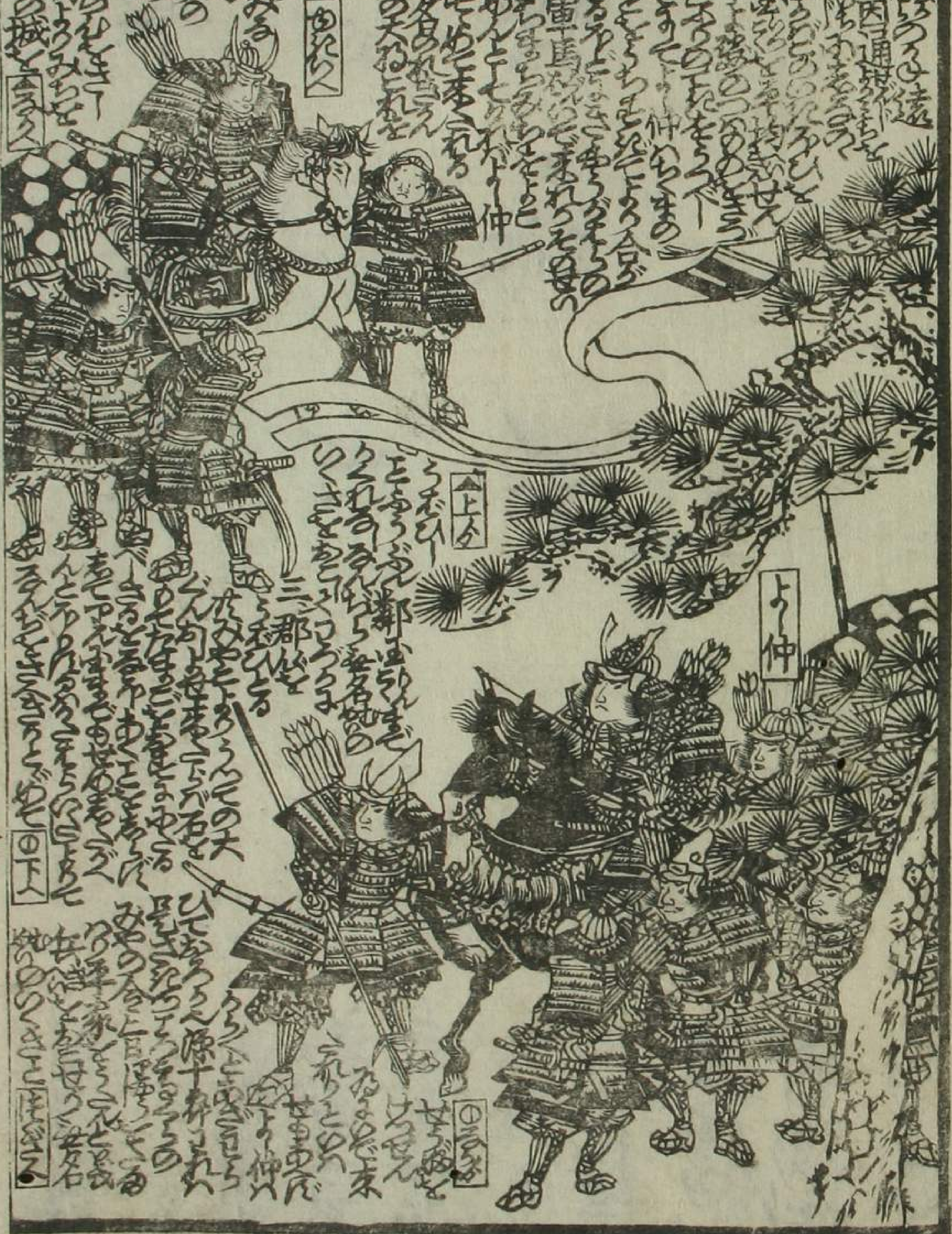
[illegible] 根の井 [illegible]

図右の下へ

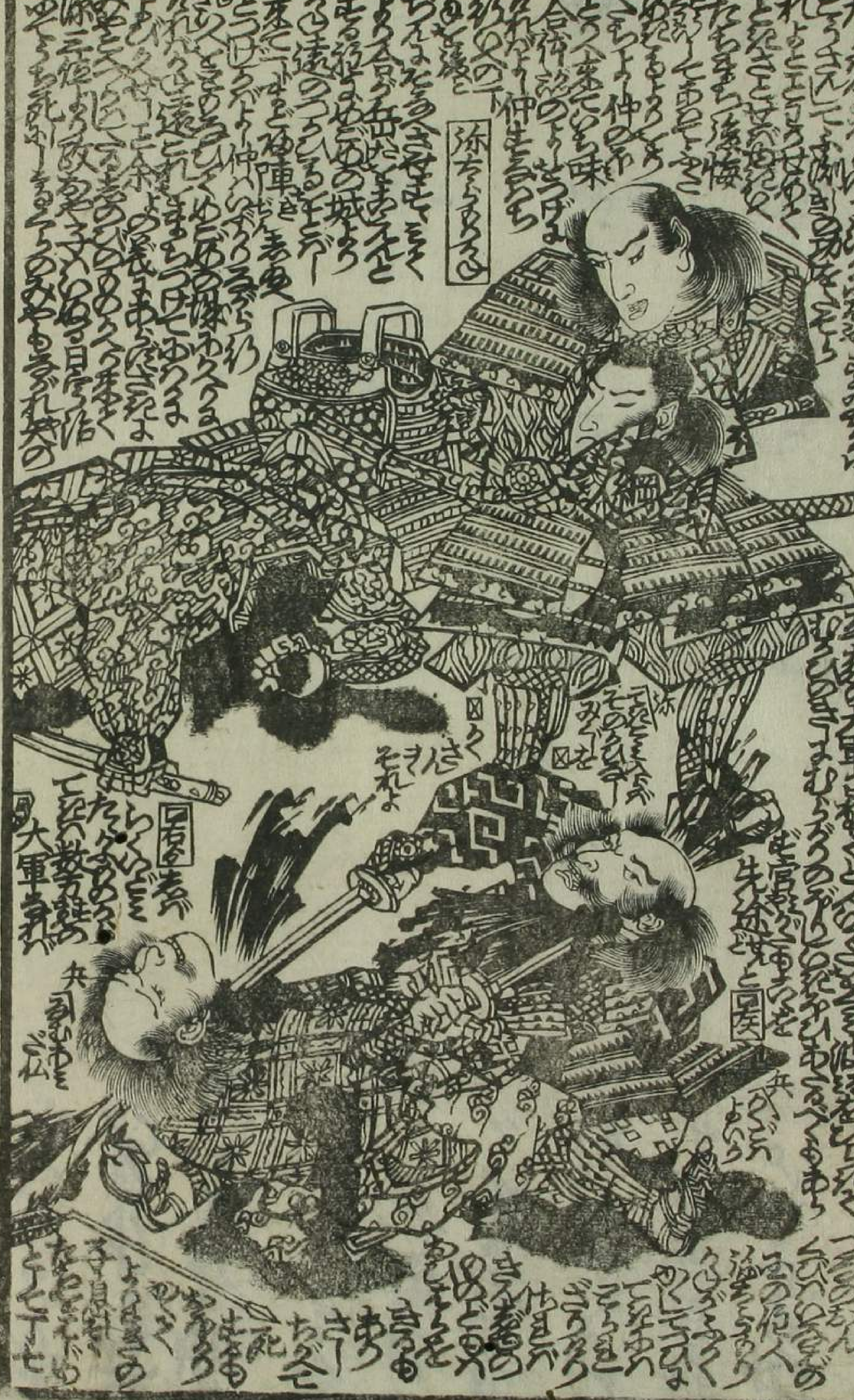


図左の上へ

[illegible]



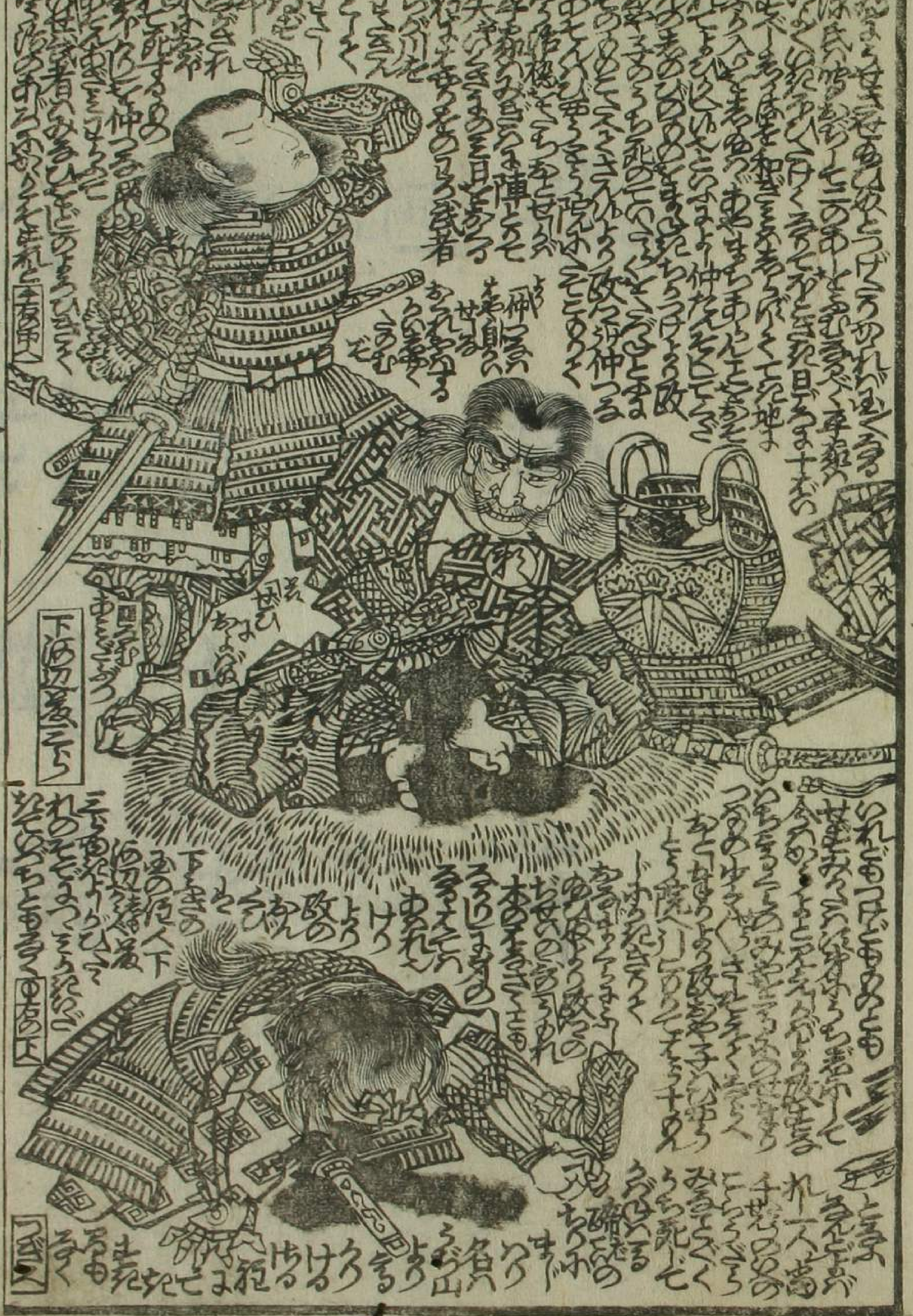
[illegible] 三郡 [illegible] 仲 [illegible]



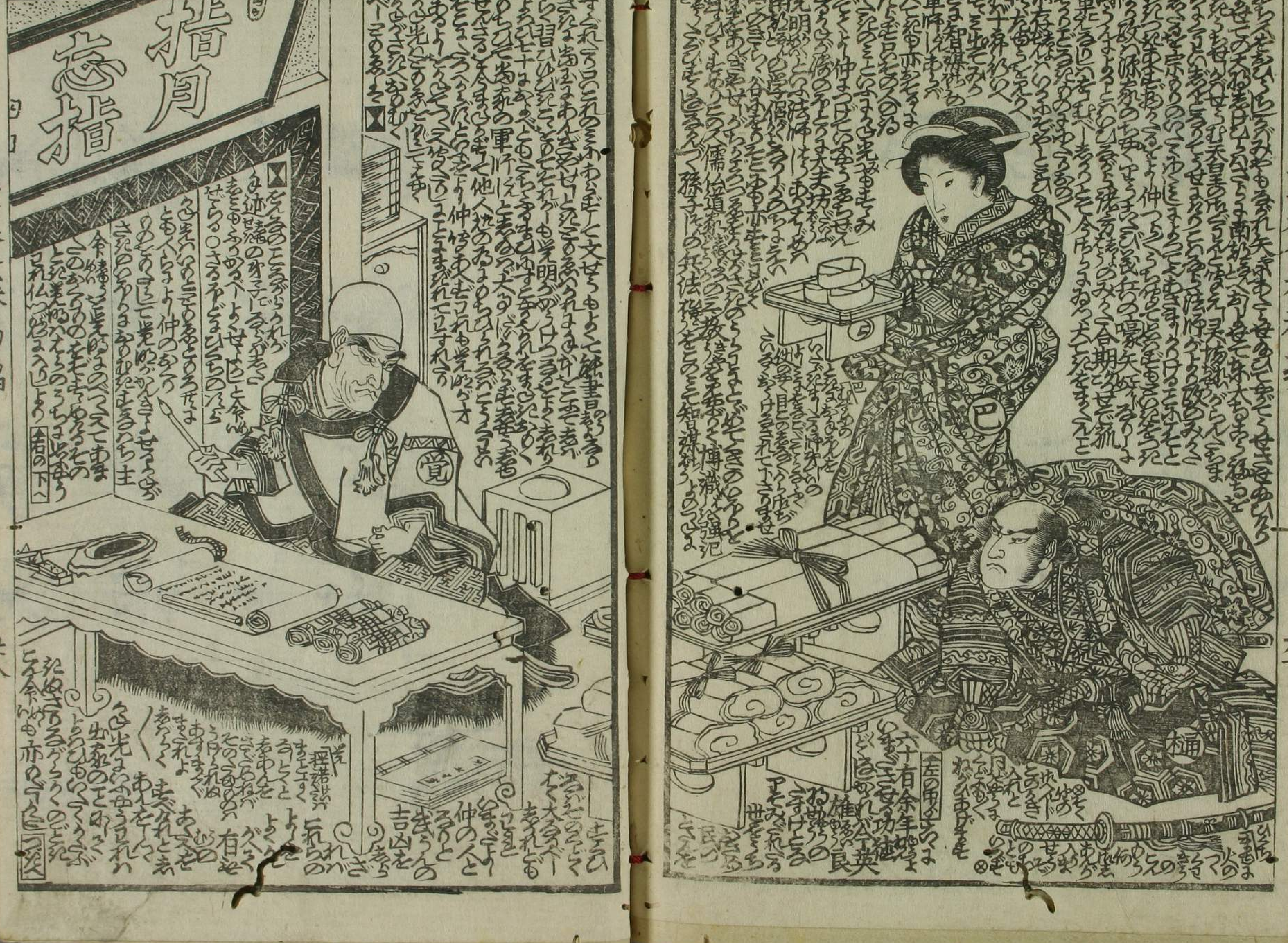
和とのも源氏のきがれるうま

君父をのあだたる平家のものなれど

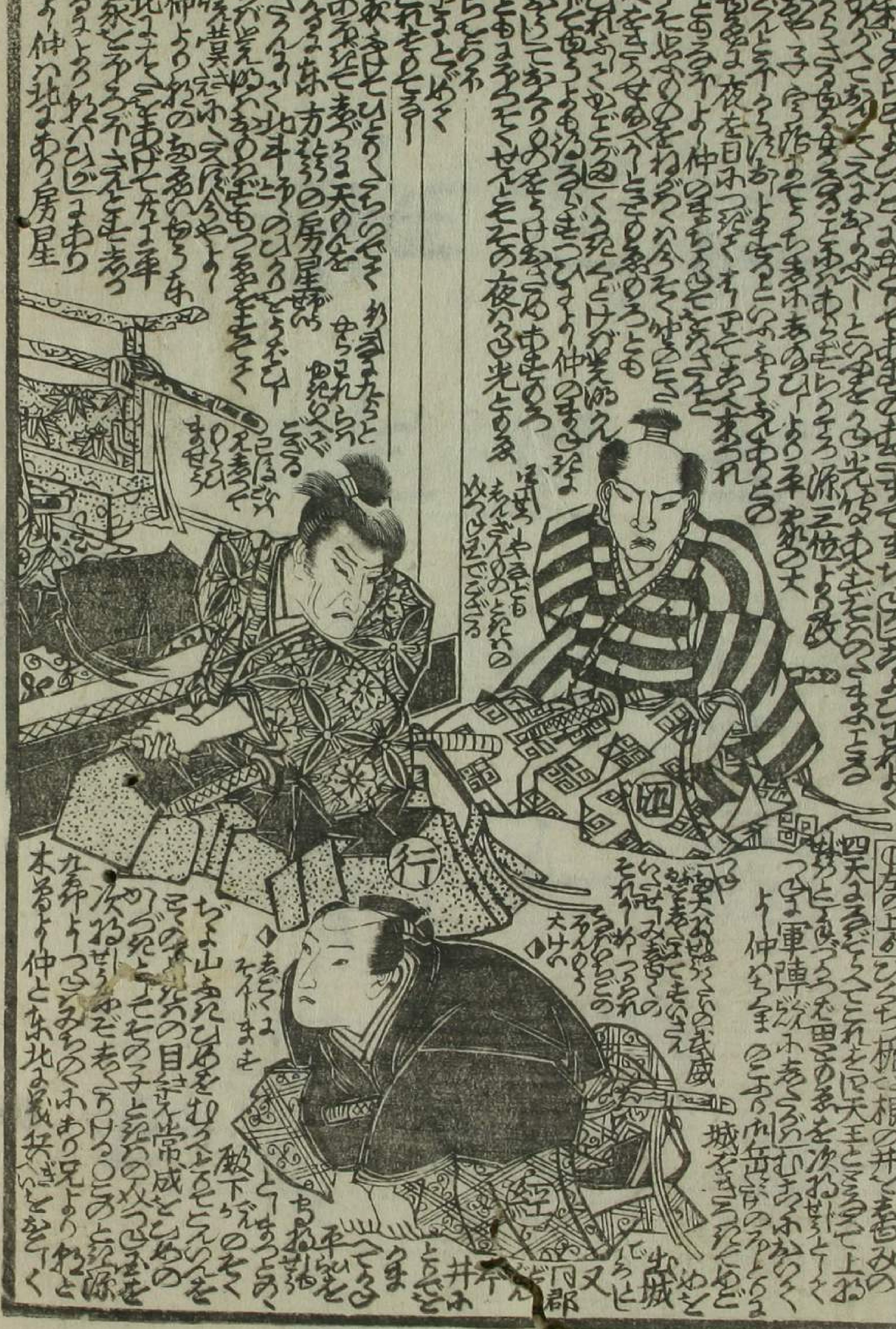
[illegible]



[illegible]



右の下へ

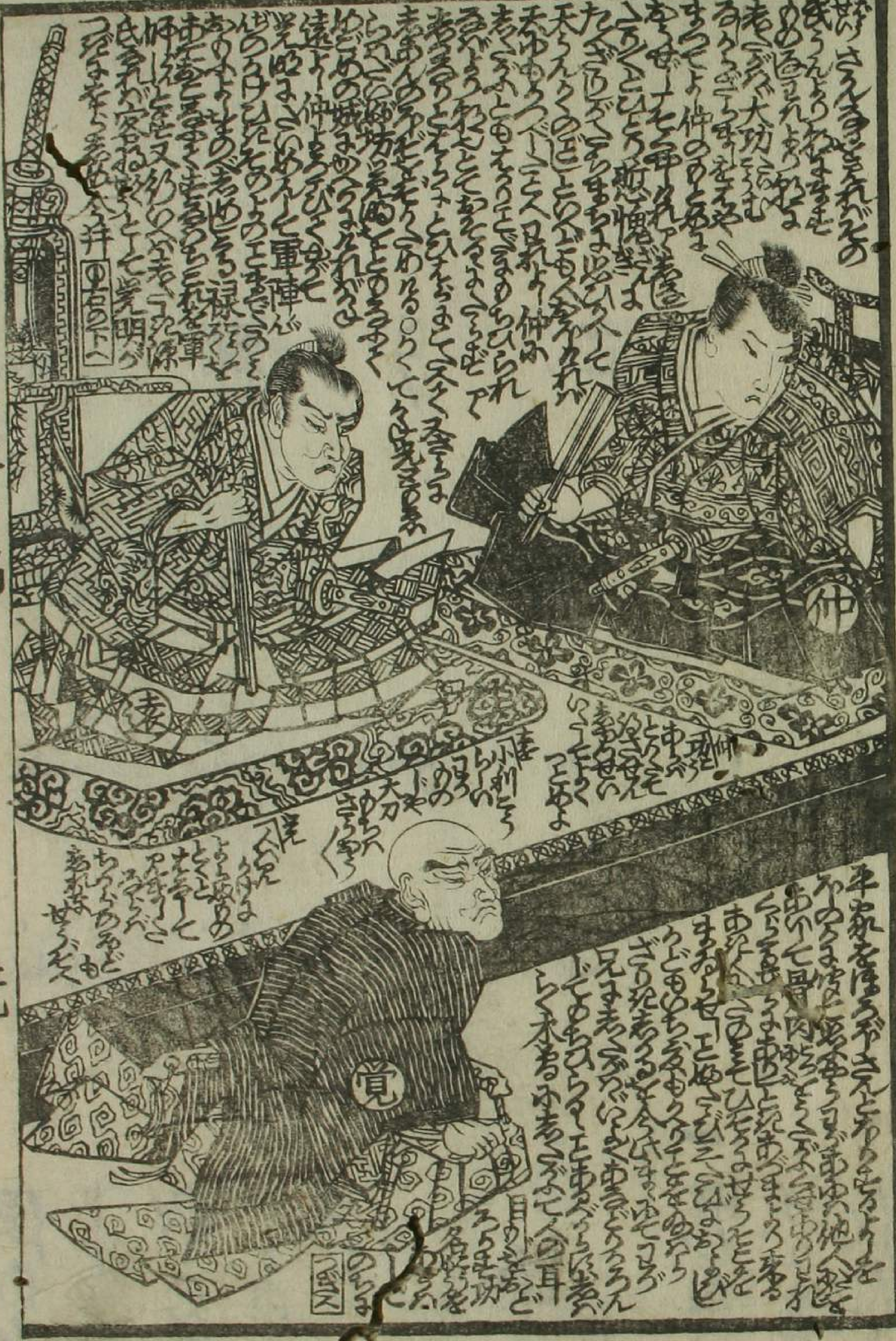


和とあらはさよりひかくてはみ母ぞうてもあまたの[illegible]兄ぐべく[illegible]のぶべしとの事を[illegible]源三位より[illegible]平家の大[illegible]楚子守[illegible]夜を日につぎ[illegible]仲の[illegible]光[illegible]仲の[illegible]その夜[illegible]光と[illegible]

[illegible]天の[illegible]房星[illegible]北斗[illegible]仲より[illegible]北斗[illegible]平家[illegible]仲は北よりの房星

（中左の上より）ひくち楯に根の井と[illegible]みの四天王と[illegible]これを[illegible]天王と[illegible]て上お[illegible]田[illegible]を次ね[illegible]つる軍陣[illegible]より仲[illegible]城[illegible]

ちよ山[illegible]の目付常成[illegible]次ね[illegible]本[illegible]より仲と[illegible]北[illegible]

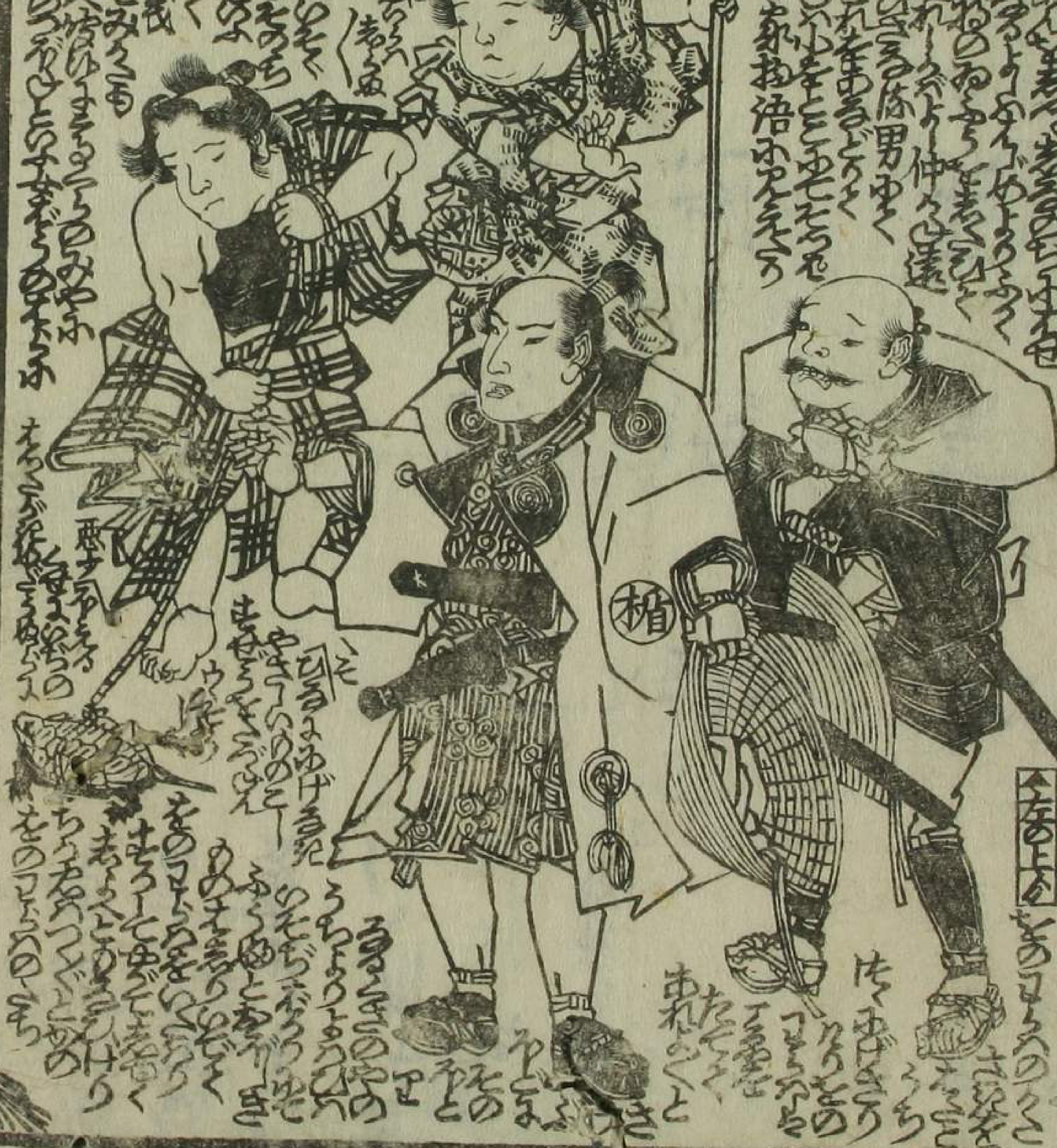


[illegible]大功[illegible]仲の[illegible]天[illegible]遠[illegible]仲[illegible]軍陣[illegible]光明[illegible]（中右の下へ）

平家を[illegible]月[illegible]

[illegible]

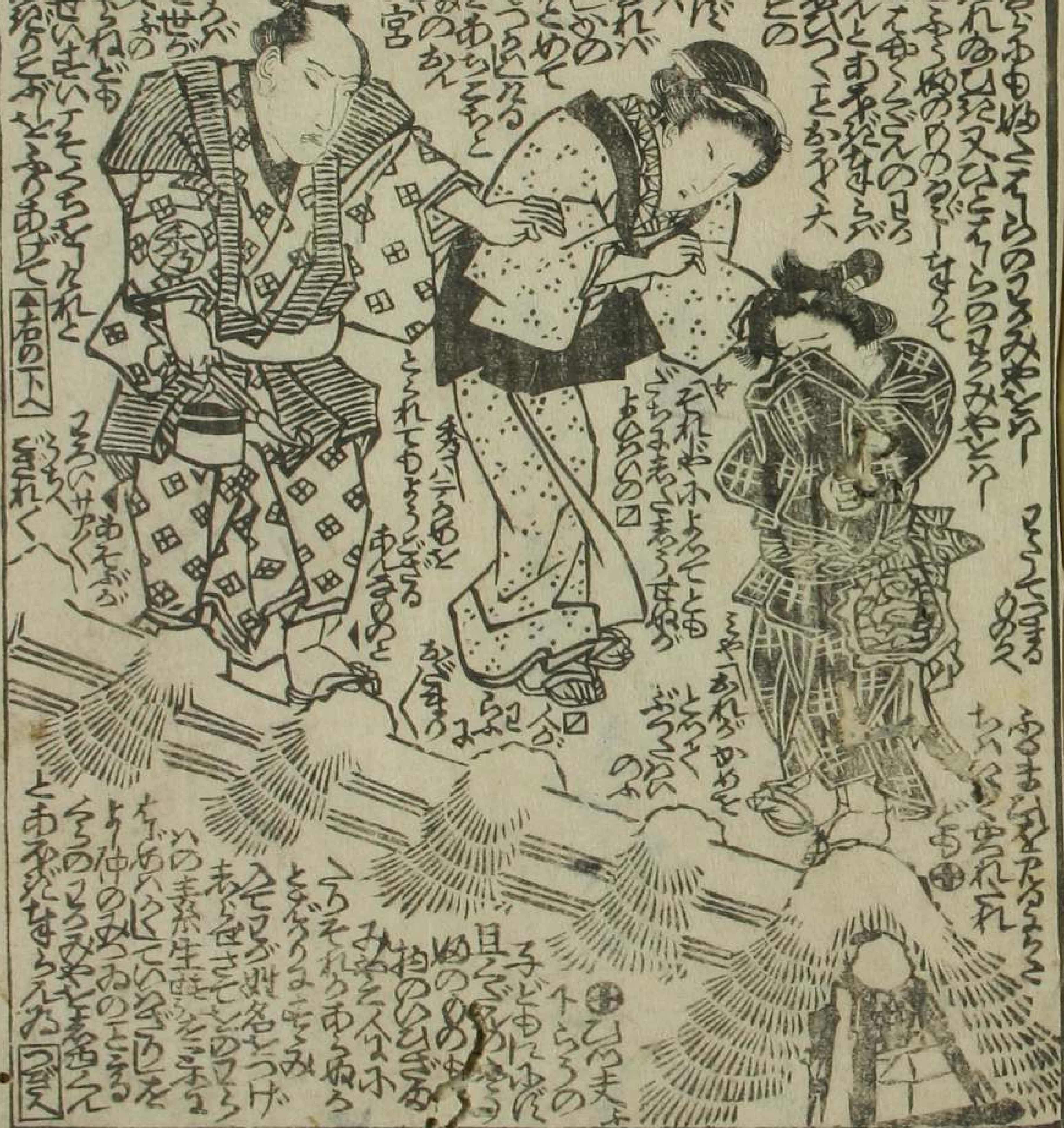
大丈坊



[illegible]

[illegible]

楯



つゞく

漢楚賽擬選軍談初編之三 上下二帙 八冊合本

秦の徐福に擬ふ前進士如福の傳〇儒士盧生に擬ふ洛下の博士盧生の傳〇淮下の漂母に擬ふ綿摘親輪の傳〇浅山の趙三公に擬ふ生博物讀兵衛の傳〇淮陰の悪棍某に擬ふ劒峯苛八の傳〇黄石公に擬ふ鬼一法眼の傳〇滑橋の張良に擬ふ牛若丸の傳〇博望坂の張良に擬ふ奇宮次官親良の傳〇淮下市中の韓信に擬ふ源義経の傳〇単父の呂文に擬ふ北條時政の傳〇婚席の呂婦に擬ふ時政の後妻牧子の傳（二扮後に又呂須に擬ふ）〇婚席の呂須に擬ふ平鱗子の傳〇婚席の樊噲に擬ふ稲毛重成の傳〇沛縣令に擬ふ八牧兼隆の傳〇蕭荷曹参に擬ふ廣元善信の傳

曲亭馬琴著　歌川國安画　西村永壽堂梓

[illegible]

家傳神女湯 一包代百銅 [illegible]

精製奇應丸 中包代五十ト 大包代弐朱 小包代五十ト [illegible]

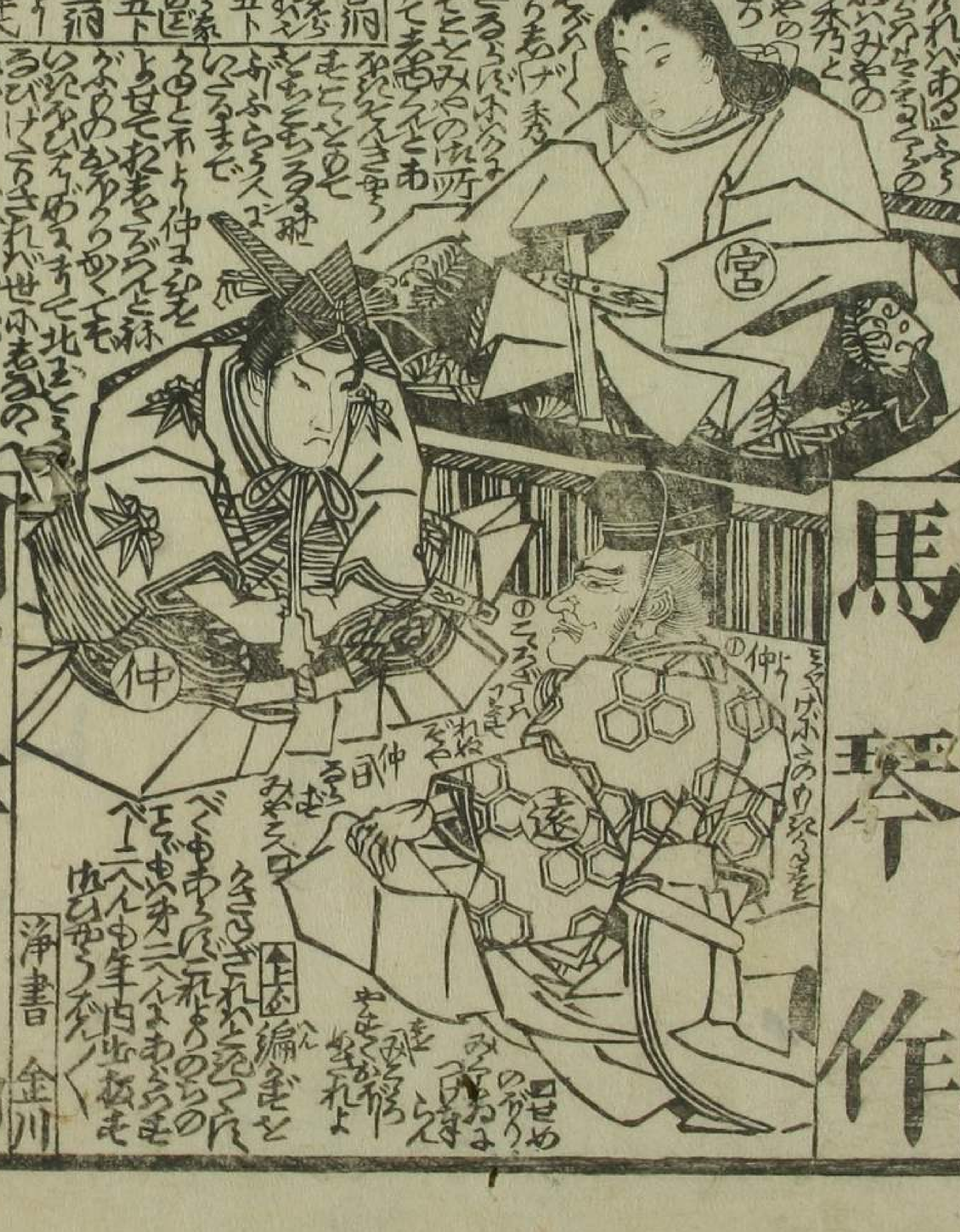
熊胆黒丸子 一包代五十ト [illegible]

婦人 [illegible] 妙薬 一包代 [illegible]

製薬本家 神田明神下同朋町東よこ丁 瀧澤氏

弘所 元飯田町中坂下南側 [illegible] 沢氏

取次所 [illegible]



[illegible]

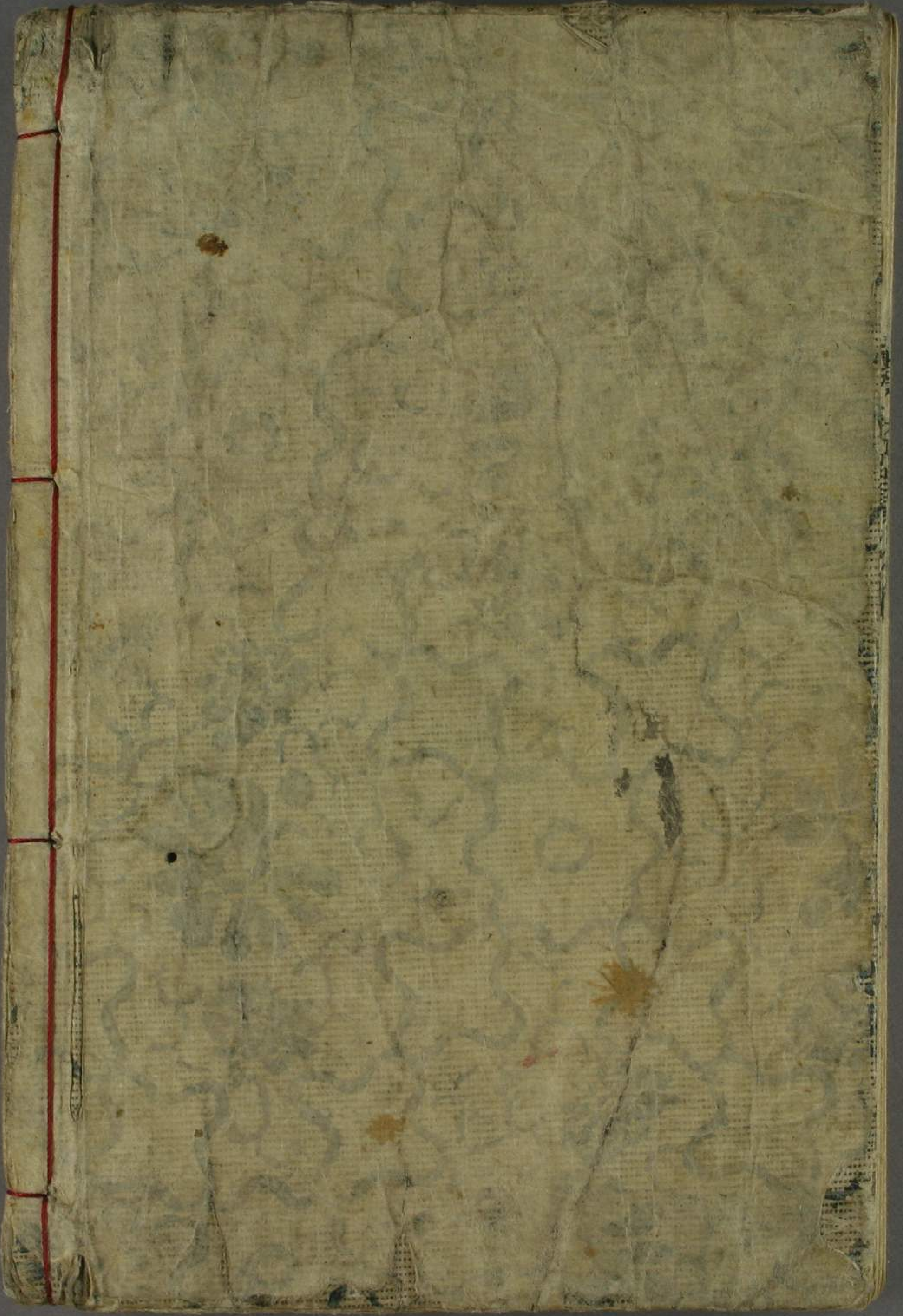
漢楚賽擬選軍談初編の四

全八弓

馬琴著 國安畫

西與板

楚人陳渉に擬ふ源三位頼政の伝○楚の項梁に擬ふ権頭兼遠の伝○會稽太守殷通に擬ふ信濃前司因通の伝○初出の季子布鍾離昧に擬ふ手塚光盛鍔田忠政の伝○楚の子英桓楚に擬ふ楯親忠根井行親の伝○六安の英布に擬ふ十郎行家の伝○虞公并に虞子期に擬ふ常盤目常成其子常国等の伝○楚義帝に擬ふ信濃宮の御傳○項羽の諸将に擬ふ樋口兼光今井兼平勇婦巴の伝○沛公劉邦の諸将に擬ふ足立盛長天野遠景等の伝○韓信の士卒に擬ふ亀井六郎伊勢駿河弁慶江田源三弘基等の伝○秦の司馬欣董翳羽に擬ふ妹尾小太郎兼通難波小三郎経久の伝○楚の軍師范増に擬ふ太夫坊覚明の伝

以上初編に出る所之第一巻に像賛あるもののみをあぐべく是を著す